

**2018 年度版
生活クラブ運動グループ
福祉事業実績報告書**

(特非) 参加型システム研究所

参加型福祉研究センター

2019 年 12 月

2018年度版 生活クラブ運動グループ福祉事業実績報告書・目次

I. 2018年度生活クラブ運動グループ福祉事業実績報告	p-4
1. 2018年度生活クラブ運動グループ福祉事業実績	
1) 調査概要	
(1) 目的	
(2) 調査の種類	
(3) 調査の主な変更点	
(4) 調査概要	
①福祉事業実績調査	
②総合事業調査	
③居場所・サロン調査	
④コミ・オブ福祉の相互連携等に関する調査	
2) 生活クラブ運動グループ福祉事業実績	p-6
(1) 全体状況	
(2) 介護保険事業の事業種別内訳	
(3) 訪問系サービス時間数と事業高	
(4) 利用者状況	
(5) 運営状況	
(6) 生活支援サービス（自主事業）の状況	
(7) まとめ	
2. 総合事業調査	p-12
1) 調査概要	
2) 訪問型の概要	
3) 訪問型の課題	
4) 通所型の概要	
5) 通所型の課題	
6) 自治体による総合事業の施策に関する地域情報・コメント	
7) 自治体による実施状況	
8) まとめ	
3. 居場所・サロン調査	p-18
1) 調査概要	
2) 団体・部門別開催状況	
3) エリア毎の開催箇所数	
4) まとめ	

4. コミ・オブ福祉の相互連携等に関する調査	p-22
1) 調査概要	
2) 生活クラブ運動グループ間や市民ボランティア等との地域連携	
3) 政策提案活動について	
4) まとめ	
5. 日本生活協同組合連合会並びに神奈川県内6単協と生活クラブ運動グループとの実績比較	p-25
1) 日本生協連	
2) 県内6生協	
3) 生活クラブ運動グループ	
4) まとめ	
Ⅱ. 2020年度福祉事業・活動計画の検討に向けて — 提言 —	p-28
1. W.Co（ワーカーズ・コレクティブ）メンバー拡大の優先順位を高めましょう	
2. コミ・オブ福祉事業の連携や拡大の検討を進めましょう	
3. 地域づくりの推進に向けて、ボランティアなアソシエーションづくりを進めましょう	
資料編	p-30

I. 2018年度生活クラブ運動グループの福祉事業実績報告

1. 2018年度生活クラブ運動グループ福祉事業実績

1) 調査概要

(1) 目的

- ①生活クラブ運動グループ諸団体の 2018 年度福祉事業実績の取りまとめを行い、参加型福祉の全体像を把握し、その趨勢や変化、特徴などを整理し、会員団体による参加型福祉の点検・評価に寄与していくことを目指します。
- ②生活クラブ運動グループ諸団体による参加型福祉は、制度事業とあわせて自主事業である生活支援サービス（コミ・オブ福祉）事業を展開していることが最大の特徴です。少子・高齢化の進展と制度の限界性が顕著になる中で、生活支援ニーズが増大しています。生活クラブ運動グループによる生活支援サービスの取組みに着目し、その現状把握と分析を通じて点検・評価につなげることが課題となっています。生活クラブ運動グループによる福祉事業の現状と課題を整理し、会員団体による事業・活動の検討に資することを目指します。

(2) 調査の種類

- ①福祉事業実績調査（保育・子育て支援含む）
- ②総合事業調査
- ③居場所・サロン調査
- ④コミ・オブ福祉の相互連携等に関する調査

(3) 調査の主な変更点

- ・「総合事業」、「居場所・サロン」、「コミ・オブ福祉の相互連携」の各調査では、より精度を高めていくことをめざし、それぞれの設問に具体性を持たせるなどして、実態把握を進めるために調査項目の見直しを行いました。
- ・運動グループとしての取り組みの実態をより広く調査するために、今回から W.Co 協会を調査対象に加えました。

(4) 調査概要

①福祉事業実績調査

目 的：基本となる事業を、制度事業、コミ・オブ事業、障害福祉、子育て関連に区分し、特にコミ・オブ事業に着目し全体像の把握を行いました。

対 象：生活クラブ生協、福祉クラブ生協、(社福)いきいき福祉会、W.Co 連合会の 4 団体。

事業業種数：対象とする事業所を全て網羅しました。生活クラブは居宅支援事業(1 事業所)の廃止、福祉クラブでは移動、保育 W.Co の設立、W.Co 連合会では保育、食事 W.Co などの加入によって調査数が以下のように増え、合計 378 業種でした。

<事業業種数>

	生活クラブ生協	福祉クラブ生協	いきいき福祉会	W.Co連合会	合計
2018年度	22	144	34	178	378
2017年度	23	142	34	175	374

*事業により介護保険、自主事業等に分かれているため延べ事業業種数を記載

集約方法：生活クラブ生協、(社福)いきいき福祉会は、従来から使用している集約表を用い、福祉クラブ生協は総代会資料、W.Co 連合会は「2018 年度版神奈川ワーカーズ・コレクティブ実態調査報告書」のデータを用いました。

②総合事業調査

目的：総合事業は 2017 年度より本格実施されましたが、自治体により実施事業に差異が生じています。介護予防（要支援 1. 2）をはじめ、より柔軟なニーズへの対応を目指すことが総合事業のそもそもの本旨ですが、自治体の実施状況にバラツキが大きく、また、2017 年度調査では、運動グループにおいても総合事業 A や「住民主体型」（住民同士のたすけあい）と位置付けられている取り組み（総合事業 B：通所型・訪問型、その他生活支援サービス）が、なかなか進んでいない状況が見えました。地域での実施状況の実態、課題をより明確に把握するために、調査項目を見直しました。

対象：生活クラブ生協、福祉クラブ生協、(社福)いきいき福祉会、在宅福祉関連の W.Co（住まい型生活支援・保育を除く）、W.Co 協会

集約方法：生活クラブ生協、福祉クラブ生協、(社福)いきいき福祉会については、各組織の本部を通じて集約。W.Co 組織、W.Co 協会は個別にメール配信し、メールにて集約。

送付数と回収数：全 78 組織に依頼し、34 組織から回答。

（生活クラブ生協、福祉クラブ生協、(社福)いきいき福祉会を各 1 組織とカウント）

③居場所・サロン調査

目的：2017 年度調査では、調査数の増加により実態把握が進み、全体で企画数が 95 に広がっていることが確認できました。中でも、地域で自治会や他団体などとの協力や W.Co 同士の連携による開催（企画）が増えていることが明らかになりました。2018 年度は居場所の広がりや連携内容等について継続的に実施状況を把握し、課題の共有化を図り、市民参加の促進につなげていくことを目指しました。

対象：福祉クラブ生協、(社福)いきいき福祉会、在宅福祉関連（居宅介護支援事業除く）及び生活文化部門 W.Co、W.Co 協会

*生活リハビリクラブ（生活クラブ）の委託 W.Co 関連のデータは、W.Co 連合会の実績に含む。

集約方法：福祉クラブ生協、(社福)いきいき福祉会については、各組織の本部を通じて集約。W.Co 組織、W.Co 協会は個別にメール配信し、メールにて集約。

送付数と回収数：全 89 組織に調査依頼し、75 組織から回答。W.Co は 86 組織に依頼し 72 組織から回答。

④コミ・オブ福祉の相互連携等に関する調査

目的：生活クラブ運動グループ諸団体では、これまでの参加型福祉の実績をもとに、地域に根ざした支えあい・たすけあいのしくみをいかに豊富に生み出していくことができるかを課題としてきました。2017 年度調査では、コミ・オブ福祉を中心に様々な連携が地域で進められていることが見えてきましたが、さらなる運動グループによる地域連携を生み出し、地域にメッセージ力を強めていくことが課題となってきました。2018 年度調査ではより具体的な設問により実態把握に努め、さらなる地域連携や政策提案活動等につなげていくことを目指し

ました。

対象：福祉クラブ生協、(社福)いきいき福祉会、在宅福祉関連のW.Co(居宅介護支援除く)、W.Co協会

集約方法：福祉クラブ生協、(社福)いきいき福祉会は、各組織の本部を通じて集約。W.Co組織、W.Co協会は個別にメール配信し、メールにて集約。

送付数と回収数：全78組織に調査依頼し、34組織から回答。

2) 生活クラブ運動グループ福祉事業実績

(1) 全体状況

<団体事業種別実績一覧>

<表1>(単位:円)

大分類	データ項目	生活クラブ	福祉クラブ	いきいき福祉会	W.Co連合会	合計	構成比	前年比
福祉事業	利用者人数	1,184	8,029	1,499	4,833	15,545	86.8%	105.0%
	メンバー数	304	2,606	322	1,693	4,925	89.6%	97.2%
	事業高(円)	481,719,000	1,332,799,000	1,464,138,000	1,517,511,488	4,796,167,488	85.5%	104.0%
	前年比	99.9%	103.7%	107.0%	102.9%	104.0%		
子育て関連事業	利用者人数	133	1,191		1,043	2,367	13.2%	219.2%
	メンバー数	26	228		317	571	10.4%	92.8%
	事業高(円)	65,871,000	50,685,000		699,794,380	816,350,380	14.5%	108.9%
	前年比	93.1%	115.1%		110.2%	108.9%		
総計	利用者人数	1,317	9,220	1,499	5,876	17,912	100.0%	110.2%
	メンバー数	330	2,834	322	2,010	5,496	100.0%	96.1%
	事業高(円)	547,590,000	1,383,484,000	1,464,138,000	2,217,305,868	5,612,517,868	100.0%	104.6%
	前年比	99.1%	104.0%	107.0%	105.1%	104.6%		
	構成比	9.8%	24.6%	26.1%	39.5%	100.0%		

*メンバー数:生活クラブ、福祉クラブ、W.Co連合会はW.Coメンバー数、いきいき福祉会はアルバイト・派遣を含む職員数

*構成比は、総計に占める割合

- ・2018年度の生活クラブ運動グループ年間総事業高は約56.1億円であり、福祉事業、子育て関連事業ともに伸長し、前年比104.6%の実績でした。事業種別構成比は、福祉事業85.5%、子育て関連事業14.5%となっています。
- ・福祉事業では、いきいき福祉会の前年比107.0%の伸長が特徴的です。特養をはじめとする施設系、定期巡回随時対応型訪問看護等の地域密着事業の利用が伸びており、2019年4月のラポール藤沢の災害防災移転計画を踏まえ経営分析や経営努力を重ね、職員一丸となって事業・経営に当たってきた成果と言えるでしょう。
- ・子育て関連事業前年比が108.9%と伸長しています。福祉クラブ生協(115.1%)、W.Co連合会(110.2%)が伸長しています。福祉クラブ生協は、企業主導型保育が利用につながり、預かり事業等では情報発信を強化したことが要因と考えられます。

<福祉事業種別内訳>

<表2> (単位:円)

大分類	データ項目	生活クラブ	福祉クラブ	いきいき福祉会	W.Co連合会	合計	構成比	前年比
公的制度事業	利用者人数	1,179	3,158	1,431	2,862	8,630	55.5%	93.0%
	メンバー数	304	1,461	307	1,211	3,283	66.7%	98.9%
	事業高(円)	481,719,000	896,124,000	1,411,372,000	866,179,522	3,655,394,522	76.2%	102.4%
	前年比	99.9%	103.7%	106.9%	95.8%	102.4%		
自主事業 (制度外事業)	利用者人数		4,809	68	1,738	6,615	42.6%	126.4%
	メンバー数		724	15	482	1,221	24.8%	104.7%
	事業高(円)		416,306,000	47,492,000	563,282,786	1,027,080,786	21.4%	111.1%
	前年比		104.6%	99.7%	117.7%	111.1%		
障害福祉 サービス	利用者人数	5	62	訪問に含む	233	300	1.9%	104.2%
	メンバー数	訪問に含む	421	訪問に含む	訪問に含む	421	8.5%	72.5%
	事業高(円)	訪問に含む	20,369,000	5,274,000	88,049,180	113,692,180	2.4%	95.6%
	前年比		86.3%	180.1%	95.3%	95.6%		
福祉事業	利用者人数	1,184	8,029	1,499	4,833	15,545	100.0%	105.0%
	メンバー数	304	2,606	322	1,693	4,925	100.0%	97.2%
	事業高(円)	481,719,000	1,332,799,000	1,464,138,000	1,517,511,488	4,796,167,488	100.0%	104.0%
	前年比	99.9%	103.7%	107.0%	102.9%	104.0%		

- ・子育て関連事業を除いた福祉事業年間総事業高は約48億円であり、その内訳は公的制度事業約36億5千万円、自主事業(制度外)10億3千万円、障害総合支援事業1億1千万円です。福祉総事業高は運動グループ全体で前年比104%の実績でした。事業種別構成比は、公的制度事業76.2%、自主事業21.4%、障害福祉サービス2.4%です。
- ・公的制度事業は、いきいき福祉会が前年比106.9%と大きく伸長しているのが特徴です。前述したように施設系、地域密着事業等の伸長による経営努力が要因です。
- ・自主事業では、W.Co連合会が前年比117.7%と大きく伸長していますが、なかでも、生命の根源である「食」を扱う食事サービスが大きく伸長しています。辻堂では食事サービスや生活支援W.Coが、厚木では食事サービスW.Coによる民間企業との地域経済連携とも言える事業展開が特徴です。
- ・障害福祉サービスは、運動グループ全体では前年を割っていますが、いきいき福祉会は利用者の増加に伴い、前年比180.1%と伸長しています。

(2) 介護保険事業の事業種別内訳(行政委託事業及び障害福祉サービスを除く) <表3> (単位:円)

生活クラブ運動グループ	居宅サービス	施設サービス	地域密着型事業	福祉用具	合計	構成比	前年比
生活クラブ	420,389,000	0	22,417,000		442,806,000	13.1%	100.1%
福祉クラブ	797,942,000	0	29,272,000	39,486,000	866,700,000	25.6%	104.4%
(社福)いきいき福祉会	399,973,000	721,042,000	139,179,000	0	1,260,194,000	37.2%	103.6%
神奈川W.Co連合会	736,019,128		85,480,000	0	821,499,128	24.2%	96.5%
合計	2,354,323,128	721,042,000	276,348,000	39,486,000	3,391,199,128	100.0%	101.5%
前年比	98.5%	111.0%	109.7%	81.9%	101.5%		
構成比	69.4%	21.3%	8.1%	1.2%	100.0%		

* 居宅サービス: 訪問介護・通所介護(総合事業含む)、居宅介護支援、短期入所

* 施設サービス: 特別養護老人ホーム

* 地域密着サービス: グループホーム、認知症対応型通所、サテライト特養、夜間対応型訪問介護、定期巡回随時対応型訪問介護看護
小規模多機能型居宅介護

通所・訪問事業における介護保険と総合事業の実績割合

<表4> (単位:円)

年度	総合事業					介護保険給付事業					介護保険計	
	通所	事業比	訪問	事業比	前年比	通所	事業比	訪問	事業比	前年比	通所	訪問
2018年度												
生活クラブ	13,732,402	4.5%	13,858,161	19.9%	99.7%	288,293,597	95.5%	55,779,008	80.1%	129.0%	302,025,999	69,637,169
いきいき福祉会	7,301,719	6.0%	4,408,204	10.7%	-	113,782,281	94.0%	36,602,796	89.3%	-	121,084,000	41,011,000
W.Co連合会	7,978,600	5.5%	129,972,180	31.5%	113.7%	136,736,717	94.5%	282,837,788	68.5%	98.2%	144,715,317	412,809,968
計	29,012,721	5.1%	148,238,545	28.3%	-	538,812,595	94.9%	375,219,592	71.7%	-	567,825,316	523,458,137
生活クラブW.Co計			143,830,341	29.8%	112.2%			338,616,796	70.2%	102.2%	446,741,316	482,447,137
2017年度												
生活クラブ			13,897,410	24.3%				43,223,250				57,120,660
W.Co連合会			114,292,193	28.4%				288,140,492				402,432,685
計			128,189,603	27.9%				331,363,742				459,553,345

* 総合事業: 現行相当、サービスA・B

* 福祉クラブ生協は介護保険と総合事業の区分けが無いためデータに含まず

- ・制度事業の抑制（サービス対象者の重度化等）が進む中で、介護保険の総事業高は、前年比 101.5%と前年実績を維持しました。
- ・訪問介護、通所介護、居宅介護支援事業などの居宅サービスの事業高計は 23.5 億円で、介護保険事業全体の約 69.4%を占めており、在宅生活を支えることを基本とする、参加型福祉の特徴が現れています。
- ・施設サービスでは、いきいき福祉会の特別養護老人ホームの退去者が少なく稼働率が高かったことから、前年比 111.0%と伸長しています。
- ・また、小規模多機能型居宅介護事業所（2→3 事業所）と登録者数の増加を要因として地域密着型事業が 109.7%と前年を上回っています。地域密着型事業は、これまでは「グループホーム」や「サテライト特養」などが主でしたが、小規模多機能型居宅介護事業所の増加により、事業高構成比は全体の 8.1%と 1 割に近づきました。
- ・生活クラブ、いきいき福祉会、W.Co 連合会の、介護保険給付事業と総合事業の割合を対比すると、総合事業の通所型は 5.1%と低く、訪問型では W.Co 連合会が 31.5%と 3 割を超えています。また、生活クラブと W.Co 連合会の訪問事業の前年比が介護給付 102.2%に対し、総合事業では 112.2%と大きく伸長していて、W.Co 事業は制度の変容が進む中で、地域に住み暮らす高齢者のニーズへの対応力を高めていることが見えてきます。

(3) 訪問系サービス時間数と事業高

<表 5>

サービス分類	実績(円)	前年比	構成比	制度外事業と制度内事業の内訳	実績(h)	前年比	構成比	制度外事業と制度内事業の内訳	時間当たり単価(円)
家事介護(自主)	139,419,263	99.4%	13.6%	13.6%	99,608	96.2%	28.6%	28.6%	1,400
介護保険(訪問)	762,204,564	94.4%	74.5%	86.4%	211,813	91.6%	60.8%	71.4%	3,598
障害福祉サービス	113,692,180	95.6%	11.1%		33,355	98.1%	9.6%		3,409
行政委託	7,093,240	102.9%	0.7%		3,542	114.0%	1.0%		2,003
合計	1,022,409,247	95.2%	100.0%	100.0%	348,318	93.7%	100.0%	100.0%	2,935

* 訪問系サービスは家事介護(自主)、介護保険(介護給付・総合事業)、障害福祉サービス、行政委託(産後支援等)

- ・訪問系サービスの総事業高は前年比 95.2%と減少しています。その内、自主事業(制度外)と制度事業(介護保険、行政委託、障害福祉サービス)の割合は 14 : 86(前年は 13 : 87)で、圧倒的に制度事業の割合が高くなっています。一方、活動時間の割合は、29 : 71 となっています。
- ・2017 年度は家事介護事業(自主)が前年比 109.4%と大きく伸長しましたが、それは地域の中で制度事業の抑制と総合事業の本格実施が進み、大規模事業所等(運動グループ外)による経営重視の姿勢(利用者のセレクト/総合事業を受けない)が強まる中において、利用者(ニーズ)を選ばないすけあい(原)を原理とする W.Co への信頼と経営努力の結果と分析しました。2018 年度調査では、介護保険事業の抑制が一層進み、介護給付と総合事業の報酬比較(p17)でも明らかのように、経営環境は厳しさを増していますが、そうした中で家事介護事業(自主)は前年実績を維持しています。
- ・1 時間当りの報酬単価(事業高)は、制度事業の訪問介護が 3,598 円、障害福祉サービスが 3,409 円、行政委託(産後支援等)が 2,003 円であり、制度事業の単価が一番高くなっています。自主事業の家事介護の実績は 1,400 円です。

(4) 利用者状況 (利用者の登録データ集計)

<表 6>

サービス分類	サービス種類	利用者登録人数 (3月末)	前年比	構成比	備考
自主事業 (制度外事業)	家事介護	2053	201.7%	13.2%	
	食事サービス	1284	103.1%	8.3%	
	移動サービス	2692	111.4%	17.3%	
	居場所	381	119.4%	2.5%	
	その他	70	66.7%	0.5%	成年後見等
	住まい生活支援	99	105.3%	0.6%	住まい支援(特養・有料)
	賃貸事業	36	94.7%	0.2%	ケア付き住宅
	小計	6615	126.4%	42.6%	
介護保険	訪問介護	2,579	76.0%	16.6%	
	通所介護	1,102	98.6%	7.1%	
	居宅介護支援	3,559	103.0%	22.9%	
	短期入所	128	90.1%	0.8%	
	施設サービス	134	99.3%	0.9%	特別養護老人ホーム
	地域密着事業	125	77.6%	0.8%	グループホーム、サテライト特養、認知症対応型通所介護、夜間対応型訪問介護、定期巡回随時対応型訪問介護・看護
	地域支援事業	948	121.5%	6.1%	地域包括支援センター
	福祉用具	0	#DIV/0!	0.0%	人数の入力無し
障害福祉サービス	障害福祉サービス	300	104.2%	1.9%	
行政委託	行政委託	55	57.9%	0.4%	訪問
	小計	8,930	93.3%	57.4%	
合計		15,545	105.0%	100.0%	

- ・利用者の割合は、自主事業約 42.6%、介護保険事業 55.1%、障害者総合支援と行政委託 2.3%となっています。(2017年自主: 35.4%、介護保険 65.1%、障害者総合支援と行政委託 2.5%)
- ・介護保険訪問介護と自主事業の家事介護利用者数の区別が進みました。(福祉クラブ)
- ・自主事業全般で利用者が増加し、介護保険事業全般では居宅サービスをはじめ減少傾向です。

(5) 運営状況(事業種別メンバー数)

<表 7>

サービス分類	サービス種類	メンバー数(人)	前年比	構成比	備考
自主事業 (制度外事業)	家事介護	0	0.0%	0.0%	訪問介護と兼務のため入力無し
	食事サービス	369	111.8%	7.5%	
	移動サービス	630	104.0%	12.8%	
	居場所	34	97.1%	0.7%	
	その他	41	110.8%	0.8%	
	住まい生活支援	142	107.6%	2.9%	住まい支援(特養・有料)
	賃貸事業	5	71.4%	0.1%	ケア付き住宅
	小計	1221	104.7%	24.8%	
介護保険	訪問介護	1,860	98.5%	37.8%	
	通所介護	782	95.5%	15.9%	
	居宅介護支援	198	96.1%	4.0%	
	短期入所	24	266.7%	0.5%	
	施設サービス	163	106.5%	3.3%	特別養護老人ホーム
	地域密着事業	185	136.0%	3.8%	グループホーム、サテライト特養、認知症対応型通所介護、夜間対応型訪問介護、定期巡回随時対応型訪問介護・看護
	地域支援事業	19	111.8%	0.4%	地域包括支援センター
	福祉用具	52	104.0%	1.1%	
障害福祉サービス	障害福祉サービス	421	72.5%	8.5%	訪問介護と兼務のため入力無し
行政委託	行政委託	0	0.0%	0.0%	訪問
	小計	3,704	95.0%	75.2%	
合計		4,925	97.2%	100.0%	

- ・自主事業と介護保険等の制度事業のメンバー数(従事者)の割合は、25:75で、前年と比較すると若干自主事業の比率が高くなりました。
- ・サービス別で見ると、訪問系(訪問介護と障害者総合支援)で活動するメンバーは46.3%と半数近くを占めていることから、制度内と制度外を兼務しているメンバーの割合の高さが読み取れます。次いで通所事業15.9%、移動サービス12.8%であり、前年同様の傾向です。
- ・2018年度のメンバー数は全体で前年比97.2%と減少していますが、小規模多機能型居宅介護施設を含めた地域密着事業や自主事業では増加傾向です。

(6) 生活支援サービス（自主事業）の状況

<表 8>

①全体状況

- ・自主事業（コミ・オプ福祉）の事業種別実績内訳では、食事サービスが約 4.6 億円で全体の約 6 割を占めています。次いで移動サービス 1 億 5 千万円、家事介護 1 億 4 千万円と続きます。
- ・家事介護、福祉用具を除き前年を上回っています。

中分類	小分類	事業高	前年比	構成比
自主事業	家事介護	139,419,263	99.4%	18.1%
(単位:円)	食事サービス	458,746,394	122.2%	59.7%
	移動サービス	147,371,317	100.4%	19.2%
	居場所	2,222,000	114.7%	0%
	福祉用具	20,473,000	95.8%	2.7%
	合計	768,231,974	112.0%	100%

* 住まい生活支援、賃貸事業、成年後見事業は含まず

* 食事、移動には行政委託含まず

* 福祉クラブの居場所は、サロン事業のみ

2017 年度加入 W.Co による食事サービスと福祉クラブのうゑるびーサロン会員拡大により居場所が伸長しています。

②食事サービスの状況

<表 9>

食事サービス (単位:円)	総事業高	総事業高内訳		配食数内訳		配食合計数	配食数前年比
		自主事業	行政委託	自主事業	行政委託		
福祉クラブ	173,729,000	144,305,000	29,424,000	89,644	32,010	121,654	103.4%
いきいき福祉会	12,724,000	10,883,000	1,841,000	0	1,566	1,566	35.5%
W.Co 連合会	322,104,937	303,558,394	18,546,543	110,584	19,381	129,965	103.8%
合計	508,557,937	458,746,394	49,811,543	200,228	52,957	253,185	102.4%
前年比	115.7%	122.2%	77.6%	111.6%	78.1%	102.4%	
構成比	100.0%	90.2%	9.8%	79.1%	20.9%	100.0%	

- ・食事サービス(配食・施設食事提供・ケータリング・惣菜等)は 19 団体が実施しており、総事業高は約 5 億 8 百万円です。その内、行政委託を受けている団体は 10 団体で、受託事業高は約 5 千万円です。

- ・行政受託事業(配食)前年比は引き続き低下していますが、自主事業(配食・施設食・惣菜等)前年比は 122.2%と大きく伸長しているのが特徴です。自主事業の伸長の要因は利用者の口コミや、シニア向けマンションの食堂とレストランに食事を提供している W.Co (W.Co 連合会) の加入によるものです。

*一般社団法人 W.Co キッチンぱおは、厚木市にあるダイヤモンドライフ森の里(シニア向けマンション)居住者用食堂とレストランの業務を受託している。15 年ほど地域で食事サービス(お弁当の配食)を行ってきて、施設の老朽化から廃業を決めたが、配食を受けていた人の評判を聞いた上記施設から業務委託の話があった際、意志あるメンバーで新たに呼びかけ人会が発足した。その後設立準備会を経て(W.Co 連合会の支援あり)、新たな事業を継続させるために一般社団法人化し、2017 年度 W.Co 連合会に加入した。2017 年度の事業開始は期中であったため、実績調査は 2018 年度より実施。

- ・これまでの報告書では食事サービスに関して、生命の根源である「食」を扱い、見守りなどを含むその社会的有用性に対する評価や認知・位置づけが十分に高まっているとは言えない、とまとめてきました。行政委託は自治体の予算縮小に伴い減少していますが、民間の施設等の委託を受けて事業を行っている W.Co が複数あります。これらの受託事業は、地域での信頼を基に新たに事業を拡大する方法であると考えられます。その際、地域に密着した W.Co の事業・活動への信頼と共感が重要であり、同時に、地域づくりに向けた W.Co メンバーによる支え合い、助けあひづくりへの合意と広がりが欠かせません。

③移動サービスの状況

<表 10>

- ・移動サービスの総事業高は 31 団体で約 1 億 5 千 8 百万円です。その内、補助・助成を 25 団体が

移動サービス (単位:円)	総事業高	事業高内訳		福祉有償 運送件数	福祉有償運送 件数前年比
		自主事業	助成・補助		
W.Co 連合会	119,081,830	112,334,317	6,747,513	48,058	95.6%
福祉クラブ	39,317,000	35,037,000	4,280,000	22,524	124.4%
合計	158,398,830	147,371,317	11,027,513	70,582	103.2%
構成比	100.0%	93.0%	7.0%		
前年比	103.0%	100.4%	154.9%	103.2%	

福祉有償運送件数:福祉クラブについては、利用者登録数×12ヶ月で計上

受けていて、その額は 1,100 万円でした。

<表 10>

- ・自主事業の前年対比は 100.4%とほぼ前年並みですが、助成・補助事業は 154.9%と大きく伸長しているのが特徴です。
- ・助成・補助による収入の、総事業高に占める割合は 7.0%で前年比 2.4 ポイント上昇しました。助成・補助を受けている事業所の内、座間市の 1 事業所を除いた平均助成額は、年間 10 万円～70 万円程度となっています。
- ・助成・補助事業が伸長しているのは、大和市では福祉車両利用助成券を発行していて、W.Co の利用者が増えたこと、座間市は移動制約者（交通弱者）の外出支援を W.Co に委託していること等が調査から新たにわかりました。
 - * 1 神奈川県内で、市町村が発行する「福祉タクシー券」は福祉有償運送登録団体でも使用可能。使用可能となったきっかけは、大和市の利用者がタクシーでは通院できないので、W.Co の移動サービスで使えるようにして欲しいと要望したことによる。大和市をきっかけに県内の登録団体でも使用可能となった。
 - * 2 大和市は「福祉タクシー利用券」の他に、障害者手帳保有者（1・2 級）と要介護者（介護 3 以上）の人に「福祉車両利用券」を発行しており、現在 W.Co ケアびーくるを含む協働事業者 3 団体で使用可能。
大和市では、市民と自治体が協力して地域の公共的課題を解決していく「新しい公共を創造する市民活動推進条例」を実現するために、平成 15 年度より「協働事業等提案制度」を始めている。その中の“市民提案型”事業に、W.Co ケアびーくるが「移動制約者の外出介助サービス事業」を提案し、採択されて協働事業者となっている。
 - * 3 座間市は、「福祉タクシー利用券」の他に、移動制約者の外出支援を行う移送サービス事業を実施している。平成 18 年度当時、市内に福祉有償運送登録団体が W.Co たすけっとだけであったため、移送サービス事業を始めるにあたり W.Co たすけっとに委託することとなった。委託という形では、県内唯一の事例となっている。
- ・福祉有償運送が社会的な制度になるまでは、生活クラブ運動グループの連携により、また、単体 W.Co による自治体への折衝などがありました。また、規制緩和を求めるためには、移動 W.Co だけではなく横浜の移動サービス協議会も一緒になり、「かながわ福祉移動サービスネットワーク」を設立して国にも働きかけてきたことが、成果につながってきています。自治体によるニーズに即した施策を実現する上では、利用者の声を行政に届け、自治体職員との連携が大きな力となっています。
- ・移動サービスに関しても、これまでそのセーフティーネットとしての役割や価値に対する社会的認知・位置づけが高まっていないとしてきました。2019 年度に入り、かながわ生き生き市民基金の「エラベル」（事業指定プログラム）募集に、移動ワーカーズが福祉車両の新規購入を申請し、登録団体として承認を受けました。このような取り組みは、単に事業継続のために寄付を募り資金を得るということだけではなく、利用者の移動の自由を実現する活動であることを広く市民に訴え、認知を高めるための主体的なアクションとして有効性が高いといえるでしょう。

（7）まとめ

- ・福祉事業の総事業高は、いきいき福祉会での職員一丸となった積極的経営努力による伸長と、W.Co 組織の増加等により前年を上回りました。また、制度事業の伸長（102.4%）に対し、自主事業が前年比

111.1%と大きく伸長しているのが特徴です。中でも、食事サービス、移動サービスが牽引しています。また、自主事業全体の利用者数及びメンバー（従事者）数は増加傾向です。

- ・訪問系サービスの事業高計<表 5>は 95.2%と前年を下回っていますが、中でも介護保険事業は前年比 94.4%であり、介護保険の利用対象者の限定(従前の要支援 1・2 の除外)の影響が見え、一方、家事介護事業（自主）は前年を維持しており、在宅で暮らす人々が地域の中で必要なサービスが受けられない事が無いようにサービス提供する、W.Co の基本姿勢と経営努力が見て取れます。
- ・「制度あって、介護なし」という現実が進まないように、今後に向けた事業・活動の方向性を運動グループ全体で検討し、具体化していくことが求められていると言えるでしょう。

2. 総合事業調査

1) 調査概要（資料 p 32～38）

<表 11>

	生活クラブ	福祉クラブ	いきいき福祉会	W.Co協会	W.Co連合会	計	前年比
送付事業所数	6	29	4	1	74	114	131.0%
回答事業所数	6	29	4	1	30	70	134.6%
前年比	100.0%	107.4%	100.0%		200.0%	134.6%	
訪問型実施事業数	5	36	2	—	37	80	135.6%
通所型実施事業数	7	7	2	申請予定	7	23	127.8%
一般介護予防実施事業数	0	0	0	0	1	1	100.0%
実施事業数計	12	43	4	—	45	104	133.3%

- ・実態把握を強めるため前年度の事業実施の有無にかかわらず調査票を配布しました。福祉クラブでは総合事業の組織的な取り組みが進み、加えて W.Co 連合会所属 W.Co からの回答が増えたことにより、全体の回答数が増えました。
- ・回答数は 70 事業所、実施事業数は訪問型 80 事業、通所型 23 事業であり、前年を大きく上回りました。一般介護予防実施は 1 事業です。

2) 訪問型の概要

<表 12>

	生活クラブ	福祉クラブ	いきいき福祉会	W.Co連合会	2018年度実施事業数	実施事業数前年比	2018年度利用人数	利用人数前年比
現行相当	4	19	2	21	46	135.3%	981	137.4%
サービスA	1	17		13	31	134.8%	210	165.4%
サービスB				2	2	200.0%	26	—
サービスD				1	1	100.0%	12	150.0%
計	5	36	2	37	80	135.6%	1,229	144.8%
前年比	100.0%	100.0%	100.0%	231.3%	135.6%	—	—	—

- ・現行相当事業数は 46 であり、半数以上の事業所が実施しています。W.Co 連合会の回答数が増えたことにより、実施事業数、利用人数とも大きく伸長しています。
- ・サービスA事業数は 31 であり、W.Co 連合会で実施事業数が増えていることから、利用者数も前年比 165.4%となっています。
- ・サービスBの前年度実施数は 1 事業でしたが、2018 年度では 2 事業になりました。前年は利用者がゼロでしたが、26 人の登録がありました。

- ・サービスDは事業数の増減はありませんが、若干利用者数が増えています。
- ・訪問型は実施事業数計が前年比 135.6%と増え、利用人数も前年比 144.8%と大きく増加していることが特徴です。新たな地域のニーズに応えようとする、W.Co の対応姿勢が見えてきます。
- ・サービスAは「利用者が少ない」、「いない」との回答が多い中で、5 W.Co で 178 人の利用者があり 85%を占めています。横浜市の W.Co では、周囲の事業者が総合事業のサービス提供を行っていないため、家族内に介護保険や障害福祉サービスを利用している人がいるケース等では、同時に複数のケア依頼があり利用者が増加しています。
- ・サービスBを実施しているのは、横浜市と逗子市の W.Co です。逗子ではニーズとのマッチングが難しくサービスにつながりにくいとのコメントがあります。横浜市の W.Co は、資料（p 46）にあるように 25 人の登録者にサービスを実施しています。

3) 訪問型の課題

調査票には、以下のようなコメントが出されています。

<サービスA>

- ①ケアプランを作成する際、現行相当とサービスA(身体介護を除く生活援助)のどちらかに位置付けるかは、ケアマネジャーによるアセスメントに任されているため、解釈がまちまちでケアプランにばらつきがあると感じている。
- ②介護保険利用から総合事業に移行したケースでは、サービス時間、回数、内容に関して利用者の理解・納得がなかなか得られにくい。
- ③利用者の自立度が高くこだわりの家事を希望され、サービス提供すること自体に課題を感じる事がある。
- ④自治体では施策に合わせて研修を組み立てているため、その実施内容や実施方法（自治体で実施、事業者が実施等）等が異なり、なかなか受講が進んでいない。
- ⑤自治体のサービスコードは複雑で難しく、介護保険より事務処理に時間がかかっている。
- ⑥総合事業に取り組まない大手事業所が増え、NPO や W.Co への依頼が増えているため、要支援者の利用が要介護者を上回り、事業高が伸び悩んでいる。

<サービスA・B共通>

- ①ニーズがあっても担い手不足やヘルパーの高齢化などから、対応できない事がある。
- ②要支援者の利用が多くなるとサービス内容は家事支援が多くなり、身体介護は限られてくるため、ヘルパー全体の介護技術の維持が課題になってくる。
- ③自治体による訪問型生活援助サービス研修を受けてサービス提供にあたる人を、どのように W.Co に受け入れるのか、内部のルール検討が必要。

4) 通所型の概要

<表 13>

	生活クラブ	福祉クラブ	いきいき 福祉会	W.Co連合会	2018年度 実施事業数	実施事業数 前年比	2018年度 利用人数	利用人数 前年比
現行相当	6	6	2	5	19	111.8%	305	89.7%
サービスA	1		0	1	2	200.0%	0	—
サービスB	0	1	0	1	2	—	18	—
一般介護予防				1	1	100.0%		—
計	7	7	2	8	24	126.3%	323	92.3%
前年比	100.0%	116.7%	100.0%	200.0%	126.3%	—	—	—

- ・現行相当の実施数は19事業で、前年比111.8%と伸びていますが、利用者は89.7%と昨年に比べて減少しています。
- ・サービスA：実施は2事業ですが、利用者はいません。
- ・サービスB：2事業が開始され、登録利用者は18人です。
- ・一般介護予防：前年と同じく1事業でした。
- ・現行相当利用者数は、事業所により増減のバラつきがあり、総体的に減少しているのが特徴的です。
- ・サービスBの前年度登録利用者はいませんでした。2018年度は18人の実績がありました。また、申請中(2019年4月実施)が2事業あります。いずれも横浜市であり、補助金の活用ができます。

5) 通所型の課題

調査票には、以下のようなコメントが出されています。

<現行相当>

①現行相当では、要支援2は1ヶ所のデイサービス利用に限られており、機能が異なるデイサービスを選べない不自由さがある。

<サービスA>

①「サービスA」は報酬単価が低く、定員数の中で経営面を考えて判断せざるを得なく、経営を圧迫しかねない状況だ。

<サービスB>

①サービスBでは、要支援1・2の利用者の確保と継続的利用が課題。また、横浜市では、補助金の使い方が限られていて使いにくい。

②サービスBを検討しているが、先行している事業所から、提出書類が多くかなりの労力を要すると聞いている為、申請に躊躇している。

6) 自治体による総合事業の施策に関する地域情報・コメント

①事務処理上の課題

- ・報酬単価が低く事業性が担保できないだけでなく、地域により算定方法が異なるため、報酬請求等のソフトが一律で使えない事もあり、大手の事業所が総合事業から撤退している。旧福祉事業連合時代に導入した「ケアオンライン」も、総合事業は活動実績に反映されず困っている。
- ・報酬単価が低いわりに提出書類が繁雑であり、もっと簡素化が必要ではないか。

②サービスA

- ・自治体ではサービスAのケアを増やしていく方向性がある。地域包括支援センターでも、サービス事業所にケアを受け入れてもらう為に、ケアマネジャーの解釈に任せるのではなく、統一した国の基準で実施する方向性があると聞いている。(茅ヶ崎市)
- ・サービスAの利用者は、介護保険申請に至り利用を終了するか、骨折等の完治により終了するなど、一定の利用におさまっており増えない。(藤沢市)

③サービスBに関して

- ・横浜市の各地域ケアプラザ単位で、サービスBの住民サポーターズの活動が始まった。1時間500円の利用率(利用者自己負担)でまだまだ浸透していないが、W.Coのサービス料と比較される懸念がある。
- ・大手事業所ではサービスBを受けないところがほとんどだが、逆にサービスBを利用している人の話は聞かない。(横浜市保土ヶ谷区)

7) 自治体による実施状況 (p16、p39~44 参照)

サービスA

- ・訪問型は政令市と中核市での実施が多いが、通所型は訪問型の半数程度の実施となっている。
- ・研修に関しては、横浜、川崎、相模原、平塚、小田原の5市では、指定訪問介護事業者が養成研修を実施することができ、1日程度の研修となっている。(訪問型では同行訪問を要件に含む)
- ・上記5市以外は、各市が年間数回行うとしており、鎌倉市では2種類の研修(同行訪問含む)修了、藤沢市は5日間(24時間)の修了が要件となっている。

サービスB

- ・サービスAに比べ、訪問型(8)、通所型(7)とも、実施自治体は少ない。
- ・横浜、厚木、秦野市の通所型では、利用者の半数以上が要支援者(事業対象者)であること等の要件がある。また、活動に参加する人についても相模原市では、利用者受け入れ5名につき市が実施するシニアサポート活動講座受講者を1名以上配置すること等、厳しい要件となっている。
- ・大和市の通所型は、サービスC(短期集中予防サービス)が終了した利用者(事業対象者含む)を対象とし、サービスCを実施する施設に委託して実施するなど、対象者をかなり限定している。

8) まとめ

- ・総合事業は地域の実情に応じてニーズを掘り起こし、同時に住民等の多様な主体が参画し、特に訪問型サービスB、通所型サービスBは、住民相互の「支えあい・たすけあい」の充実を本旨とする介護予防事業です。この間の調査では、総合事業を進めるに際しての事業所内の体制や制度上の課題が様々に出されていますが、参加型福祉を基盤にもう一つの地域包括ケアを地域に広げていくには、介護給付事業の対象者が限定され(要介護者)、一方、自治体が事業主体である総合事業の実施が進まない中で、住民主体の“サービスB”に着目し、市民参加による自主的な担い手づくりの必要性が一層高まっています。
- ・“サービスB”を進めるには大きな課題が3つあります。「実施状況」のまとめからも見えてきますが、一つは自治体の施策に格差があり、実施が広がっていない。二つめは、住民主体と言いながら、実施

要件が厳しく市民が主体となった「たすけあい」活動を阻害していること、さらに三つめには、調査のコメントにもあるように W.Co のメンバー不足や高齢化といった主体状況が挙げられます。

- ・介護予防のための総合事業は、住民などの多様な主体の参画が期待される事業活動であり、その本旨は「お互いさまのたすけあい」にあります。地域のニーズを拾えるのも、そこに住み暮らす W.Co や市民ならではです。ヒアリングをする中で、実施していない自治体の中には地域ニーズを十分に拾っていないと思われる自治体もあります。自分たちが住んでいる自治体事業へは直接的に様々な働きかけができます。運動グループの連携で進める政策提案活動や、地域の事業所等の連携を通じた自治体との協議の場の設定などの手だてを活用して、市民参加の地域づくりを考えるための対応を急ぎたいものです。
- ・団塊の世代が全員後期高齢期に入る「2025年」はすぐ目の前まで来ており、どのように地域で住み暮らし続けるのか、すべての市民が避けることのできない大きな課題となっています。「介護」を受けずにその手前で、できるだけ長く元気で暮らし続けるために、「その人らしく」を支える「お互いさまの助けあい」である生活支援サービスは、今日より重要性を増しています。W.Co のメンバー拡大とアソシエーションを基盤としたボランティア活動の地域連携について、運動グループ全体で共通の目的意識に立ち、その具体化が急がれているのではないのでしょうか。

2018年度 県内9自治体の介護予防・生活支援サービス実施状況表

2019.4現在

介護予防・生活支援実施事業/自治体名		横浜市	川崎市	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	相模原市	厚木市	逗子市	葉山町
訪問型サービス	①訪問介護現行相当	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	②訪問型サービスA(緩和)	○	○	○	○	○	○	○		
	③訪問型サービスB(住民主体)	○(補助事業)	○	○(補助事業)			○(補助事業)	○(補助事業)	○(W.Coモデル事業)	
	④訪問型サービスC(短期集中)	○	○(訓練型)		○	○				○
	⑤訪問型サービスD(移動支援)						○			
通所型サービス	①通所介護現行相当	○	○(5時間以上)	○	○	○	○	○	○	○
	②通所型サービスA(緩和)		○(5時間未満)			○	○			
	③通所型サービスB(住民主体)	○(補助事業)	○(広告・宣伝のみ)	○(補助事業)			○(補助事業)	○(補助事業)		
	④通所型サービスC(短期集中)			○		○	○	○	○	○
その他の生活支援サービス	①栄養改善を目的とした配食	○(補助事業)					○			
	②住民ボランティア等が行う見守り	○(補助事業)					○			
	③自立支援に資する生活支援									
備考	活動費:年間60万円 通所型サービスB: 家賃など人数により 120~240万円						通所:1回あたり1,000円 訪問:買い物や散歩週あたり1,000円 ゴミ出し週2回で1週あたり1,000円 (通所・訪問とも)受け入れ人数が3人を超えるごとに1回500円上乗せ	地区限定 訪問:500円×延べ日数+四半期に15,000円 通所:500円×延べ利用者数+四半期に20,000円		
一般介護予防事業	①介護予防把握事業								訪問面談支援	
	②介護予防普及啓発事業		いこい元気広場事業等	運動・栄養・口腔ケア等 介護予防各種教室	健康講座・認知症予防講座 ・認知機能アップ教室	転倒予防・介護予防 ・栄養教室・講演会	筋力向上トレーニング ・介護予防教室	運動教室・健康講座 ・転倒骨折予防教室	体力測定・介護予防 手帳・介護予防教室	元気はつらつ教室・認知症 予防教室・介護予防運動教室
	③地域介護予防活動支援事業	元気づくりステーション 事業等	通いの場(補助)	サロン・サークル等 通いの場支援	集いの場事業・ 介護予防関連事業	高齢者支援リーダー養成講座 ・歌体操教室	介護予防サポーター 養成講座	通いの場事業	サロン・ 通いの場支援	貯金運動・ 通いの場事業
	④一般介護予防事業評価事業						生き生きシニア地域活動 補助金・ハートポイント		ニーズ調査	
	⑤地域リハビリテーション活動支援事業					サロンリハ・自宅リハ				
備考		1団体あたり、年間最大 30万円、2年間申請可能	介護予防・健康づくり自 主活動団体へ補助金を 交付。運営費として月額 1万円を上限として補助							

* 鎌倉市では、平成31年1月から、総合事業Bが開始になりました。

介護給付と総合事業の報酬比較

総合事業は自治体事業であり、報酬単価は自治体が決定するため自治体により差異があります。横浜市を例に示して、介護給付に対して総合事業の報酬額は約 60～70%である。

通所事業介護事業者の報酬 (要介護1の利用者が週1回利用した場合1ヶ月の比較)

介護給付 25,548 円の報酬 ⇒ 現行相当では 15,890 円となり、介護給付の 62%の収入となる。

訪問事業介護事業者の報酬 (身体介護中心 45 分程度のケアと月 4～5 回利用の場合 1 ヶ月の比較)

介護給付 15,773 円の報酬 ⇒ 現行相当では 11,689 円となり、介護給付の 74%相当の収入
サービスAでは 10,518 円となり、介護給付の 67%相当の収入となる。

< 参考 > 2019 年 4 月現在

通所事業

1) 地域密着型通所介護報酬 (小規模)

通所介護費 (1回につき)	単位数	月4回報酬(円)
(1) 要介護1	662	25,548
(2) 要介護2	782	30,179
(3) 要介護3	903	34,849
(4) 要介護4	1,023	39,480
(5) 要介護5	1,144	44,149

2) 介護予防・日常生活支援総合事業報酬

		区分	1ヶ月の単位数	1ヶ月の報酬 (円)
相 現 当 行	事業対象者・要支援1・2	週1回程度	1,647	15,890
		週2回程度	3,377	32,581

訪問事業

1) 介護保険訪問介護報酬

訪問介護費 (1回につき)	単位数	月4回報酬(円)
イ 身体介護が中心である場合		
(1) 所要時間20分未満の場合	165	6,605
(2) 所要時間20分以上30分未満の場合	248	9,928
(3) 所要時間30分以上1時間未満の場合	394	15,773
(4) 所要時間1時間以上の場合	575	23,018
ロ 生活援助が中心である場合		
(1) 所要時間20分以上45分未満の場合	181	7,246
(2) 所要時間45分以上の場合	223	8,927

2) 介護予防・日常生活支援総合事業報酬

		区分	1ヶ月の単位数	1ヶ月の報酬 (円)
現 行 相 当	事業対象者・要支援1・2	週1回程度	1,168	11,689
		週2回程度	2,335	23,369
		週2回を超える程度	3,704	37,070
サ ー ビ ス A	事業対象者・要支援1・2	週1回程度	1,051	10,518
		週2回程度	2,102	21,037
		週2回を超える程度	3,334	33,367

3. 「居場所・サロン」調査

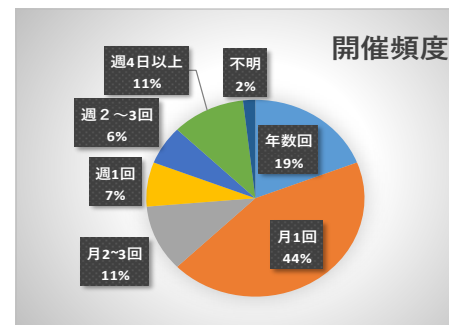
1) 調査概要

<表 14>

団体名	開催箇所	対象者				回数							
		誰でも	高齢者・家族	子ども(親子)	その他	年数回	月1回	月2~3	週1回	週2~3	週4日以上	不明	合計
福祉クラブ	31	17	6	4	4	2	20	3	2	3	0	1	31
いきいき福祉会	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
W.Co連合会	77	40	12	21	4	19	28	9	6	4	10	1	77
W.Co協会	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
計	110	59	18	25	8	21	48	12	8	7	12	2	110

*「生活リハビリクラブ」(生活クラブ)での開催は、「W.Co連合会」に含む

- 2017年度調査は46団体95企画でしたが、2018年度調査では49団体(福祉クラブ、いきいき福祉会、W.Co協会は1団体とカウント)、110企画に広がっています。また、開催場所は80ヶ所(複数企画)で実施されています。
- 福祉クラブでは2018年度より方針化し、組織的に「居場所づくり」に取り組んだことから7企画増でした。また、W.Co組織では新規企画や単一W.Coが企画数を増やすなどして11企画増えました。
- 参加対象を「誰でも」とオープンにした開催が一番多く、59企画53.6%、次いで、「子ども(親子)」(23%)、「高齢者・家族」(16%)の順となっています。2017年度調査と比べ、「子ども」を対象とする開催企画が25企画(前年度15企画)に増えたことが特徴です。
- 開催数では、月1回開催が一番多く44%と約半数になっています。次いで、年数回の開催(19%)、月2~3回の開催(11%)、週4日以上(11%)の順です。2017年度に比べ、月1回開催は若干減少し、週1回以上と常設(週4日以上)開催が増えているのが特徴です。



(1) 開催回数

- 常設型(週4日以上)は、これまでのW.Coたすけあい戸塚(ふれあい広場よつば)、グループとも(みんなの居場所「はなもも」)、たすけあい心(コミュニティルームここ)、ほっと舎アルク(交流スペースほっと舎)、W.Coキッズポケット(愛らんど追浜)、W.Coハッピーママプロジェクト(親と子のひろばだっこ)、(社福)いきいき福祉会(地域ささえあいセンターかるがも)の7団体に加えて、W.Coパレット((親と子のつどいの広場)、W.Co協会(居場所ぼらん)の2団体が増え、9団体で運営されています。
- 愛らんど追浜、地域ささえあいセンターかるがもは、自治体の委託事業として運営しており、親と子の広場だっこは横浜市の補助を受けています。他の常設型はW.Co等が単独で運営し、行政や区社協・赤い羽根募金等から若干の助成を受けているのみです。地域ささえあいセンターかるがもは、藤沢市の地域支援支え合い事業の助成も受けて運営しています。

(2) 運営主体

- 生活クラブ生協関連の施設において、W.Coと組合員の連携による「運営会議」が主体となり、カフェやサロンなどの居場所を運営しています。また、福祉クラブ生協では、「地域協議会」や「連絡会」による開催が18企画あり、複数W.Coが連携し運営する居場所を加えると全体では30企画になり、連携型の開催が多くなっています。
- 単体W.Coでは、座間市の「ごむのき」による社協との共催(サロンはなもも運営委員会を両者で形成)、横浜の金沢区ではW.Coコンパスが柳町地域ケアプラザと食事会を共催(会場提供)。また、W.Co

オリーブとコンパス、W.Co むすびとくっく SUN、桜の森・親子サポートネットと W.Co 森のはらっぱによる地域の W.Co 同士による共催などがあります。海老名市での W.Co、組合員、NET、WE21 等の連携による“居場所を考える会”や W.Co ぱーとなーメンバーと市民のコラボで実施する“華の会”、福祉クラブ W.Co による各地域の「地域協議会」や「連絡会」による企画開催など多様性が広がっています。

(3) 連携先

- ・単体 W.Co 間や運動グループ内の連携を除くと、地域ケアプラザ（地域包括支援センター）、社協、地域活動支援センター、区役所などの公共的機関や町会、地域の事業者（子育て・福祉）、ボランティアとの連携もありますが、地域は限定されています。

(4) 事業高

<表 15> (単位：円)

団体名	事業高						合計	前年比	年間経費	前年比
	自主事業	前年比	助成事業	前年比	委託事業	前年比				
福祉クラブ	4,298,640	206.8%	335,000	191.4%	0	-	4,633,640	205.6%	4,633,640	170.0%
いきいき福祉会	3,480,000	100.0%	2,600,000	100.0%	4,350,000	100.0%	10,430,002	100.0%	4,800,000	100.0%
W.Co協会	1,500,000	-	6,920,823	-	0	-	8,387,573	-	-	-
W.Co連合会	10,494,587	178.6%	24,004,800	202.9%	79,881,941	1101.5%	115,704,803	463.7%	113,350,126	358.8%
計	19,773,227	172.9%	33,860,623	231.9%	84,231,941	726.0%	139,156,018	369.7%	122,783,766	313.9%
構成比	14.2%		24.3%		60.5%		100.0%			

- ・「居場所・サロン」の事業高は、自主事業、助成(補助)事業、委託事業に分類されます。今回の調査では、105 企画が自主事業(自主事業・助成事業)であり、5 企画が基礎自治体の委託事業として実施されています。子育て支援関連の受託額が大きいため、委託事業の構成比率が 60.5%と高くなっています。
- ・自主事業では福祉クラブ、W.Co 連合会が伸ばしています。福祉クラブでは、「居場所・たまり場&組合員の拠点づくり」活用促進補助を行って新規に 8 企画増え、W.Co は W.Co パレットや W.Co monami、W.Co かりん、W.Co ベルで新規の企画があり、他にも企画数を増やした W.Co が複数あります。
 - * 第 6 次 5 年計画の中で、2025 年問題を見据え市民参加型のたすけあいづくりの具体化の一つとして方針化した。歩いていける範囲で交流できる居場所や相談所等の機能を目指して、①取組方針を創る、②場所を増やす、③回数を増やしながら取り組んでいる。印刷経費、通信費、消耗品費、水光熱費、消費材費用について、月 1 回開催、2 回開催の補助額を決めている。
- ・助成事業は、福祉クラブでは横浜市総合事業 B 型の活用により増えています。W.Co 連合会では横浜市の親と子のつどいの広場事業の新たな把握が進んだことにより増えています。
- ・委託事業では、W.Co 連合会が増えました。子育て支援関連で、0~3 歳の未就学児と保護者対象の愛らんど(子育て広場：横須賀市)の委託が増え、横浜市の子育て支援拠点(青葉区)の新たな実績把握が進みました。

<自主事業>

- ・自主事業の収入は年間数千円から 350 万円程度の幅があります。自主事業では参加費やお茶代等を徴収しても事業高計上していないところが半数以上あります。
- ・事業収入の内訳は、参加費(材用費・お茶代・資料代・施設使用料)以外に、企画費、食事代、リユース品販売、貸室、寄付、賛助会費等です。

<助成事業>

- ・助成等を受けているのは、約 2 割の 23 企画で、横浜市の親と子のつどいの広場事業、藤沢市の地

域ささえあいセンター、W.Co 協会のカフェぼらん（立ち上げ資金）等を除くとその金額は3万円～80万円(年)程度で、平均すると20万円ほどです。助成の実施主体は自治体や社協・赤い羽根募金等です。民間のライフフリー事業助成金（神奈川県土地建物保全協会）の活用もありました。

<委託事業>

- ・今回の調査では5企画が行政等から、転倒予防教室（生活リハビリクラブ：1企画）や生活支援コーディネーター事業（いきいき福祉会：1企画）、子育て支援事業（W.Co パレット：1企画、W.Co キッズポケット：2企画）で委託を受けています。
- ・昨年の委託事業は3企画でしたが、受託額の大きい子育て支援事業を含め5企画に増えたことにより、前年比726%と大きく伸長しています。

(5) 開催目的と企画内容

<表16>

開催目的	交流	子育て支援	会食交流会	介護予防	その他	合計
2018年度企画数	65	22	10	10	3	110
2017年度企画数	60	14	8	4	9	95

- ・交流が65企画と一番多く、次いで子育て支援22企画、会食交流会10企画でした。
- ・企画の中で認知症サポート関連は5企画あり、地域包括支援センターやケアプラザと連携してオレンジカフェの役割も果たしています。
- ・介護予防は10企画で、2ヶ所は横浜市の通所型サービスBで実施、茅ヶ崎市一般予防事業の委託事業（転倒予防教室）が1ヶ所です。他の企画は公園での体操・太極拳や健康麻雀等です。
- ・講話、体操、手芸、折り紙、民謡、昼食作り等、様々な企画を立て運営している企画型と、定型的な企画は特にもたずにおしゃべりや交流を中心に運営している自由型の2種類に大別されますが、ほとんどが企画型です。
- ・福祉クラブの企画では、消費材の紹介や男性介護者の集い、介護の相談会・健康チェック等の企画もあわせて、地域の人に呼びかけています。
- ・総合事業通所型Bとして実施しているのは2企画です。（p14）

(6) 開催場所

- ・今回の調査では、多くは自前（関連団体含む）施設を活用しています。その他は、ケアプラザ、町内会館・地域活動支援センター等の公共施設や近所の貸家・貸会場などで実施されています。公園を会場として太極拳等を行っているところもあります。組合員宅(交流)・外部レストラン(会食会)・施設の庭(園芸サークル)の活用も見られました。（貸会場等自前施設以外での開催は、全体の15%程度となっています。）

(7) スタッフの体制等

- ・特定のメンバーが関わっているところが約半数です。次いで、「リーダー」、「全員交代」となっています。元メンバーや有志が関わり運営しているところも少数あります。
- ・ワーク代「無し」が約半数で、半数は分配金の対象となっています。交通費程度から、時間数に応じてなど、様々な考え方により運営されています。W.Coのワークの一環とするところ、コーディネーターを採用して実施しているところもあります。
- ・居場所・サロンの運営に当たっては、ほとんど現W.Coメンバーが関わり運営しています。一方で地域の他団体やボランティアが関わっているところも少数あります。地域で持続性を持って居場所・サロンを運営し、地域に認知され開かれた場にしていくためにも、W.Coの元メンバーや地域のボランティアなど多様な人の参加が期待されます。

2) 団体・部門別開催状況

<表 17>

	福祉クラブ	いきいき福祉会	W.Co連合会						W.Co協会	合計	
			家事介護	デイ	住まい型	生活文化	保育部門	食部門			計
2018年度	31	1	24	15	8	7	21	2	77	1	110
2017年度	24	1	27	15	6	5	14	2	69	1	95

・新たな企画増は、これまで実施していた団体の企画数の増加、福祉クラブ生協の W.Co 活動への補助等により、広がっています。

3) エリア毎の開催箇所数

<表 18>

開催エリア	福祉クラブ	いきいき福祉会	W.Co連合会	W.Co協会	計	前年比
横浜	13	0	29	1	43	122.9%
川崎	2	0	22	0	24	109.1%
横須賀・葉山・逗子・鎌倉	6	0	6	0	12	120.0%
相模原・厚木・大和・海老名・座間・綾瀬	2	0	11	0	13	130.0%
藤沢・茅ヶ崎・平塚・伊勢原・二宮	8	1	9	0	18	100.0%
計	31	1	77	1	110	115.8%
前年比	129.2%	100.0%	111.6%	100.0%	115.8%	

(1) 実施されているエリアは、多い順に横浜、川崎、湘南、県央、三浦と、2017年度と同様の傾向です。

(2) 福祉クラブや単体 W.Co の居場所・サロンの開設が進んだことで、開催ヶ所数の伸びは横浜で一番高く、次いで県央、三浦、川崎の順となっています。

4) まとめ

(1) 今回の調査では 49 団体 (110 企画) からデータ提出がありました。福祉クラブでは活用促進補助を予算化することで居場所開設が進みました。地域の中には、誰もが集える一定の機能を持つ柔軟性のある居場所・サロンが必要ですが、一方では生活困難を抱える人や男性介護者のように対象者を限定した居場所の必要性もあります。本調査のなかでは、同じ場所で、曜日や時間帯、対象者を変えた企画がありました。柔軟性を持った居場所・サロンの企画が地域にさらに広がり、点を結ぶ線がたくさん張り巡らされていくことが求められていると言えるでしょう。

(2) この間の調査では、会場費や人件費等の運営費をはじめ多くの課題が出されています。一方、新たに総合事業通所 B による「居場所」2 カ所の運営が開催されました。福祉クラブでは予算化することで企画が進んだ事例もあり、課題を踏まえ様々な推進策を検討することが必要でしょう。「居場所」に関する助成 (補助) については、神奈川県 (県社協：地域福祉活動支援事業、かながわボランティア推進基金 21)、横浜市 (ヨコハマ市民まち普請事業、横浜市社協：よこはまふれあい助成金、元気づくりステーション)、川崎市 (福祉基金助成金)、藤沢市 (地域活動支援補助金、地域まちづくり事業補助金、公益的市民活動助成事業、地域コミュニティ拠点施設整備支援事業)、逗子市 (市社協：ボランティア助成)、その他 (かながわ生き活き市民基金、中央労金市民活動助成、さわやか財団、キリン・地域のちから応援事業) 等、様々なものがあります。組織による推進策とともに、自治体、企業等の助成 (補助) 等の情報を共有し、活用していくことも大事ではないでしょうか。

(3) 調査からは、ボランティアや元 W.Co メンバーの関わりも見えますがその数は少なく、運営主体のメンバーがリードして運営している姿が見えてきます。まずは主体が元気に活動し、継続すること

で地域へメッセージを強め、W.Co、参加型福祉の価値と認知の拡大を進め、市民参加をこれまで以上にコーディネートし、「居場所・サロン」を地域コミュニティの活動拠点としていきたいものです。

4. コミ・オブ福祉の相互連携等に関する調査

1) 調査概要

①団体別集約数

<表 19>

団体名	送付数	回答数	前年比	連携有	前年比	政策提案活動有	前年比
W.Co連合会	75	32	119%	25	125%	14	88%
W.Co協会	1	1	—	1	—	1	—
福祉クラブ	1	1	—	1	—	1	—
計	78	34	126%	27	135%	16	100%

- ・78組織に送付し、34組織、半数弱から回答を得ました。
- ・単体 W.Co からの回答が増え、W.Co 協会、福祉クラブ生協からの回答も加えると、前年比 126%となります。

②エリア別集約数

<表 20>

	送付数	回答数	前年比	連携有	前年比	政策提案活動有	前年比
横浜市	25	11	100%	9	113%	2	33%
川崎市	13	8	200%	8	200%	8	267%
相模原市・厚木・大和・海老名・座間・綾瀬	18	6	86%	3	75%	1	33%
横須賀・逗子・葉山・鎌倉	7	5	167%	4	133%	2	67%
藤沢・茅ヶ崎・平塚・伊勢原・二宮	13	3	150%	2	200%	2	200%
県内全体(福祉クラブ)	1	1	—	1	—	1	—
計	75	34	126%	27	135%	16	100%

- ・川崎エリア、三浦エリア、湘南エリアの順に回答数が増えました。
- ・特に、川崎エリアでは、「連携あり」、「政策提案活動あり」の回答が昨年の2倍強となっているのが特徴的で、地域連携が進んでいることが窺われます。

2) 生活クラブ運動グループ間や市民ボランティア等との地域連携

(1) 概要

<表 21>

連携の種類	内容	回答数	構成比	前年比
交流・情報連携	会議等を通じての交流・情報共有	19	29.2%	190%
活動連携	イベント等の共催	19	29.2%	317%
ボランティアとの連携	ボランティアの受け入れと運営参加	10	15.4%	125%
業務連携	送迎、広場事業の運営委託等	5	7.7%	500%
政策連携	地域連携協議会やローカルユニット等を通じた連携	12	18.5%	171%
* 複数回答		65	100%	203%

* ローカルユニット:「コミュニティ・オブティマム福祉マネジメントユニット会議」の通称

- ①34団体中27団体が何らかの「連携」があるとの回答で、79.4%にのびります。
- ②連携の種類としては、会議等を通じての交流・情報共有、イベント等を通じた活動連携がともに29.2%と一番多く、次いで政策提案活動等の連携18.5%、ボランティアの受け入れと運営参加15.4%となっています。

(2) 連携の内容

①交流・情報連携

- ・「ユニット」等の地域の運動グループによって構成される会議や、各主体が地域で所属している様々な会議等を通じた交流・連携が多くみられます。
- ・新たな連携では、W.Co 協会が「反町カフェぼらん」運営委員会に地域の民生委員や組合員の参加を得ています。W.Co オリーブでは金沢区内の運動グループに呼びかけ「居場所P J」を立ち上げ、居場所づくりに向けた活動を行っています。

②イベント等の活動連携

- ・祭りへの参加やバザーへの出店だけではなく、複数の団体による研修会・学習会の共同開催、W.Co キャンディによる「親と子のふれあい広場・ふれあいデイ」は、地域の組合員等との連携によって開催されています。
- ・W.Co びすけつとや生活クラブ組合員が参加するアソシエーションは、「高津まちづくりフォーラム」との連携を通じて、2019年1月からは多世代が集まる「いちごカフェ」を開催しています。

③ボランティアの受け入れと運営参加

- ・学童保育、お出かけ企画、夏休みイベント等への W.Co の元メンバーや地域住民、学生、小中学生の参加等があげられます。また、自組織の活動へのボランティア参加の呼びかけだけではなく、ひろく市民にボランティア活動のPRもしています。(W.Co キッズポケットは「夏の市民活動・ボランティア体験」、W.Co たすけあい栄は「区民祭り」に参画)
- ・W.Co メロディーは、地域と連携してボランティアの参加で居場所を運営し、福祉クラブ生協では、組合員有志がコミ・オブサポーターとして登録して「たすけあい」活動に参加し、ボランティア活動の幅が広がっています。

④業務連携

- ・W.Co オリーブが地域の W.Co にサロンの食事づくりを委託し、W.Co キッズポケットは居場所(おもちゃのひろば)の企画で専門的な部分(おもちゃに関する)をNPOに委託をしています。他には、グループ内で保育園への給食材の配達、デイサービスの利用者送迎の業務連携(委託)などがあります。

(3) 連携先の広がり

地域生協や運動グループ間、ユニット内だけではなく、地域の他の市民団体や町内会・民生委員等との連携が多く見受けられます。また、区や市社協、ボランティア市民活動団体、区の訪問介護事業所連絡会等の一員として、また、関連自治体部局と会議等を通して連携を図っています。

3) 政策提案活動について

(1) 概要

34 団体中 16 団体から「実施有」の回答があり、その具体的な内容が 9 団体から出されました。

(2) 推進体制等

ローカルユニット単位が一番多く、他には地域活動連携協議会、コミ・オブ大和等があげられます。川崎ではユニット以外に、福祉 W.Co が全市で集う「市民福祉事業センター・かわさき」でも政策提案活動を行っているのが特徴的です。福祉クラブ生協では、生協と家事介護 W.Co 連絡会の共同で、厚労省、神奈川県、県内 3 つの政令指定都市に、「介護保険制度・介護報酬改定に向けた提言書」を提出しています。

(3) 提案の種別

政策提案の内容の多くは高齢者福祉関連ですが、次いで子育て・保育・学童関連、居場所・空き家対策、学校給食、就労支援、環境、防災関連等と多岐にわたっています。

(4) 提案内容について

①自治体個別の政策・制度に関する提案

・横浜市型就労準備支援事業の継続、ハマ弁の支援拡大・選択制を支援枠に取り入れる、大和市移動支援事業の規則の変更について、大和市内の農業地・緑地を守る活動と単独調理校の必要性について等があげられています。

②地域に共通する福祉関連の提案

・総合事業の推進や福祉の人材育成、在宅生活を支えるサービスの充実、子育て関連、「居場所」に関して等、自治体の枠を越えた共通する内容の提案が多く出されています。

③環境・健康関連等の提案

・安心・安全な学校給食の提供の継続、石けん使用拡大と啓発活動、ごみ減量のためのリデュースの取組・プラスチックごみの減量等があげられています。

4) まとめ

(1) ローカルユニット、地域活動連携協議会などの会議体を基盤に運動グループ間で進められている活動や業務上の連携だけではなく、地域の市民団体や民生委員等の団体・個人との連携が様々に進んできています。

(2) 連携の中で政策提案活動が 18.5%を占めており、政策提案活動を継続的に進められていることがわかります。

(3) 市町村では、県道・市道の危険個所の見直し等の地域の実情に即した提案内容が多く見られます。政令指定都市では、介護保険制度や子育て支援等に関して自治体間の施策や制度等の相違や格差を超えた、共通する要求項目や提案内容が多くなっています。本調査でも移動や食事に関するコミ・オプ福祉の先行事例や課題が見えてきており、団体・組織や自治体の枠を超えた、地域の実情に即した提案内容の検討と共有化が求められています。

5. 日本生活協同組合連合会並びに神奈川県内6生協と生活クラブ運動グループとの実績比較

<表 22> (単位：千円)

18年度実績	団体名称	日生協	県内6生協	6生協の割合	運動グループ計
	福祉事業合計	21,613,517	3,804,722	17.6%	3,382,753
実績内訳 (千円)	居宅介護	2,809,055	520,002	18.5%	412,742
	訪問介護	5,641,956	936,734	16.6%	747,329
	通所介護	4,355,343	882,996	20.3%	820,439
	福祉用具(貸与・販売)	1,169,306	466,446	39.9%	59,959
	小規模多機能	1,020,133	51,689	5.1%	87,616
	グループホーム	807,577	0	0.0%	49,553
	定期巡回	89,785	0	0.0%	0
	高齢者住宅	1,488,800	128,425	8.6%	207,338
	その他	2,882,557	514,825	17.9%	889,359
	障がい者	1,349,005	303,605	22.5%	108,418
事業高前年比 (%)	福祉事業合計 事業収入	102.1%	101.2%		102.9%
	居宅介護	103.6%	99.5%		98.6%
	訪問介護	96.6%	98.9%		98.1%
	通所介護	98.2%	99.9%		101.3%
	福祉用具(貸与・販売)	92.6%	101.8%		95.4%
	小規模多機能	125.9%	199.7%		338.6%
	グループホーム	103.9%	-		96.7%
	定期巡回	226.8%	-		-
	高齢者住宅	122.3%	99.7%		107.7%
	その他	105.2%	103.7%		104.9%
サービス事業 別構成比(%)	障がい者	100.6%	103.1%		93.5%
	居宅介護	13.0%	13.7%		12.2%
	訪問介護	26.1%	24.6%		22.1%
	通所介護	20.2%	23.2%		24.3%
	福祉用具(貸与・販売)	5.4%	12.3%		1.8%
	小規模多機能	4.7%	1.4%		2.6%
	グループホーム	3.7%	0.0%		1.5%
	定期巡回	0.4%	0.0%		0.0%
	高齢者住宅	6.9%	3.4%		6.1%
	その他	13.3%	13.5%		26.3%
	障がい者	6.2%	8.0%		3.2%

*日本生協連・県内6単協の実績は、日本生協連が各単協からデータを集約してまとめたものを使用。

*県内6単協は、生活クラブ、福祉クラブ、ユニーコープ、富士フィルム、神奈川高齢者生協、神奈川ゆめコープ。

*運動グループは、生活クラブ、福祉クラブ、W.Co 連合会3団体で、いきいき福祉会は含まず。

*「その他」には自主(制度外)事業、地域包括支援センター、子育て支援等を含む。

1) 日本生協連

(1) 2018年度福祉事業の集約は44生協であり、訪問・通所・福祉用具を除いた事業で前年を上回り216億、前年比102.1%の実績となっています。年間事業高が10億円以上の生協は8生協で、前年(9生協)より減少しました(8生協の事業高計:128億円=44生協事業高の59%)。44生協の内前年実績を上回っているのは23生協で約半数です。

(2) 小規模多機能、グループホーム、定期巡回、高齢者住宅の4事業は前年を上回っていますが、特に定期巡回(226.8%)の伸びが大きくなっています。エフコープが新たに定期巡回を開始したことや、他の既存事業の伸びが大きいことが要因です。この4事業合計のサービス別構成比は15.7%(2017年度13.6%)となり、居宅介護(13.0%)の構成比を上回っています。

小規模多機能の事業高は10億円に届き、定期巡回は1億円近い規模になっています。

<地域密着事業及び高齢者住宅実施生協数>

<表 23>

サービス事業名	小規模多機能	認知症共同 生活介護 (グループホーム)	定期巡回	高齢者住宅
16年度実施生協	5	7	1	5
17年度実施生協	8	7	2	6
18年度実施生協	9	7	3	6

(3) サービス事業別構成比では、前年比は低下しているものの訪問介護が26.1%と一番高く、通所介護20.2%、その他(自主事業、地域包括支援センター・子育て支援等)13.3%、居宅介護が13.0%の順になっています。

<2018年度神奈川県6生協及び運動グループ福祉事業実績>

<表24> (単位:千円)

		*(社福いきいき福祉会を除く)								
18年度実績	団体名称	ユーコープ	富士フィルム	神奈川高齢者生協	神奈川ゆめコープ	福祉クラブ生協	生活クラブ	県内6生協合計	W.Go連合会	運動グループ計
	福祉事業合計	721,090	540,341	471,342	206,707	1,383,496	481,746	3,804,722	1,517,511	3,382,753
実績内訳 (千円)	居宅介護	162,597	25,671	10,690	60,783	207,255	53,006	520,002	152,481	412,742
	訪問介護	272,709	60,097	155,470	95,272	277,557	75,629	936,734	394,143	747,329
	通所介護	64,018	102,520	111,547	0	313,132	291,779	882,996	215,528	820,439
	福祉用具(貸与・販売)	34,984	352,053	0	19,450	59,959	0	466,446	0	59,959
	小規模多機能	0	0	0	0	29,272	22,417	51,689	35,927	87,616
	グループホーム	0	0	0	0	0	0	0	49,553	49,553
	定期巡回	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高齢者住宅	0	0	0	0	128,425	0	128,425	78,913	207,338
	その他	19,931	0	98,078	10,374	347,527	38,915	514,825	502,917	889,359
	障がい者	166,851	0	95,557	20,828	20,369	0	303,605	88,049	108,418
事業高前年比 (%)	福祉事業合計 事業収入	97.5%	101.6%	101.2%	98.9%	104.0%	99.9%	101.2%	102.9%	102.9%
	居宅介護	95.6%	95.6%	103.2%	106.4%	104.9%	87.4%	99.5%	95.0%	98.6%
	訪問介護	92.9%	106.2%	109.3%	93.8%	100.3%	98.5%	98.9%	96.5%	98.1%
	通所介護	93.0%	95.0%	91.7%	-	103.4%	103.2%	99.9%	96.1%	101.3%
	福祉用具(貸与・販売)	104.1%	103.4%	-	92.0%	95.4%	-	101.8%	-	95.4%
	小規模多機能	-	-	-	-	793.5%	101.0%	199.7%	521.3%	338.6%
	グループホーム	-	-	-	-	-	-	-	96.7%	96.7%
	定期巡回	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	高齢者住宅	-	-	-	-	99.7%	-	99.7%	123.9%	107.7%
	その他	164.2%	-	95.3%	128.2%	104.2%	98.3%	103.7%	107.5%	104.9%
障がい者	103.5%	-	107.8%	99.1%	86.3%	-	103.1%	95.3%	93.5%	
サービス事業別 構成比(%)	居宅介護	22.5%	4.8%	2.3%	29.4%	15.0%	11.0%	13.7%	10.0%	12.2%
	訪問介護	37.8%	11.1%	33.0%	46.1%	20.1%	15.7%	24.6%	26.0%	22.1%
	通所介護	8.9%	19.0%	23.7%	0.0%	22.6%	60.6%	23.2%	14.2%	24.3%
	福祉用具(貸与・販売)	4.9%	65.2%	0.0%	9.4%	4.3%	0.0%	12.3%	0.0%	1.8%
	小規模多機能	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	4.7%	1.4%	2.4%	2.6%
	グループホーム	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	1.5%
	定期巡回	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	高齢者住宅	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.3%	0.0%	3.4%	5.2%	6.1%
	その他	2.8%	0.0%	20.8%	5.0%	25.1%	8.1%	13.5%	33.1%	26.3%
	障がい者	23.1%	0.0%	20.3%	10.1%	1.5%	0.0%	8.0%	5.8%	3.2%

* 日本生協連・県内6生協は日本生協連「2018年度44生協福祉時実績」データより

* 福祉クラブ事業高には子育て支援含む

2) 県内6生協

(1) 神奈川県生協連としては福祉事業実績の集約は行っていないため、日本生協連のデータから神奈川県6生協の実績を集計しました。福祉事業合計で約38億5百万円、福祉事業全体では前年比101.2%となっています。居宅・訪問・通所・高齢者住宅で前年を下回り、小規模多機能をはじめその他の事業は前年を上回っています。

(2) 日本生協連全体の事業高に占める県内6生協の割合は17.6%となっています。中でも福祉用具は39.9%を占めています。富士フィルム生協は3.5億円強の事業高があり、日本生協連の中でも一番高い実績であることが要因と思われます。また、在宅を支える事業(居宅・訪問・通所・障がい者)の割合が高いのは、生活クラブ運動グループが早くから力を入れて取り組んできている現れと思われます。

(3) サービス事業別の構成比は44生協と同様に、訪問介護が一番高く24.6%、次いで通所介護23.2%、居宅介護13.7%、その他13.5%、次いで福祉用具12.3%となっています。

(4) 福祉クラブ生協は 14 億円弱の事業高であり、44 生協のうち上位 5 番目ですが、県内では事業高が一番大きくなっています。次いで、ユーコープ、富士フィルム生協となっています。

3) 生活クラブ運動グループ

(1) 運動グループ 3 団体の福祉事業合計は 33 億 8 千万円であり、前年比 102.9%の実績です。居宅介護・訪問介護と福祉用具、障がい者で前年を下回り、通所、小規模多機能、高齢者住宅、その他の事業は前年を上回りました。

(2) サービス事業別の構成比では、自主事業を含む「その他」が一番高く 26.3%、ついで通所 24.3%、訪問 22.1%、居宅 12.2%となりました。他生協と比較すると、自主事業が含まれる「その他」の構成比が一番高くなっているところに、運動グループの特徴が現れています。

4) まとめ

(1) 2018 年度の日本生協連のデータによると、集約した 44 生協中、約半数の 21 生協の事業実績が、前年を下回る結果となっています。日本生協連 44 生協の事業高約 216 億円に占める運動グループ（いきいき福祉会を除く）の事業高は、全体の 16.2%(2016 年度：16.2%、2017 年：15.7%)に相当します。また、生活クラブ運動グループの子育て関連を除いた福祉事業計は 48 億円<表 2 参照>であり、これで対比すると日本生協連全体の事業高に占める割合は、約四分の一弱となります。

(2) 県内 6 生協では、2016 年 4 月(平成 28 年)の介護保険の一部改定による地域密着型通所介護の創設（小規模通所から地域密着型通所への移行）により、通所事業のサービス区分変更（通常規模から地域密着事業）や地域密着事業への移行が困難なため事業廃止せざるを得なくなるなど、様々な影響が出ています。また、過去 3 年間の事業高が前年を下回っている生協が複数あります。

(3) 介護業界では、不動産、冠婚葬祭の互助会、警備会社などの異業種の大手企業による参入と、合併・買収による巨大化が進行し、ますます競争激化が進んでいます。中には、利用者の医療ニーズへの対応の強化や機能訓練、ターミナルケア等を取り入れ、在宅生活のためのサービス提供の体制構築を進める等、他との差別化を図っているところもあります。

(4) 生活クラブ運動グループの福祉事業実績は 2016 年度から報告書としてまとめ共有してきましたが、この 3 年間には、要支援者対象の事業(通所・訪問)を地域支援事業に移行し、2017 年度末までに新しい介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）を全市町村で実施するという大きな制度改定の流れがありました。今回の調査では、制度改定により介護保険の給付事業を抑制した影響が明らかに見え、W.Co の事業種別内訳では<表 4>にあるように、総合事業訪問型サービスの事業高は介護保険事業全体の 3 割を占めています。利用者を選ばずニーズに対応する W.Co の基本姿勢や自主管理・自主運営による制度改定への柔軟な対応力を見ることができます。

(5) また、他生協との事業別構成比の比較では、「その他」（コミ・オブ福祉を中心とする自主事業）が 26.3%と際立って高くなっており、運動グループの各事業主体のワークを横断的に貫いている W.Co がコミ・オブ福祉を大切にしている基本姿勢と運営力の高さが、この調査結果からも確認できるのではないのでしょうか。

II. 2020 年度福祉事業・活動計画の検討に向けて—提言—

1. W.Co（ワーカーズ・コレクティブ）メンバー拡大の優先順位を高めましょう

次頁の「参加型福祉」の全体像（イメージ）でも明らかなように、「参加型福祉」とは全国一律の基準に基づく介護保険給付事業、市町村が事業主体である総合事業、W.Co 運動の草創期から取組まれている自主事業であるコミ・オブ福祉が一体的に運営されている事業活動です。加えて、生活クラブ運動グループによる「参加型福祉」の事業主体は多様ですが、その労働（ワーク）を横断的に貫いているのは W.Co です。そして、W.Co は地域で生活支援活動を進める自主的な市民活動との協力関係を媒介する担い手であり、アクターです。その基本となる原理は、効率性、採算性を重視する「市場原理」ではなく、市民社会に根ざした市民による「お互いさまの助けあい」を原理とするものです。

介護業界では、異業種の大手企業の参入、合併・買収等による事業の巨大化と競争激化がますます進んでいます。調査からは、制度改定による介護保険事業の利用者限定の影響が現れ、特に訪問事業において事業高が減少しています。（表 5） 要支援者（要支援 1・2）と 65 歳以上高齢者のうち事業対象者は総合事業の対象となり、大手民間事業者が経営効率・採算重視を強めて報酬単価の高い介護給付への集中化を進め（p 13 コメント参照）総合事業に参入しない中（要介護者の囲い込み）、W.Co は利用者を選ばず地域ニーズに応え総合事業や自主事業に取り組んでいることが顕著に見られました。

しかし一方で、総合事業調査の訪問型コメント（p 13）にもある様に、ニーズがあっても担い手不足やヘルパーの高齢化などから対応出来なくなるとの声も出されています。また、介護保険制度は財源問題を理由に今後も利用できる人が限られていく方向性が明らかになってきています。要介護 1・2 の介護給付事業から総合事業への移行等については今後も議論が続けられることになるでしょう。そうした中で何らかのケアを必要とする人びとを限定せずに地域で対応していくには、安心して住み暮らし続けられる地域づくりを市民との協働で強めていく必要があります。そのためにも、運動グループ各団体、組織は、W.Co メンバー拡大の優先順位を上げ、組織的に取り組みを強めていきましょう。

2. コミ・オブ福祉事業の連携や拡大の検討を進めましょう

食事サービスや移動サービス（自主）事業において、利用者の声を活かし民間企業と協働して事業を始めた厚木の食事サービス、また、行政に働きかけて自治体政策への影響力を強めたり連携して事業を展開している大和市・座間市の特徴的な事例について本調査で共有化をしました。それは、長年地域に根ざしたサービスを提供し、利用者の信頼を得てきたからこそ実現できたことです。

参加型福祉をコミ・オブ福祉を基盤にこれからも推進していく為に、運動グループが連携し、地域の実情やニーズに即したコミ・オブ福祉事業の連携や拡大について検討していきましょう。検討に際しては、民間企業等との地域経済連携を活用したり政策提案活動とも並行して行政を巻き込む等、様々な方策をもって進めていきましょう。

3. 地域づくりの推進に向けて、ボランティアなアソシエーションづくりを進めましょう

「参加型福祉」の全体像（イメージ）に表わされているように、W.Co を中心とした「参加型福祉」は、介護保険事業から生活支援活動まで地域の多様なニーズをカバーしていることがわかります。この調査でも、在宅で暮らす人々が地域に必要なサービスが受けられないことが無いようにと、自主事業や

総合事業においても利用者を選ばずサービスを提供する W.Co の基本姿勢と経営努力が見てとれました。

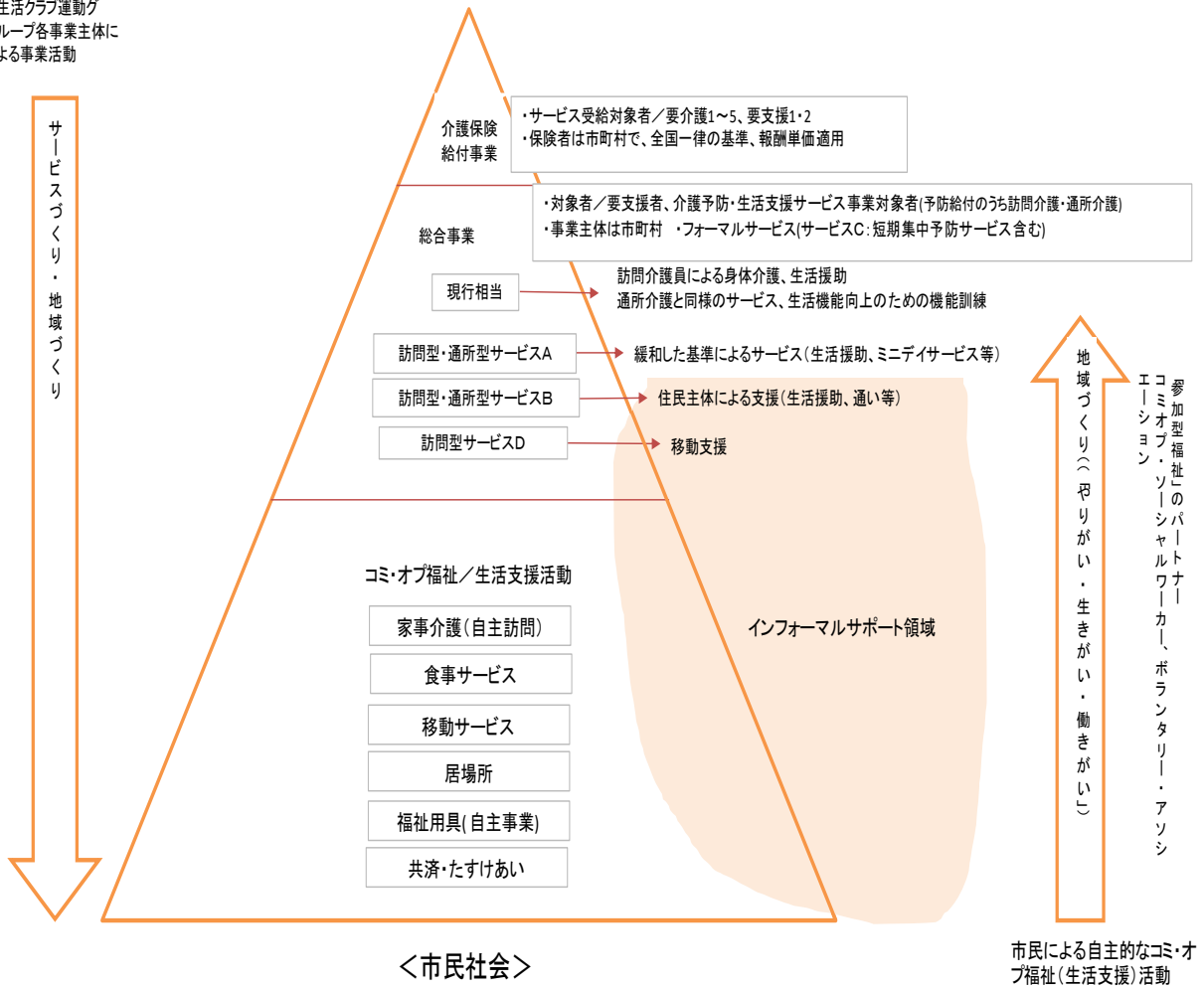
団塊の世代が全員後期高齢期に入る「2025年」はすぐ目の前まで来ており、どのように地域で住み暮らし続けるのか、すべての市民にとって避けることのできない大きな課題となっています。孤立せずにできるだけ長く元気で暮らしつづけるために、「その人らしく」を支える「お互いさまの助けあい」である生活支援サービスは、今日、その重要性をより増しています。

自分の住むまちを安心して住み暮らせるまちにしていくためには、参加型福祉を基盤に多くの市民の参加によるボランティアな活動を生み出し支援を通じて地域のネットワークを促進し、多様なコミ・オブ福祉活動の点をつなぎ合わせ、線をより太く、そして面の展開へとつなげていきたいものです。市民による自主的な地域づくりを強めていくために、運動グループ各団体で、ボランティアなアソシエーションづくりを推進していきましょう。

<新たな機能・組織準備検討PJ資料より>

「参加型福祉」の全体像(イメージ)

生活クラブ運動グループ各事業主体による事業活動



資料編

1. 2018年度総合事業に関する調査のまとめ（訪問事業・通所事業）他	p 32
2. 2018年度生活クラブ運動グループ「居場所・サロン」調査のまとめ	p 47
3. 2018年度コミ・オブ福祉の相互連携等に関する調査のまとめ	p 53
4. 2018年度福祉事業実績集約表	p 57
5. 2018年度総合事業に関する調査票	p 58
6. 2018年度居場所・サロン場調査票	p 59
7. 2018年度コミ・オブ福祉の地域連携に関する調査票	p 61

2018年度 総合事業に関する調査のまとめ (訪問事業)

	自治体	事業所・W.Co名	事業種別	サービス種別	実施の有無	利用者人数	運営方法	実施に当たりの課題
1	横浜市	くまさん	訪問	現行相当	有	20	介護保険同様	
2	横浜市	ふれあい都筑	訪問	現行相当	有	36	介護保険同様	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の意向で単位数(収入)の削減がある場合事業所存続が厳しい。 ・サービスAは登録はしているが、まだ依頼はない。そのためよくわからないが、現在、要支援の利用者が事業対象者になった時のヘルパーへの分配金、ヘルパーの資格のない人への研修について事業所内での検討すべき事案がいくつかある。
3	横浜市	ふれあい都筑	訪問	サービスA	有	0	登録はしているが依頼はない	
4	横浜市	たすけあい戸塚	訪問	現行相当	有	27	介護保険同様	
5	横浜市	たすけあい栄	訪問	現行相当	有	50	介護保険同様	<ul style="list-style-type: none"> ・自立度が高いこともあり利用者の価値観や生活習慣がそれぞれにあり、一般的な家事が当てはまりづらく、“こだわり”の家事を言われることもあり、時間の短い中、優先順位を確認しサービス提供することに課題を感じることもある。 ・単価が下がり時間も短くせざるを得ないため、買い物の際に時間内で収まらないことや買い物先が遠く対応に困る場合がある。 ・認定の結果だけで線引きとなり、利用者のQOLは充実しないと思われる。
6	横浜市	たすけあい栄	訪問	サービスA	有	70	介護保険同様	
7	横浜市	たすけあい栄	訪問	サービスB	有	25	介護保険同様	
8	横浜市	みらい	訪問	現行相当	有	12	介護保険同様	<ul style="list-style-type: none"> ・予防から総合に変わっただけでサービスを行う上で新しい課題は特にない。 ・サービスAの問い合わせはほとんどない。
9	横浜市	みらい	訪問	サービスA	有	0		
10	横浜市	たすけあいせや	訪問	現行相当	有	30	介護保険同様	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手不足で、依頼があっても応じられないためサービスAの申請は行っていない。
11	横浜市	たすけあいせや	訪問	サービスA	検討中			
12	横浜市	たすけあい磯子	訪問	現行相当	有			<ul style="list-style-type: none"> ・総合事業のサービスについて、時間、回数、内容等利用者の理解がなかなか得られない。
13	横浜市	たすけあい磯子	訪問	サービスA	有			
14	横浜市	たすけあい心	訪問	現行相当	有	25		<ul style="list-style-type: none"> ・サービスAは申請は出しているが、問い合わせ件数は1・2件。また、対応できるヘルパーがいないため、断っている。 ・ヘルパー資格のない担い手の確保が課題。
15	横浜市	たすけあい心	訪問	サービスA	有	0	ヘルパー資格のない担い手の確保	

	自治体	事業所・W.Co名	事業種別	サービス種別	実施の有無	利用者人数	運営方法	実施に当たりの課題
16	横浜市	たすけあい皆人	訪問	現行相当	有	0		<ul style="list-style-type: none"> ・訪問型サービス(要支援1・2)の依頼を受けない大手事業所が増え、私たちのような小さなワーコレに話がまわってくるが、人員不足、ヘルパーの高齢化で、断ることが多くなってきた。 ・大手事業所が引き受けるような介護報酬にならない限り、総合事業は先行きが心配。
17	横浜市	たすけあい皆人	訪問	サービスA	有	0		
18	横浜市	たすけあいつるみ	訪問	現行相当	有	13		
19	横浜市	たすけあいつるみ	訪問	サービスA	有	2		
20	横浜市	W. Coいずみ	訪問	現行相当	有	53	介護保険同様	
21	横浜市	W. Coいずみ	訪問	サービスA	有	24	介護保険同様	
22	横浜市	W.Co絆	訪問	現行相当	有	15	介護保険同様	
23	横浜市	W.Co絆	訪問	サービスA	有	0		
201	横浜市	W.Coゆいまある	訪問	現行相当	有	11	介護保険同様	
25	横浜市	W.Coゆいまある	訪問	サービスA	有	0		
26	横浜市	W. Coさざん	訪問	現行相当	有	18	介護保険同様	
27	横浜市	W.Coエプロン・みどり	訪問	現行相当	有	22	介護保険同様	
28	横浜市	W.Coエプロン・みどり	訪問	サービスA	有	2	介護保険同様	
29	横浜市	W. Coいこい	訪問	現行相当	有	27	介護保険同様	
30	横浜市	W. Coいこい	訪問	サービスA	有	5	介護保険同様	
31	横浜市	W.Coりぼん	訪問	現行相当	有	28	介護保険同様	
32	横浜市	W.Coりぼん	訪問	サービスA	有	3	介護保険同様	
33	横浜市	W.Coおひさま	訪問	現行相当	有	10	介護保険同様	
34	横浜市	W.Coおひさま	訪問	サービスA	有	4	介護保険同様	
35	横浜市	W.Coひいす	訪問	現行相当	有	15	介護保険同様	
36	横浜市	W.Coゆかり	訪問	現行相当	有	11	介護保険同様	
37	横浜市	W.Coゆかり	訪問	サービスA	有	0		

・ニーズがあるのは確認できているが、対応できるW.Coメンバーが足りていない。
 ・横浜市は研修受講のハードルが低いが、川崎市は年に数回しか研修受講がなく、地域によりさまざまな状況がある。

	自治体	事業所・W.Co名	事業種別	サービス種別	実施の有無	利用者人数	運営方法	実施に当たりの課題
38	川崎市	生活リハビリクラブ麻生	訪問	現行相当	有	35	介護保険同様	・1時間で足りない場合、自費を付けて対応している事業所も多い。 ・内容にかかわらず、料金が同じであることが課題だと思う。総合事業であっても身体的なケアをすることもある。
39	川崎市	生活リハビリクラブ幸	訪問	現行相当	有	13	介護保険同様	
40	川崎市	くるみ	訪問	サービスA	有	31	介護保険同様	・年度当初は、昨年度に引き続き大手事業者が総合事業を受けず包括からの依頼が多かったが、現在は落ち着いている。
41	川崎市	ばんじい	訪問	現行相当	有	32	介護保険同様	・制度がわかりにくく、ケアマネージャーでも把握していないケースがあった。
42	川崎市	たすけあいまりん	訪問	現行相当	有	3		
43	川崎市	グループとも	訪問	現行相当	有	30	要介護者、支援者に関係なく、依頼があり、受けるヘルパーが要れば受けている。	・一昨年より訪問利用の要支援者が要介護者を上回っており、現在に至っている。 ・要支援者が多いと事業高が伸びない、身体介護ができるヘルパーに限られ、ヘルパー全体のスキルアップに繋がらない等の問題点がある。
44	川崎市	W.Coあやとり	訪問	現行相当	有	12	介護保険同様	
45	川崎市	W.Coあやとり	訪問	サービスA	有	0		
46	川崎市	W.Coほほえみ	訪問	現行相当	有	12	介護保険同様	
47	川崎市	W.Coほほえみ	訪問	サービスA	有	0		
48	川崎市	W.Coさんさん	訪問	現行相当	有	20	介護保険同様	・ニーズがあるのは確認できているが、対応できるW.Coメンバーが足りていない。 ・横浜市は研修受講のハードルが低いが、川崎市は年に数回しか研修受講がなく、地域によりさまざまな状況がある。
49	川崎市	W.Coさんさん	訪問	サービスA	有	0		
50	川崎市	W.Coにじ	訪問	現行相当	有	17	介護保険同様	
51	川崎市	W.Coにじ	訪問	サービスA	有	0		
52	川崎市	W.Co栞	訪問	サービスA	有	0		
53	相模原市	はッピー	訪問	現行相当	有	2	介護保険同様	
54	相模原市	ベル	訪問	現行相当	有	17		
55	相模原市	W.Coあいわ	訪問	現行相当	有	30	介護保険同様	
56	相模原市	W.Coあいわ	訪問	サービスA	有	1	介護保険同様	・ニーズがあるのは確認できているが、対応できるW.Coメンバーが足りていない。 ・横浜市は研修受講のハードルが低いが、川崎市は年に数回しか研修受講がなく、地域によりさまざまな状況がある。
57	厚木市	W.Coみんなの手	訪問	現行相当	有	23	介護保険同様	
58	厚木市	W.Coみんなの手	訪問	サービスA	有	0		
59	海老名市	あい	訪問	現行相当	有	23	介護保険同様	・総合事業になる前と変わりがないので今のところ特に課題はない

	自治体	事業所・W.Co名	事業種別	サービス種別	実施の有無	利用者人数	運営方法	実施に当たっての課題
60	逗子市	こだま	訪問	現行相当	有	14	介護保険同様	・サービスBはニーズとサービスがなかなか一致せず、実施に至らないケースが多い。 ・ニーズは15分位の朝のゴミ出しなどが多いが、メンバーの近所の家ならともかく、遠いとそこまで行く時間とサービス時間が見合わず実施につながらない。週に1回1時間というほどの依頼はなじまない。
61	逗子市	こだま	訪問	サービスB	有	1	委託事業	・担い手研修を受けているメンバーしかケアにいけなくて需要と供給が見合わない。 ・担っている3事業所のケア料金が違うので利用者にとってわかりにくく、使いにくい。
62	葉山町	生活リハビリクラブ葉山	訪問	現行相当	有	21	介護保険同様	
63	葉山町	くるまやさん	訪問	サービスD	有	12	3か所	
64	鎌倉市	W.Coであい	訪問	現行相当	有	48	介護保険同様	
65	鎌倉市	W.Coであい	訪問	サービスA	有	0	介護保険同様	・ニーズがあるのは確認できているが、対応できるW.Coメンバーが足りていない。
66	逗子市	W.Coよつ葉	訪問	現行相当	有	40	介護保険同様	・横浜市は研修受講のハードルが低いが、川崎市は年に数回しか研修受講がなく、地域によりさまざまな状況がある。
67	藤沢市	W.Coえんじょい	訪問	現行相当	有	40	介護保険同様	
68	藤沢市	W.Coえんじょい	訪問	サービスA	有	2	介護保険同様	
69	藤沢市	ボパイ	訪問	現行相当	有	18	介護保険同様	・既存の予防利用者の新制度変更によるケア内容「一緒に行う」身体型60分と生活型45分の理解が難しい。
70	藤沢市	ボパイ	訪問	サービスA	有	1	介護保険同様	
71	藤沢市	実結	訪問	現行相当	有	38	地域の包括支援センターからの依頼。生活援助が9割。時にはサービス計画書に2回/週の掃除のサービスあり、自立支援、在宅継続の為の援助ではない支援もある。包括には担当者会議で伝えている	・1ヶ月の単位が決められている為、4回/月はギリギリ収益可能だが、5回/月の訪問では経営は困難。 ・サービス内容が、掃除・買い物に9割のため、介護職員の技術・スキル向上が難しく、モチベーション保持困難。
72	藤沢市	実結	訪問	サービスA	有	3	訪問型Aの訪問回数内訳 ①1回/週(浴室のみ・30分)②2回/月(60分、自宅全体)③「要支援1」認定、総合事業として訪問型サービスAの単位。60分×4回=900単位・買い物	
73	藤沢市	ラポール城南	訪問	現行相当	有	15	介護保険同様	・総合事業の対象利用者に関しては、地域の支え合いの中で対応すべきと考える。実際ちよつとした困りごとへの対応が多く、専門家が積極的に係わる場面は少ないようである。緩和型や住民主体型へシフトしていく道筋が必要であろう。
74	平塚市	地域介護サービスセンターラポール平塚	訪問	現行相当	有	1	介護保険同様	
75	平塚市	笑顔	訪問	現行相当	有	11	他の事業と分配金は変えずに運営	・従前とサービスAとの違いが包括によって違う。サービスAは概ね45分サービス提供で行っている。自立支援という事をケアマネが利用者に伝えきれていないので、代行サービスになっている感じもある。
76	平塚市	笑顔	訪問	サービスA	有	34	他の事業と分配金は変えずに運営	
77	茅ヶ崎市	一心	訪問	現行相当	有	27	介護保険同様	・市内事業所で総合事業をやっていない所もあり、介護より依頼件数が多い。
78	茅ヶ崎市	一心	訪問	サービスA	有	19	介護保険同様	・自治体毎のサービスコードも理解難しく、介護保険よりも事務処理に時間がかかっている。
79	茅ヶ崎市	生活リハビリクラブ茅ヶ崎	訪問	現行相当	有	16	介護保険同様	
80	茅ヶ崎市	生活リハビリクラブ茅ヶ崎	訪問	サービスA	有	9	介護保険同様	

2018年度 総合事業に関する調査のまとめ

(通所事業)

	自治体	事業所・W.Co名	事業種別	サービス種別	実施の有無	利用者人数	運営方法	実施に当たっての課題
1	横浜市	生活リハビリクラブ 鴨居	通所	現行相当	有	4	介護保険同様	
2	横浜市	くまさん	通所	現行相当				・今後、総合事業に介護1、2 が加わることになれば、現状のサービスが同じように受けられるか心配。
3	横浜市	たすけあい心	通所	サービスB	申請中		2019年4月からコミュニティルームここを会場に実施	・要支援1、2の利用者の確保及び継続利用。
4	横浜市	たすけあい磯子	通所	現行相当	有			・単位数(報酬)が少なく、運営が難しい。
5	横浜市	たすけあい磯子	通所	サービスA	有			
6	横浜市	たすけあいぐっぴい	通所	サービスB	有	3	コーディネーター2名、ボランティアスタッフ数名(地域の方も含む)で実施	・サービスBでは、要支援から介護になった方はカウントできないので人数の確定が難しい。 ・助成金の使い方が限られていて使いにくい。
7	横浜市	まいそる	通所	現行相当	有	40	介護保険同様	・まいそるが運営主体となり、居場所と総合事業通所Bをめざして活動しているが、地域性もあり場所探しに困難が生じている。 ・すでに実施しているW.Coからの情報で、かなりの労力を要する(書類提出が多い)とのことで足踏み状況。
8	横浜市	オリーブ	通所	現行相当	有			・総合事業への移行は、介護保険費用の抑制が目的でもあるので、今後要支援者の単価が低くなることが懸念される。 ・小さい事業所にとって、介護予防を目指す総合事業と、介護保険利用者(特に認知症の方)との共生は課題がある。 ・総合事業は、地域の資源に運営をゆだねるという方向性だが、行政がW.CoやNPOを地域資源としてとらえているのか疑問。地域への丸投げ感是否めない。
9	横浜市	オリーブ	通所	一般介護予防	有		第4日曜日に、健康教室、健康相談、通いの場(サロン)を開催。	
10	横浜市	Dayひよし Dayにつば	通所	現行相当	有	26	介護保険同様	・総合事業利用者受け入れ人数(制限)の課題 定員数の中で多く受け入れると事業採算性が低くなる。
11	横浜市	きらり港北	通所	サービスB	有	15	2018年10月より実施。毎週水曜日、午前 要支援3人、65歳以上12人	
12	横浜市	Dayふかや	通所	現行相当	有	32	介護保険同様	
13	横浜市	Dayいのやま	通所	現行相当	有	27	介護保険同様	
14	横浜市	デイサービスセンター ラポール西寺尾	通所	現行相当	有	5	介護保険同様	・既に株式会社が経営するデイサービスでは、総合事業対象者は利用できない所があると聞く。社会福祉法人が経営するデイサービスなので、社会的役割の中で総合事業に対応しているが、報酬が低く経営を圧迫してしまう状況になる。訪問介護同様、住民主体の通いの場に近いデイサービスにすることが望ましい。

	自治体	事業所・W.Co名	事業種別	サービス種別	実施の有無	利用者人数	運営方法	実施に当たりの課題
15	横浜市	W. Co協会	通所	サービスB	申請中	0	2019年度4月スタート	
16	川崎市	生活リハビリクラブ麻生	通所	現行相当	有	11	介護保険同様	・現行、週2回使える要支援2の方は同じ事業所だけしか使えない。違う機能の通所に行きたくてもできない。
17	川崎市	生活リハビリクラブ幸	通所	現行相当	有	4	介護保険同様	
18	川崎市	Dayかしまだ	通所	現行相当	有	8	介護保険同様	・総合事業利用者受け入れ人数(制限)の課題 定員数の中で多く受け入れると事業採算性が低くなる。
19	相模原市	生活リハビリクラブ橋本	通所	現行相当	有	5	介護保険同様	
20	葉山町	生活リハビリクラブ葉山	通所	現行相当	有	3	介護保険同様	
21	鎌倉市	Day大町いしだ Dayサロンはる	通所	現行相当	有	77	介護保険同様	・総合事業利用者受け入れ人数(制限)の課題 定員数の中で多く受け入れると事業採算性が低くなる。
22	藤沢市	Dayいちいの木	通所	現行相当	有	40	介護保険同様	
23	藤沢市	地域介護サービスセンターラポール藤沢	通所	現行相当	有	12	介護保険同様	・既に株式会社が経営するデイサービスでは、総合事業対象者は利用できない所があると聞く。社会福祉法人が経営するデイサービスなので、社会的役割の中で総合事業に対応しているが、報酬が低く経営を圧迫してしまう状況になる。訪問介護同様、住民主体の通いの場に近いデイサービスにすることが望ましい。
24	茅ヶ崎市	生活リハビリクラブ茅ヶ崎	通所	現行相当	有	11	介護保険同様	
25	茅ヶ崎市	生活リハビリクラブ茅ヶ崎	通所	サービスA	有	0	介護保険同様	
26	平塚市	TOMO	通所	現行相当	有	0	介護保険同様	・現行相当のサービスは昨年度利用はあったが、今年度は利用者はいない。

2018年度 総合事業の施策に関する意見や地域情報

自治体名	総合事業の施策に関する地域情報とコメント
横浜	自治体への提出書類の簡素化が必要。 地域性を考慮に入れた助成金の配分が必要。
	金沢区の生活クラブ運動グループが中心となり、昨年から居場所PJを立ち上げ、近隣の空き家・空き室を探しているが、まだ物件は見つかっていない。地域の様々な団体が利用できる拠点、地域住民の居場所を目指し、引き続き物件を探していく。 将来的には通所サービスBの申請も考えていきたい。
	各ケアプラザ単位でサービスBの住民サービス・サポーターズの活動が開始になっている。利用料は1H 500円。まだまだ浸透していないが、事業所の自費料金と比較されると自費の利用の減少が懸念される。 新聞報道に介護助手に(資格のない)予算がつくとあり。
	ヘルパー資格のない人への実務研修時間の確保や手当の事業者負担は厳しく、前向きに実施できないのが現状である。
	保土ヶ谷区では、訪問型サービスBを利用している方の話を聞かない。大手の民間事業所はサービスBは受けないところが殆どなので、保土ヶ谷区ではサービスBの利用者はいないようだ。
川崎	住民主体による要支援者等支援事業は今回申請に間に合わなかったが、申請が非常に煩雑で難しい。その割に補助金は安価である。もっと簡単に申し込めるものにして欲しい。または居場所に係る補助金をもっと出して欲しい。
	ケアオンラインの活動実績から分配金の計算を行っていたが、総合事業では予定実績に入れても活動実績に反映されないため困っている
	地域により算定方法が違うことや介護報酬が安いいためか昨年、大手の事業所が総合事業から撤退している
県央	大手の事業所が介護のみにシフトして、そのしわ寄せが来るのではと懸念したが大きな影響は見られなかった。
藤沢	サービスCの取り組みあり。(短期集中予防サービス)
	訪問型サービスAは、藤沢市全体で9件。骨折等の不慮のアクシデントで申請。骨折等の完治により終了か？ 介護保険申請に至り、終了する為常に、訪問型サービスAは10件程度。 10月からの消費税導入後は。30分から60分未満＝単価225単位が加算される見通し。
	総合事業の対象利用者に関しては、地域の支え合いの中で対応すべきと考える。実際ちょっとした困りごとへの対応が多く、専門家が積極的に係わる場面は少ないようである。緩和型や住民主体型へシフトしていく道筋が必要であろう。訪問介護同様、通所事業も住民主体の通いの場に近いデイサービスにすることが望ましい。
平塚	今年度10月からの総合事業について単位数及び運営方法等はまだまだはっきりとしていないため、変更点については早めに情報が入るよう希望している。
茅ヶ崎	自治体としてはサービスAのケアを増やしていく方向性あり。包括としてはケアを受けてもらうためにも国基準で実施の方向性あり。

自治体による介護予防・生活支援サービス事業(サービスA)の実施状況(要件)

	自治体名	訪問	基準等	通所	基準等	研修
	1 横浜市	横浜市訪問型援助サービス	・人員:管理者は常勤・専従1以上(訪問介護の管理者兼務で可) ・従事者:必要数 資格要件:介護福祉士、介護職員初任者研修等修了者又は一定の研修終了者 他の要件は、現行相当サービスとほぼ同じ 単価:基本報酬の90%	設定なし		講師や時間の規定はないが、管理者やサ責等テキストの内容を十分に理解している講師により、内容を学習するために必要な時間実施する。 同行訪問も、研修修了者が単独でサービス実施できるように必要に応じて実施する。
	2 川崎市	訪問型サービス	・生活援助特化型 市が指定した研修(かわさき暮らしサポーター)修了者が利用者と協働して家事援助を行う。 従事者:訪問介護員又は簡易研修修了者 他の要件:現行サービスと同様 単価:1週/222円~521円(1割負担の場合)	通所型サービス	・介護予防単時間通所サービス 利用時間は1時間30分から、事業所で異なる。 単価:1回/150円~311円(1割負担の場合)	事業者:指定訪問介護事業者は指定申請ができる 養成研修は1日程度 同行訪問(2回以上:合計90分以上)と初回サービス提供時にはサ責のOJT研修60分以上実施後、サービス提供が可能
66	3 相模原市	訪問型サービス	生活援助に特化して行う。 従事者:1人以上 資格要件:一定の研修修了者以上のもの 単価:251円/回(1割負担の場合)	通所型サービスA	短時間(2~5時間)のサービスを基本とし、入浴・食事は原則実施しない。 単価:341円/回(1割負担の場合)	指定を希望する事業者が、市で作成するテキストを用いて、事業所内で研修を実施する。サ責や生活相談員が、6時間程度行う。同行訪問(訪問)、実地研修(通所)を含む。
	4 平塚市	訪問型サービスA	生活援助に特化して行う。 従事者:必要数 資格要件:介護福祉士、介護職員初任者研修等修了者又は一定の研修修了者 単価:257円~276円/回(1割負担の場合)	通所型サービス	入浴・食事は原則実施しない。 単価:354円~364円/回(1割負担の場合) 研修受講は必須ではない。	市が主催する研修は年1回程度のため、神奈川県が作成したテキストを用い各事業所で実施できる。同行訪問(2回)を含む。事業所で受けたものは、確認のため市の研修にも参加する。
	5 鎌倉市	訪問型サービスA	従事者:1人以上 資格要件:介護福祉士、介護職員初任者研修等修了者又は市が定める研修修了者 単価:月1051単位~3334単位(1割負担の場合)	設定なし		①高齢者生活支援サポーター養成講座(年4回)か、②訪問型サービスに関する講座(年2回程度)を受講。③同行訪問又はサポーター活動(5回以上)①~③の修了者が従事要件がある。

	自治体名	訪問	基準等	通所	基準等	研修
6	藤沢市	訪問型サービスA	従事者:1人以上 資格要件:市の研修修了者、資格者 利用できる上限:月800~1600単位	設定なし		「訪問型サービスAヘルパー養成研修」は藤沢市と藤沢福祉NPO法人連絡会が主催。年間4回程度、5日間、24時間の研修 受講料:資料代実費500円。
7	小田原市	訪問型サービス	従事者:1人以上 資格要件:市の研修修了者、資格者 単価:219単位/回(1割負担の場合)	通所型サービス	入浴、排せつ、食事等の介助、送迎を行わない、サロンのような場を想定。 従事者:常時1名以上 単価:257~266単位/回(1割負担の場合)	市の指定を受けた事業者が、8時間程度(1日)の研修を実施する。
8	茅ヶ崎市	訪問型サービスA	単価:1023円~2250円/月額(1割負担の場合)	通所型サービスA	単価:962円~2015円/月額(1割負担の場合)	年数回市が開催する「生活援助員研修」2日間、9時間程度 市が茅ヶ崎介護サービス事業所連絡会に委託実施 テキスト代:1400円
9	秦野市	訪問型サービスA	従事者:1人以上 資格要件:介護福祉士、介護職員初任者研修等修了者又は一定の研修修了者 単価:986~1971円/月(1割負担の場合)	通所型サービスA	従事者:~15人 専従1人以上 単価:1332~2731円/月(1割負担の場合)	市認定ヘルパー研修を市が主催。 年間3回程度開催、2日間。受講料は無料。
10	厚木市	訪問型サービスA	基本報酬:介護予防訪問介護の83%に設定	設定なし		年に数回市が開催。2日間、受講料は無料。
11	大和市	訪問型サービスA	基本報酬:介護予防訪問介護の83%に設定	設定なし		年に数回市が開催。3日間、受講料は無料。

自治体による介護予防・生活支援サービス補助事業(サービスB)実施状況(要件) <訪問型>

201910現在

自治体名	名称	活動の概要	内容	補助限度額	備考
横浜市	横浜市訪問型支援	住民主体のボランティア等が、要支援者等の利用者宅に訪問(週1回以上)して生活援助等を行う。	買物代行、調理、ごみ出し等の生活支援※介護予防に資するプログラムを実施	活動費補助:60万円(5万円×12か月) コーディネーター人件費、備品費(3万円以上)、消耗品費、印刷製本費、通信費、交通費、報償費、保険料、使用料、改修費、その他	
相模原市	シニアサポート活動訪問型(住民主体型)	平成31年4月より、住民主体サービスからシニアサポート活動へ名称等を変更。 住民団体やボランティア団体等によりごみ出し等の生活支援を行っている。 対象者:要支援1.2の人、基本チェックリストに該当する人 サービス提供者の条件:3名以上のボランティア団体や地域団体など、利用者の支援を行うスタッフは必ず市が実施するシニアサポート活動講座受講者であること。	要支援1.2相当の方に対し、定期的継続的に生活支援(居宅外のごみ出し、買い物同行、買い物代行、散歩、掃除、洗濯、ベッドメイク、調理)などを行う。 ※居宅外のごみ出しについては週2回以上、それ以外の活動は1回概ね60分以内かつ月1回以上週2回までの活動とすること。	1)活動基本費(活動の維持に必要な経費) ・基本費 年間あたり上限30,000円(4月申請は上限30,000円、10月申請は上限15,000円) ・賃借料 1月あたり上限20,000円 2)加算(利用者の受け入れがあった場合) ・活動費加算 居宅外のごみ出し:1,000円 居宅外のごみ出し以外:300円 3)通所型・訪問型共通 ・「さがみはら・ふれあいハートポイント(シニアサポート活動用)」の付与 団体に活動する従事スタッフ(市内在住の65歳以上のみ)個人に同ポイントが付与される。1ポイント100円で年度末に申請することで一定金額(5,000円)を上限に換金することができる。別途ボランティア登録が必要。 ・保険の加入:損害保険に市がまとめて加入。(負担金は不要) ・利用者負担金の設定:1回の活動に対し500円を上限に利用者負担金を設定することができる。	
厚木市	住民主体サービス訪問型サービス(森の里地区限定)(もりの応援隊)	身体介護が不要で専門職の支援を必要としない者に対する生活支援。 対象者 要支援1.2の人 基本チェックリストに該当する人	掃除、洗濯、買い物、調理等などの生活支援。 利用者負担額 1回100円	・補助金対象の事業は次の要件を満たすものとする。 ・身体介護が不要で、認知機能の低下等により日常生活に支障があるような症状または行動を伴わず、専門職の支援を必要としない者に対して、地域住民の助け合いにより、日常生活の援助を行う。 ・1会計年度における上限額は利用者の延べ日数に500円を乗じて得た額と四半期につき15,000円とを合算した額。	
海老名市					保健福祉部地域包括ケア推進課に問い合わせたがサービスBは実施していないし、予定もないとの返答(9/27)
鎌倉市	住民主体による訪問型サービス	高齢者の方が住み慣れた地域で自立した日常生活を送ることができるよう、住民主体によるサービスを行う団体等に対し補助金を交付することにより、地域の支え合いの体制づくりを推進し、要介護状態にならない高齢者の増加(健康寿命の延伸)、自立支援・重症化予防につなげることを目的とする。 ・対象者:要支援者等 ※要支援1.2の認定を受けた人又は基本チェックリストで事業対象者と判定された人のうち、地域包括支援センターによる介護予防ケアマネジメントに基づくケアプランに位置付けられた者	要支援者等を含む利用者に対し、掃除、洗濯、買い物等の生活支援サービスを利用者1名あたり原則4回以上提供する事業。 要支援者等の利用者数は3名以上提供回数は月平均延べ12回以上とする。	補助金の交付を受けることが出来る団体は、次に掲げる要件をすべて満たす市内の法人又は任意団体。 1)鎌倉市内に主な活動拠点があること。 2)構成人数は3名以上で、鎌倉市民が過半数を超えること。 3)活動日時、実施場所および問い合わせ先を公表できること。 4)補助対象事業について鎌倉市から他の補助金等の交付を受けていないこと。 5)営利事業を行っていないこと。 6)政治活動又は宗教活動を行っていないこと。 7)法令又は公序良俗に違反していないこと 補助金上限額(月額) 1)原則1日2時間以上で月8日(概ね週2日)以上 30,000円 2)原則1日2時間以上で月4日(概ね週1日)以上 15,000円	

自治体名	名称	活動の概要	内容	補助限度額	備考
逗子市	訪問型サービスB	地域住民やボランティアが主体になりごみ出しなどの生活援助を行う。	サービス内容詳細は実施団体へ問い合わせのこと ・特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブこだま ・NPO法人ずしゅぷ ・逗子市社会福祉協議会「あゆむサービス事業」	逗子市住民主体による訪問型サービス事業 ・補助金の交付を受けることができる者は本市の公募により選考され、市内で住民主体による「訪問型サービスB」を実施する予定の法人格を有する団体とする。 ・実施要綱第7条に定める標準の利用回数を実施することを基本として、補助金の額を設定する。 ・訪問型サービスBの補助単価は1回あたり500円とする。 ・補助金の対象額は補助対象経費の範囲内で市長が定める額とする。 1. 運営費等(通信費、保険料、消耗品費等):月額20,000円を上限とする。 2. コーディネーター事務費(人件費等利用調整及び研修受講のための交通費を含む):月額5,000円とする。	通所型サービスBの実施無
平塚市	訪問型サービスB (住民主体によるサービス)	住民主体のボランティア団体による生活援助サービス 対象者:要支援1.2の認定を受けた方、基本チェックリストに該当する人	掃除、洗濯、買い物、調理などの生活支援。	活動費補助:1回900円 定期的に月に1回以上のサービス	通所型サービスBの実施無
秦野市	住民主体型訪問サービス	秦野市独自の基準による訪問サービス。元気な高齢者、要支援認定者及び要支援相当の人を対象に、住民ボランティア団体等が運営するサービス。 ・対象者 1)要支援認定者、事業対象者(概ね半数以上) 2)元気高齢者 ・サービス提供者の要件 1)構成員が5人以上であり、かつ構成員の半数以上が市内に在住し、在勤し、または在学していること。 2)主な活動拠点が市内であること。 3)利用者宅への生活支援の定期的な訪問が可能であること。 4)生活支援利用者の半数以上が介護保険法(平成9年法律第123号)に規定する要支援認定者又は事業対象者であること。 5)生活支援を行う人は、市の指定する研修を受けること。	実施方法は補助生活支援の内容及び訪問する支援の回数は、高齢者支援センターが作成するケアプランに沿って行う。 サービス提供時間、利用者負担はサービスを提供する住民団体が決定する。 ケアマネジメントは介護予防ケアマネジメントC	1団体当たり 上限12万円	
小田原市	住民主体型訪問サービス	研修を受けた住民が自宅を訪問し、調理や掃除などを手伝いを行う。 入浴介助や食事介護などの身体介護は行かない。 ・対象者:生活援助の必要な人 ・サービス提供者の要件 1)管理者(兼務可) 2)従事者 一人以上(市指定研修修了者※バックアップ体制は確保 ・設備基準:連絡を受けられる体制を確保 ・運営基準:守秘義務、清潔の保持、事故発生時の対応、事業廃止の事前届け出、サービス内容等の説明、サービス提供記録の作成と保持 ※要件・基準を満たさない場合は報酬を受け取ることができませんので、十分に確認し、適切にサービスを提供すること。	市指定研修修了者による生活援助 実施方法は利用券方式 ※包括が利用者に利用券を交付し 利用者は自己負担額100円に利用券を添えて提供者に渡す。 概ね45分以上のサービスを1回とする 利用者負担 100円	1回につき1,000円 (支給額900円+利用者負担100円)	

自治体による介護予防・生活支援サービス補助事業(サービスB)実施状況(要件) <通所型>

201910現在

自治体名	名称	活動の概要	内容	補助限度額	備考
横浜市	横浜市 通所型支援	住民主体のボランティア等が地域の活動拠点等で、要支援者等を中心とし利用者に、定期的に(週1回以上かつ概ね3時間以上)高齢者向けの介護予防を資するプログラムを提供する。	体操・運動等の活動、趣味活動等を通じて日中の居場所づくり、定期的な交流、サロン、会食等	・活動費補助:60万円(5万円×12か月) プラス ・拠点家賃等補助:240万円(20万円×12か月) (別途要件あり:要支援者等の人数) 活動費補助:コーディネーター人件費、備品費(3万円以上)、消耗品費、印刷製本費、通信費、交通費、報償費、保険料、使用料、改修費、その他 拠点家賃補助:家賃、水光熱費	
相模原市	シニアサポート 活動(通所型)	平成31年4月より、住民主体サービスからシニアサポート活動へ名称等を変更した。 住民団体やボランティア団体等により身近な通いの場を設けている。 ・対象者:要支援1・2の人、基本チェックリストに該当する人 ・サービス提供者の要件: 要支援1.2相当の方を定期的、継続的に受け入れられる会員5名以上のボランティア団体や地域団体など。利用者受け入れ5名につき、市が実施するシニアサポート活動講座受講者1名以上を毎回配置すること。	定期的な通いの場などでの軽体操やレクリエーションなど 利用者負担額 1回150円 (団体により異なる)	・補助金申請条件 1回のおおむね2時間以上かつ月2回以上の活動で介護予防のための軽体操(いきいき百歳体操など)を30分程度実施すること。 ・補助額 1)活動基本費(活動の維持に必要な経費) ・基本費:年間あたり上限30,000円(4月申請は上限30,000円、10月申請は上限15,000円) ・会場費:1回あたり上限1,000円(1月あたり10回、10,000円を上限とする)空き家等活用費:無償で空き家等の提供を受けて活用する場合、月20,000円または固定資産税額(家屋)の12分の1のいずれか低い方 ※通所型シニアサポート活動により週4日以上の利用(複数団体での共同活用の場合も含む)があること。 ※週あたり概ね20名以上の利用者の受け入れ定数があること。 ※空き家等の活用の補助金は、運営団体から所有者へ支払うこと。 2)加算(利用者の受け入れがあった場合) ・活動費加算1回あたり1,000円 受け入れ人数が3人超えるごとにさらに1回500円上乗せ ・送迎加算1回あたり500円送迎人数が3人超えるごとにさらに1回200円上乗せ	
大和市	通所型 サービスB	住民主体の介護予防サービス 通所サービスC(短期集中予防サービス)が終了した利用者や基本チェックリストに該当する人が自主的に住民主体の通いの場を運営し、健康体操の実施や地域住民等との交流をすることで介護予防につなげることを目的とした事業。	通所サービスCを実施している施設で地域の方が主体になって健康体操や脳トレのための制作活動を行っている。	実施は施設に委託をして行っている。 5人以上の利用で月に2~4回の実施。	訪問型は実施無
厚木市	住民主体サービス (森の里地区 限定) (陽だまりの家)	身近な地域に通いの場を設けている。 対象者:要支援1、2の人・基本チェックリストに該当する人	定期的な通いの場などでの軽体操やレクリエーションなど 利用者負担額 1回150円	補助金の対象となる事業は次の要件を満たすものとする。 ・利用者の半数以上が市内に住民登録がある要支援者等を対象とする活動であり、要支援者等の年間平均参加者数が2人以上で、かつ介護予防の自立支援に資するよう、地域住民主体の趣味活動、交流、会食、体操、運動等の自主的な通いの場として週に概ね1回以上継続して提供する。 ・会計年度における上限額は延べ利用者数に500円を乗じて得た額と四半期につき2万円とを合算した額	

自治体名	名称	活動の概要	内容	補助限度額	備考
海老名市					保健福祉部地域包括ケア推進課に問い合わせたがサービスBは実施していないし、予定もないとの返答(9/27)
鎌倉市	住民主体による通所型サービス	高齢者の方が住み慣れた地域で自立した日常生活を送ることができるよう、住民主体によるサービスを行う団体等に対し補助金を交付することにより、地域の支え合いの体制づくりを推進し、要介護状態にならない高齢者の増加[健康寿命の延伸)、自立支援・重症化予防につなげることを目的とする。 ・対象者 要支援者等 ※要支援1,2の認定を受けた人又は基本チェックリストで事業対象者と判定された人のうち、地域包括支援センターによる介護予防ケアマネジメントに基づくケアプランに位置付けられた者	要支援者等を含む利用者に対し、趣味活動、交流、会食、体操等を行う通いの場を提供する事業で、提供日数は(1)または(2)とする。 (1)原則1日2時間以上で月8日(概ね週2日)以上とする。 (2)原則1日2時間以上で月3日(概ね週1日)以上とする。	補助金の交付を受けることができる団体は、次に掲げる要件をすべて満たす市内の法人又は任意団体。 1)鎌倉市内に主な活動拠点があること。 2)構成人数は3名以上で、鎌倉市民が過半数を超えること。 3)活動日時、実施場所および問い合わせ先を公表できること。 4)補助対象事業について鎌倉市から他の補助金等の交付を受けていないこと。 5)営利事業を行っていないこと。 6)政治活動又は宗教活動を行っていないこと。 7)法令又は公序良俗に違反していないこと 補助金上限額(月額) 1)原則1日2時間以上で月8日(概ね週2日)以上 30,000円 2)原則1日2時間以上で月4日(概ね週1日)以上 15,000円	
秦野市	住民主体型通所サービス	広畑ふれあいプラザにおいて、家に閉じこもりがちな人を対象に、レクリエーション、介護予防体操、会食(ボランティアが作る食事)などを行う。 ・対象者 1)要支援認定者、事業対象者(概ね半数以上) 2)元気高齢者 ・サービス提供者の要件 1)構成員が5人以上であり、かつ構成員の半数以上が市内に在住し、在勤し、又は在学していること。 2)主な活動拠点が市内であること 3)週におおむね1回以上、かつ、1回当たりのおおむね5時間以上の事業を行うこと。 4)事業利用者の半数以上が介護保険法(平成9年法律第123号)に規定する要支援認定者又は事業対象者であること。	・利用者負担:昼食代など実費のみ ・利用回数は週1回、いずれかの曜日のいきがい型デイサービス班に所属。 ・サービス提供時間はおおむね5時間(午前10時～午後3時) ・送迎に関しては停留所方式(定員あり) 訪問型サービスDにより実施 要支援1,2及び事業対象者のみ(ただし、訪問型サービスD開始(平成28年4月)以前から送迎を利用している場合は一般高齢者も利用可能) ・ケアマネジメントは介護予防ケアマネジメント	1団体当たり 上限8万円	
小田原市	住民主体型通所サービス	市指定の研修を受けた住民が日常生活の世話をを行う。入浴等介助、送迎は含まれない。 ・対象者 入浴、排泄、食事等の介助が不要な人 ・サービス提供者の要件 1)管理者(兼務可) 2)従事者 一人以上(市指定研修修了者)※バックアップ体制は確保 3)サービス提供に必要な場所 食堂、機能訓練室、静養室、相談室、事務室の設置は不要 4)運営基準 守秘義務、清潔の保持、事故発生時の対応、事業廃止の事前届け出、サービス内容等の説明、サービス提供記録の作成と保持	日常生活上の世話 実施方法は利用券方式で行う。 概ね45分以上のサービスを1回とする。 利用者負担 100円	1回につき1,000円 (支給額900円+利用者負担100円)	

	介護予防ケアマネジメント	実施箇所	現行相当	A	B	C	D	その他	実施箇所	現行相当	A	B	C	その他	生活支援サービス実施有	生活支援サービス実施無	実施箇所数
横浜市	15,043	1,015	681	313	3	18	0	0	692	674	0	18	0	0	1	0	6
川崎市	4,748	299	289	10	0	0	0	0	312	306	6	0	0	0	0	1	0
相模原市	2,520	155	136	7	3	9	0	0	234	194	5	23	12	0	1	0	1
横浜賀市	1,640	71	71	0	0	0	0	0	102	102	0	0	0	0	0	1	0
平塚市	847	99	62	30	7	0	0	0	98	96	0	0	2	0	0	1	0
鎌倉市	815	61	60	1	0	0	0	0	60	56	0	0	4	0	0	1	0
藤沢市	2,441	127	99	28	0	0	0	0	117	117	0	0	0	0	1	0	7
小田原市	861	49	41	4	3	1	0	0	102	79	10	5	8	0	0	1	0
茅ヶ崎市	5,931	104	67	37	0	0	0	0	103	82	21	0	0	0	0	1	0
逗子市	2,125	17	17	0	0	0	0	0	15	15	0	0	0	0	0	1	0
三浦市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秦野市	6,027	47	27	16	2	0	2	0	104	56	39	4	5	0	0	1	0
厚木市	6,713	34	33	0	1	0	0	0	50	48	0	1	1	0	0	1	0
大和市	4,629	48	41	6	0	1	0	0	77	59	0	4	14	0	0	1	0
伊勢原市	308	16	16	0	0	0	0	0	29	24	1	0	4	0	0	1	0
海老名市	2,824	11	9	0	2	0	0	0	14	13	0	1	0	0	0	1	0
座間市	2,274	51	51	0	0	0	0	0	56	56	0	0	0	0	0	1	0
南足柄市	145	13	13	0	0	0	0	0	36	36	0	0	0	0	0	1	0
綾瀬市	804	10	10	0	0	0	0	0	20	19	0	0	1	0	0	1	0
葉山町	10	4	4	0	0	0	0	0	10	9	0	0	1	0	0	1	0
寒川町	114	17	17	0	0	0	0	0	20	20	0	0	0	0	0	1	0
大磯町	133	14	14	0	0	0	0	0	23	23	0	0	0	0	0	1	0
二宮町	100	5	5	0	0	0	0	0	9	9	0	0	0	0	0	1	0
中井町	20	5	5	0	0	0	0	0	6	5	0	0	1	0	0	1	0
大井町	387	11	10	0	0	1	0	0	24	23	0	0	1	0	0	1	0
松田町	80	22	15	0	0	7	0	0	10	7	2	0	1	0	0	1	0
山北町	43	7	7	0	0	0	0	0	13	13	0	0	0	0	0	1	0
開成町	32	11	11	0	0	0	0	0	17	17	0	0	0	0	0	1	0
箱根町	29	9	9	0	0	0	0	0	7	7	0	0	0	0	1	0	4
真鶴町	45	4	4	0	0	0	0	0	7	7	0	0	0	0	1	0	2
湯河原町	272	10	10	0	0	0	0	0	16	16	0	0	0	0	0	1	0
愛川町	103	14	2	0	0	12	0	0	12	11	0	0	1	0	0	1	0
清川村	26	3	3	0	0	0	0	0	5	4	1	0	0	0	0	1	0

2018年度生活クラブ運動グループ総合事業取組み状況(利用者人数)

(参加型福祉研究センター福祉事業実績調査より)

	訪問型サービス	A	B	D
1	生活リハビリクラブ茅ヶ崎(茅ヶ崎市)	9	-	-
2	港南たすけあい心(港南区)	0	-	-
3	たすけあい栄(栄区)	70	25	-
4	みらい(旭区)	0	-	-
5	たすけあい皆人(保土ヶ谷区)	0	-	-
6	たすけあいつるみ(鶴見区)	2	-	-
7	たすけあい磯子(磯子区)	—	-	-
8	ふれあい都筑(都筑区)	0	-	-
9	くるみ(多摩区)	31	-	-
10	こだま(逗子市)	-	1	-
11	くるまやさん(逗子市)	-	-	12
12	笑顔(平塚市)	34	-	-
13	一心(茅ヶ崎市)	19	-	-
14	ポパイ(藤沢市)	1	-	-
15	実結(藤沢市)	3	-	-
16	(福)であい(鎌倉市)	0	-	-
17	(福)えんじょい(藤沢市)	2	-	-
18	(福)あいわ(相模原市)	1	-	-
19	(福)みんなの手(厚木市)	0	-	-
20	(福)あやとり(幸区)	0	-	-
21	(福)ほほえみ(高津区)	0	-	-
22	(福)さんさん(宮前区)	0	-	-
23	(福)にじ(麻生区)	0	-	-
24	(福)菜(多摩区)	0	-	-
25	(福)いずみ(港北区)	24	-	-
26	(福)絆(神奈川区)	0	-	-
27	(福)ゆいまある(保土ヶ谷区)	0	-	-
28	(福)エプロン・みどり(緑区)	2	-	-
29	(福)いこい(栄区)	5	-	-
30	(福)りぼん(金沢区)	3	-	-
31	(福)おひさま(磯子区)	4	-	-
32	(福)ゆかり(戸塚区)	0	-	-
	計	210	26	12

	通所型サービス	A	B	通いの場
1	W.Co協会		2019.4~	
2	生活リハビリクラブ茅ヶ崎	0		
3	たすけあいぐっぴい(西区)		3	
4	港南たすけあい心		2019.4~	
5	オーリーブ(金沢区)			第4日曜
6	(福)きらり港北		15	
	計	0	18	

生活クラブ運動グループ「居場所・サロン」調査のまとめ (2018年度)

2019年8月現在 参加型福祉研究センター

行政区	運営主体	名称	活動目的	対象	実施場所	事業高/年 (助成)	事業高/年 (委託事業)	事業高/年 (自主事業)	合計事業高/ 年	年間経費	開催頻度	参加費	スタッフの体制・ かわり方	参加スタッフのワ ーク代	企画内容
横浜市緑区	W.Coくまさん	花ようサロン	介護予防	高齢者	横浜市緑区鴨居5-29-8 (地域ケアプラザ) 有料	80,000	0	150,000	230,000	230,000	月1回	有料(100円)	特定メンバー	1人:3h分 3人:2h分 97317円	転倒予防体操、ボランティアによるいろいろな催し (フラダンス、コーラス、大正琴等)鑑賞や折り紙で作品作り 等 (ワーカー、OB,ボランティア)
横浜市緑区	W.Coくまさん	くまさんサロン	交流	子ども(親子)・ 地域住民	横浜市緑区白山3-1-9	0	0	20,000	20,000	20,000	年数回	有料(食事代)	希望者を募る	1回目 8370円 2回目 7864円 計16,234円	地場野菜を使ったカレーライスを大人300円・子ども100円で 提供
横浜市緑区	生活リハビリクラブ 鴨居運営会議 (組合員と W.Coひまわり)	鴨カフェ	交流	誰でも	横浜市緑区鴨居町 2430-1	0	0	0	0	8,000	月1回	有料(参加費100 円・お茶代100円)	特定メンバー	無し	参加費100円、お茶代100円 地域の方のお茶のみの場として講座(ヨガ)開催後、コーヒー を飲んでいる。
横浜市緑区	生活リハビリクラブ 鴨居運営会議 (組合員と W.Coひまわり)	こどもごはん	子ども食堂	子ども(親子)	横浜市緑区鴨居町 2430-1	0	0	0	0	0	月1回	有料 大人300円、子ども 100円	特定メンバー	無し	アソシエーションでらこや(学習支援団体)と共催で「こども ごはん」を開催。子どもと一緒に調理し、昼食をとる。
横浜市緑区	緑地域協議会準備会	るるる*サロン	交流	誰でも	るるる*緑館						月1回第4日曜日 PM	無料	リーダー層+α	無し	地域の方へ活動を知らせる。 居場所づくり
横浜市緑区	緑地域協議会準備会+ 十日市場7777	るるる*カフェオ シス	認知症サポート	高齢者・家族	るるる*緑館						月1回第5日曜日 AM	無料	リーダー層+α	無し	ケアプラザと共に企画。 城の方への居場所づくり。 認知症カ フェ。(家族の方と本人)
横浜市緑区	緑地域協議会準備会	るるる*キッチン	その他(食の広報)	誰でも	るるる*緑館						年3~4回	無料	リーダー層+α	無し	地域に消費材の良さを知らせる
横浜市青葉区	青葉連絡会議	サロン	交流	誰でも	家事介護W.Coここあ事務 所						月1回	無料	リーダー層+α	無し	組合員、地域の方に活動・拠点を知らせる。消費材の紹介や健 康チェックも実施
横浜市青葉区	W.Coバレット	青葉区子育て 支援拠点ラフ ール・ラフール サテライト	子育て支援	子ども(親子)	青葉台1-4 ラフール 市ヶ尾町1152-25 サテライト	63,486,321		63,486,321	58,961,963	58,961,963	週4日以上	無料	全員が交代で	年間4,223,823円	ひろば運営、子育て相談、青葉区内の子育て情報の収集と提 供、地域で子育てを支えあうネットワークづくり、子育てに関 する研修会や講座開催を通して人材育成、横浜子育てサポート システム事務局、横浜子育てパートナー
横浜市青葉区	W.Coバレット	親と子のつどいの 広場びよびよ	子育て支援	子ども(親子)	貸会場(有料)	5,291,000		174,100	5,465,100	5,465,100	週4日以上	有料 年間登録 1000円、利用料1か 月券1000円1回券 200円	全員が交代で	年間325,765円	横浜市補助事業 親と子のつどいの広場
横浜市青葉区	W.Coバレット	親と子のつどいの 広場ふーぶー しえすた	子育て支援	子ども(親子)	貸会場(有料)	5,321,000		333,320	5,654,320	5,654,320	週4日以上	有料 年間登録 1000円、利用料1か 月券1000円1回券 200円	全員が交代で	年間354,980円	横浜市補助事業 親と子のつどいの広場
横浜市都筑区	W.Coふれあい都筑	ふれあいサロン	交流	地域住民(高齢 者・誰でも)	横浜市都筑区荏田南 5-8-17 (自前・貸会場)				0	60,000	年数回	無料	全員が交代	無し	近くの障害者施設で年2回コンサートなどイベントを行う
横浜市都筑区	W.Co 円	リフレッシュ心楽	交流	高齢者・その他 (ご家族・付き添 い・活動ボラン ティアなど)	横浜市都筑区中川中央 1-39-11L&S ハウス港北内 (水道光熱費 として500円/回)	300,000	0	198,870	498,870	385,394	週1回	有料(300円)	特定メンバー (60歳以上)	担当手当て 月2000円×8人	コーラス 手芸 映画鑑賞 脳トレ お茶の会など
横浜市保土ヶ谷区	W.CoくつくSUN	オレンジカフェ	認知症サポート	地域の高齢者と その家族	ラポール三ツ沢						年5~6回	200~300円	特定メンバー	組織活動費800円/ 1時間	
横浜市保土ヶ谷区	W.CoくつくSUN	ラポール シアター	交流	誰でも 高齢者	ラポール三ツ沢						2か月に1回程度	150円お菓子代含む	特定メンバー	組織活動費800円/ 1時間	DVDを借りて上映。終了後お茶で歓談。
横浜市港北区	パートナー メンバーと地域住民	華の会	交流	主に町会住民	横浜市港北区高田西3 (高田町会研修所)	0	0	0	0	0	月1回	有料(お茶代 100円)	主に三沢と 参加者全員	無し	朗読会・体操・歌・ウクレレ・好きなこと・13時半から15時半 会場費は免除されている
横浜市港北区	子育て支援 W.Co monami	わつとほーむ	子育て支援	親子	横浜市港北区新横浜 2-8-4 4階 わつとほーむ	400,000		735110 20000	1,155,110	968,678	週2~3回	有料 登録料年500 円、利用料1回300 円	全メンバー	1回1000円と 交通費	季節ごとのイベント(お花見、母の日の工作・父の日の工作・ 七夕・プール・夏祭り、敬老の日工作・ハロウィンパー ティー・豆まき鬼退治など)
横浜市港北区	W.Co路	うえるびーサロン	交流	高齢者	横浜市港北区日吉5-21-31 日吉センター	0	0	1,286,000	1,286,000	1,286,000	月10回程度以上	有料	全員が交代	720円	組合員対象、高齢世代の生き甲斐・活躍の場とした目的、 企画内容により利用金額は異なる。 ※屋外は、バードウォッチングや散策等、詳しい方を講師に企 画として開催している。
横浜市港北区	港北地域協議会	ふく茶きり	交流	高齢者	きりり港北	300,000			300,000	300,000	月4回	無料	リーダー層+α	無し	横浜市総合事業通所B
横浜市港北区	港北地域協議会	カフェローズ	交流	誰でも	組合員宅			49,680	49,680	49,680	月1回	有料(100~300円)	リーダー層+α	無し	体操や講座、お茶
横浜市港北区	港北地域協議会	サロンみち	交流	誰でも	地域包括支援センター			49,680	49,680	49,680		有料(100~300円)	リーダー層+α	無し	体操や講座、お茶
横浜市神奈川区	神奈川地域協議会	リアンカフェ	交流	誰でも	地域包括支援センター			64,000	64,000	64,000	月2回	有料(100円)	リーダー層+α	無し	試食や体操、健康チェック

行政区	運営主体	名称	活動目的	対象	実施場所	事業高/年	事業高/年	事業高/年	合計事業高/年	年間経費	開催頻度	参加費	スタッフの体制・かかわり方	参加スタッフのワーク代	企画内容	
						(助成)	(委託事業)	(自主事業)								
23	横浜市西区	W.Co. たすけあいぐっぴい	サロン「ばあばの家あさだ」	交流	誰でも	横浜西区境之谷30-6	0	0	360,360	360,360	570,000	週1回	有料 200円	特定メンバー	1,100円/回	多世代交流サロン
24	横浜市西区	W.Co. たすけあいぐっぴい	ぐらんまのいえ	子育て支援	親子	横浜西区境之谷30-6	3,727,000	0	104,200	3,831,200	3,736,800	週3回	有料 200円	全員が交代で	990円/1時間	親と子のつどいのひろば事業
25	横浜市西区	W.Co. たすけあいぐっぴい	サービスB	介護予防	高齢者	横浜西区境之谷30-6	600,000	0	175,100	775,100	775,100 (実際は60万円を使い切れず、368200円と175100円です)	週1回	有料 200円	特定メンバー	コーディネーター1,300円/回	要支援者・高齢者の介護予防 参加費1回200円
26	横浜市区	W.Co.たすけあい茶	たまり場	交流	誰でも	たすけあい茶事務所	0	0	30,000	30,000	30,000	月1回	無料	全員が交代で	無し	サロン 10時～15時開催。会員と地域の方に会場を開放。自由に過ごしていただく準備・片付けなどは参加者みんなで行う。
27	横浜市区	子育て支援W.Coスキップ	スキップひろば	子育て支援	子ども(親子)	スキップ保育室						月1回	無料(企画により材料実費)	リーダー層+α	無し	親子ひろば
28	横浜市区	栄地域協議会	いのやまサロン	交流	誰でも	Dayいのやま			35,000	35,000	35,000	月1回	100円	リーダー層+α	無し	体操や講座、お茶
29	横浜市戸塚区	W.Co.たすけあい戸塚	ふれあい広場よつば	交流・子育て支援・その他	誰でも	横浜市戸塚区上倉田町391-5 T&Rハウス1階	410,000	0	0	410,000	1,970,000	月～金 13:00～16:00	無料・有料(企画により材料実費100～200円)	リーダー層・元メンバー	1,100円/回	ケーキ・お茶の自由な日 折り紙月2回、麻雀月1回、編み物月2回、よつばサロン月1回、親子サロン月1回、バザー月1回、介護相談日
30	横浜市戸塚区	W.Co.まいそら	健康マージャン	交流	誰でも	戸塚区上粕尾町244番地デイサロン花りん(貸会場1回500円) デイサービス休み時フロア活用	0	0	24,000	24,000	24,000	月2回	有料(フロア使用料500円)	全員が交代	1,000円/回	第2、第4日曜日 健康マージャン
31	横浜市戸塚区	W.Co.まいそら	「花りんの木の下で」	交流	誰でも	戸塚区上粕尾町244番地	350,000	0	131,000	481,000	96,000(人件費16000円、講師謝礼2万円×4回)	年数回	有料 100～500円	地域福祉担当者	1,001円/回	コンサート4回、講座1回、カフェ8回 花りんお出かけ年1回
32	横浜市戸塚区	W.Co.まいそら	フレアカーサ(高齢者専用賃貸住宅)活用	交流	誰でも	戸塚区品濃町296番地(自前)	0	1室事務所の無償提供	370,000	370,000	370,000	月1回	有料(カレー300円)	地域福祉担当者	生活援助員1日(9～5)2,000円	生活援助業務巡回、カレランチ1回、花札・折り紙教室2回
33	横浜市戸塚区	W.Co.みんなの家	オープンデイ	交流	誰でも	Dayふかや			85,500	85,500	85,500	月3回	無料	リーダー層+α	無し	地域の居場所拠点やデイサービスの紹介を通しての地域交流
34	横浜市戸塚区	戸塚地域協議会		交流	誰でも	にじの家			28,500	28,500	28,500	月1回	無料	リーダー層+α	無し	地域の子育て拠点の紹介を通しての地域交流
35	横浜市鶴見区	W.Co.たすけあいつるみ	さろんえんがわ	交流	誰でも	横浜市鶴見区馬場2-12-21			0	50000(つるみから)	50,000	月1回	有料 1回100円	特定メンバー	無し	9:00～12:00 麻雀・作品作り・映画会
36	横浜市港南区	コミュニティルームここ(たすけあい心O.B)	コミュニティルームここ	交流(誰もがくつろげる居場所づくり)	誰でも	横浜市港南区野庭町665-1-113	400,000	0	2420000 400000	3,220,000	3,500,000	週4回	有料(教室参加費及び食事代600円、オレンジカフェ400円、寺子屋100円等)	特定メンバー	無し	各種教室、イベント、リサイクル品販売、食事会、寺子屋、オレンジカフェ。お茶のみ話し相手は無料。
37	横浜市港南区	NPO法人ワーカーズ・コレクティブ協会	居場所ぼらん	会食 認知症サポート その他(カフェ事業、総合相談、就労支援、横浜市就労準備の事前講座)	誰でも(親子・高齢者・生活困難者)	神奈川区松が丘35-16	6,920,823		1,500,000	8,387,573		週4日以上	有料	特定メンバー	リーダーは協会の雇用 他は有償ボランティア	カフェ事業を中心とした居場所事業。さらに維持するために、総合事業通所Bを予定。相談事業、コミュニティ食卓、地域の人向け講座、横浜市就労準備支援事業の事前講座会場としても利用。
38	横浜市金沢区	W.Co.オリーブ	日曜☆サロン	交流	高齢者	横浜市金沢区柳町3-16	0	0	28,325	468,000	57,400	年数回	有料(1000円・昼食代、材料費)	特定メンバー	当日4h×984円、3人	レクレーション、運動、歌、ゲーム、制作等 参加費1,000円(昼食代・材料費)
39	横浜市金沢区	W.Co.コンパス	サロン	交流・その他(介護講座、ミニコンサート)	誰でも	横浜市金沢区柳町、金沢文庫(コミュニティハウス・デイサービスセンター・NOAH・いきいきセンター・カフェギヤラリー等)	0	0	40,800	63,000	103,800	年数回	有料(500円・お茶・お菓子代)	特定メンバー	400円/h	コンサート(今年度はオカリナ・クラリネット) 自主事業；「遺言と相続がよくわかる講座」、「在宅医療と一緒に考えませんか」、シャンソンコンサート、ミニコンサート(トーンチャイム) 委託事業：W.Co.オリーブのNOAHサロンの食事作り
40	横浜市金沢区	W.Co.コンパス	うたごえ	交流	誰でも	横浜市金沢区柳町(柳町地域ケアプラザ)	0	0	98,000	98,000	76,524	月1回	無料	特定メンバー	400円/h	参加費500円、歌集とお茶付き 伴奏者はメンバー外、年2回謝礼有
41	横浜市金沢区	W.Co.コンパス	健康麻雀	交流・介護予防 健康維持	高齢者・誰でも	デイサービスセンターNOAHや柳町地域ケアプラザ	0	0	793,000	793,000	451,984	月3回+3回	有料	特定メンバー	400円/h	参加費：1時間250円 1回、4時間を設定しているが、参加時間は自由
42	横浜市金沢区	W.Co.コンパス	食事会(ホットスペース)	交流	高齢者(25名)	横浜市金沢区柳町(ケアプラザ多目的ホール)			234,600	236,400	197,325	月1回	有料600円	特定メンバー	401円/h	ケアプラザとの共催企画。食後に催し物あり。

行政区	運営主体	名称	活動目的	対象	実施場所	事業高/年	事業高/年	事業高/年	合計事業高/年	年間経費	開催頻度	参加費	スタッフの体制・かかわり方	参加スタッフのワーク代	企画内容		
						(助成)	(委託事業)	(自主事業)									
43	横浜市磯子区	W.Coハッピーママプロジェクト	親子とのひろばだっこ	子育て支援	親子	横浜市磯子森5-16-15 丸八ビル101	5,114,000		5,114,000	5,324,544	週4回	有料 利用料1日会員200円	全メンバー	シフト制・時給制による 賞金支払い	親子が安心して過ごせる居場所の提供		
44	川崎市麻生区	W.Co こもれび	ザ・キルト	交流	地域住民	川崎市麻生区東百合丘 3-2-7 生活館2F	0	0	0	8,252	月1回	有料 (100円)	特定メンバー	担当者1名 1000円/月	パッチワークの好きな人が集まり、おしゃべりしながら楽しく各自持ち寄ったパッチワークを行う。地域のたまり場の役割をしている。		
45	川崎市麻生区	麻生運営会議(生活リハビリが麻生)	オレンジカフェひなたぼっこ	認知症 その他(地域のたまり場)	誰でも	川崎市麻生区東百合丘 3-2-7 デイサービスフロア	0	0	0	25,298	月1回	有料 (100円と材料費)	全員が交代、別途担当1名	担当者:2000円/月	折り紙・せっけんデコパージュ・一輪車ショー・歌唱指導とミニコンサート・バステルシャインアート・カラオケ・蕎麦せんべいづくり・笑いヨガ・クリスマスコンサート(バイオリン演奏)・人生ゲーム・ママーレド作り		
46	川崎市麻生区	W.Coグループとも	みんなの居場所「はなもも」	交流	誰でも	川崎市麻生区王禅寺西 1-25-4	150,000	0	395,950	545,950	2,442,382	月～金常設	有料(企画により200～500円)	全員が交代	700円/回	居場所での趣味のサークル、講演会、コンサート	
47	川崎市麻生区	W.Coグループとも	おしゃべり会「ほおずき」	交流	誰でも	川崎市麻生区王禅寺西 3-26-6		0			月1回(第2土曜)	有料(お茶代200円)	特定メンバー	無し	おしゃべり会		
48	川崎市麻生区	W.Coグループとも	ミニデイサロンの菜の花会	会食	誰でも	川崎市麻生区王禅寺西 3-26-6	150000		92,450	242450	318,153		有料(昼食代1000円)	全員が交代	2500円	食事会	
49	川崎市麻生区	W.Coあいあい	会食会	交流	高齢者	川崎市麻生区東百合丘 外部レストラン	0	0	15,000	15,000	30,000	年数回	有料	特定のメンバー	無し		
50	川崎市多摩区	W.Coくるみ	くるみカフェ	交流	誰でも	くるみ事務所	50,000	0	7,200	57,200	50000 タウン誌掲載・チラシ印刷・ポストティング他	月1回	有料 200円	有志	無し	居場所での趣味のサークル、講演会、コンサート、茶話会、折り紙、かるた、絵手紙等	
51	川崎市多摩区	W.Coくるみ	地域交流会	交流	誰でも	くるみ事務所	50,000	0	36,000	86,000	50000 チラシ印刷、ポストティング、イベント等	年4回	有料 500円	全員が交代	担当者のみ2000円、交通費400円	フラダンス・ビンゴ大会・シャンソンミニコンサート・手品ショー	
52	川崎市多摩区	W.Coやどりき	上布田カフェ	交流	誰でも(地域の老人会)	川崎市多摩区布田 29-10 上布田つどいの家				50,000	0	50,000	月2回	有料(コーヒー・ケーキ 300円)	特定メンバー(担当を決めている)	900円/時(13時～16時)	交流カフェ:コーヒー・ケーキで談笑、全員で歌・紙芝居・手品・指体操等で楽しむ
53	川崎市多摩区	W.Coやどりき	手芸サークル	交流	誰でも	川崎市多摩区布田 29-10 上布田つどいの家				25,000	0	25,000	月1回	有料 500円 生地・お茶・お菓子代	特定メンバー	900円/時(13時～16時)	5～10人未満参加 スタッフが事前準備をして作る作品を決める。
54	川崎市多摩区	W.Coやどりき	健康マージャン	交流	誰でも	川崎市多摩区布田 29-10 上布田つどいの家				25,000	0	25,000	月1回	有料 300円 お茶代	特定メンバー	900円/時	麻雀台2～3台を用意し、自由にやっていただく
55	川崎市多摩区	W.Coやどりき	ラディッシュ(園芸サークル)	交流	誰でも	施設の庭						月1回	無料	特定メンバー(スタッフ・ボランティアも参加)	900円/時(9:30～11:30)	8～10名 施設周辺の草むしり、施設の畑に野菜・花を植える・終わった後にお茶とお菓子で談笑	
56	川崎市多摩区	W.Coやどりき	工作・科学教室	学習支援	子ども	自前の会場						月2～3回	有料(材料費のみ)	特定のメンバー	900円/時(9:00～12:00)	親子を対象にモノづくりや科学的現象をベースにした工作物を作る	
57	川崎市多摩区	多摩連絡会議	たまたまサロン	交流	その他(男性介護者)	ピアタウン・たま						年6回	無料	リーダー層+α	無し	男性介護者の集い、単料理教室等その都度テーマが異なる。最近では健康チェックも同時開催	
58	川崎市中原区	W.Coばんじい	はんじいひろば	交流	誰でも	川崎市中原区木月3-5-22 ホワイトパレス202	0	8,640	6,800	15,440	4,116	月1回	有料 (200円)	リーダー層	無し	牛乳パックでつくる眼鏡ケース・新聞紙を使ったバッグづくり・押し花のしおり・折り紙で作るクリスマスリース・折り紙で作るポチ袋・お正月遊び・ピラティス・ゲーム	
59	川崎市中原区	W.Coばんじい	ダブルケアカフェ	交流	誰でも	川崎市中原区木月3-5-22 ホワイトパレス102 ふれあいデイばんじい	0	0	0	0	0	年数回	無料	リーダー層	無し	育児や介護の悩みを語り合う。(今年度から参加費を無料とした)	
60	川崎市中原区	W.Coばんじい	たまり場ばんじい	交流	誰でも	貸会場(上平間第三町公会館)		46,980	131,600	178,580	148,038	月3回+3回	有料 (200円)	全員が交代で	有、実働分	歌、体操、脳トレ、大正琴鑑賞、カレンダーづくり、歓談、トランプなど	
61	川崎市宮前区	W.Coキャンディ	こども食堂	食事会	誰でも	すきっぷドレミ園分園 1F	800,000		123,709	923,709	材料費のみ 98818	月2回	有料(大人300円、子ども100円)	特定メンバー	有	みんなで夕食を作り、一緒に食べる子ども食堂を開催しています。第2第4木曜の夕方、スタッフが集まり、食事を作ります。子どもたちやお迎えに来た保護者なども加わりにごやかに食事をしています。毎月のメニューを楽しみにしてくれている様子です。	

行政区	運営主体	名称	活動目的	対象	実施場所	事業高/年	事業高/年	事業高/年	合計事業高/年	年間経費	開催頻度	参加費	スタッフの体制・かかわり方	参加スタッフのワーク代	企画内容	
						(助成)	(委託事業)	(自主事業)								
62	川崎市宮前区	かわさき生活クラブ生協ふれあい広場 推進会議 (キャンディ・生活クラブ)	親子のふれあい広場・ふれあいデイ	子育て支援	親子	川崎市宮前区宮崎2-1-1生活クラブ高津センター	0	0	65,300	65,300	材料費のみ28554円	親子のふれあい広場月2回、ふれあいデイイベントによりだが平均1組300円、賛助会員は無料	特定のメンバー・リーダー層	有	高津センターを拠点に子育てしやすい環境を組合員が自ら考え、子育て中のママや子育てに関わる人の居場所づくりやたすけあいのネットワークを広げる事をめざし、地域の親子が集いコミュニケーションを図るための居場所です。保育士による手作りおもちゃの紹介、パネルシアター、読み聞かせ、ふれあい遊びなど楽しい企画を用意しています。	
63	川崎市宮前区	W.Coオブティ連主催	ふらっとカフェ	交流	誰でも	窓空き事務所(家事介護W.Coさん事務所並び)					月1回	無料	リーダー層+α	無し	組合員、メンバー、地域の方が交流、情報交換の場として開催消費材の紹介や健康チェックも実施	
64	川崎市高津区	W.Coびすけっと	親子サロン	子育て支援	親子	二子こども文化センター川崎市高津区二子5-14-11	0	0		30,000	月1回	無料	全員が交代	保育ワークの一環として	「わらべ歌と絵本で子育て」や「救命救急講習会」等テーマを決めて当保育室の保育士・看護師が講師を務め、10:00~11:30まで親子で過ごしてもらおう。	
65	川崎市高津区	W.Coびすけっと	親子ひろば	子育て支援	親子	川崎市高津区溝口3-22-43 保育室びすけっと			10,200	10,200	5,000	月1回	有料200円	特定メンバー	保育ワークの一環として	「絵本の読み聞かせ」や「子どもの歯磨き」「離乳食講座」等テーマを決めて当保育室の保育士・看護師が講師を務め、10:00~11:30まで親子で過ごしてもらおう。お弁当持参の場合は、一緒にお昼を食べて12:30まで過ごしてもらおう。
66	川崎市幸区	W.Coメロディー	メロディーココ	交流	誰でも	川崎市幸区南幸町2-4-2ビクセル川崎101(生活リハビリクラブ併)	0	0	38,500	38,500	36,765	月1回	有料	理事中心で他のメンバーも参加	無し	手芸・体操などを楽しむ、軽食を用意する。区役所・社協・町内会等に広報参加費は100円~300円
67	川崎市多摩区	W.Coかりん	かりん倶楽部	会食	高齢者	川崎市多摩区					月1回	有料 食事代として500円	特定メンバー	有	体操、皆で歌をうたう、手芸、折り紙など季節の行事にあわせた物を作る。	
68	相模原市	W.Coベル	茶話会	交流	誰でも	相模原市南区東林間5-6-6 ベル事務所	0	0	6,000	6,000	6,000	年6回		理事中心で他のメンバーも参加	1,000円/回	ハーモニカ演奏、歌、健康体操、その日の催し(例 母の日なら母の思い出を語る)
69	相模原市	W.Coはっぴー	ご近所体操はっぴー	介護予防	高齢者	相模原市緑区二本松1-17				0	48,000	月2回	有料	特定メンバー	500円/回	毎月第1・第3水曜10:00~10:30 程の淵公園で体操と太極拳を実施。(相模原高齢者支援センター)
70	相模原市	橋本運営会議(W.Coむすびって)	子育てひろば「ここにこ」	交流	子ども(親子)	生活リハビリクラブ橋本事務所	10,000	0		10,000	3,000	月1回	有料(0~400円)	特定メンバーとリーダー層	無し	未就園児を遊ばせながら、子育て中のママがゆったりのおんぶりした時間を過ごす。そんな中で子どもと向き合う時間を大切にしよう。
71	相模原市	W.Coあいわ	「ミモザの食卓」	交流	誰でも	家事介護W.Coあいわ事務所					月1第3土曜日	無料	リーダー層+α	無し	消費材を活用した調理提案を通しての交流企画	
72	厚木市	W.Coくれよん	くれよんおやこひろば	子育て支援	子ども(親子)	厚木市飯山2120-6 くれよん保育室	487,000	0		487,000	638000+スタッフ人件費	週1回	有料 材料費がかかる場合は材料費	特定メンバー	有	ベビーマッサージ(外部講師)・わらべ歌・楽しい教室(企画物)・おしゃべりひろば 毎週木曜日につき1回づつ開催 上記3講座は10:30~だが利用者の要望を受け毎回9:30開催 お弁当持ちで13:00まで おしゃべりひろばは10:00~11:30
73	厚木市	W.Coくれよん	だしがや	小学生の土曜日の居場所	子ども(親子) 小中高生	厚木市飯山2120-6 園庭中心					年数回	有料 駄菓子原価販売、無料提供 おやつ有	特定メンバー	無し	小学生を中心に地域の方や幼児が気軽に集える場をつくる。駄菓子販売は集うきっかけとなればと始める。2時間程度開いて、ボランティア(職員)による絵本の読み聞かせやDVDの上映、ボードゲームや囲碁・将棋盤などを用意。	
74	厚木市	厚木連絡会議	土曜カフェ	交流	誰でも	みんなの事務所			30,000	30,000	30,000	月1回	無料	リーダー層+α	無し	地域交流
75	大和市	さくらの森・親子サポートネットとW.Coわにわにの共催	わにわに食堂	食事会	誰でも	大和市上草柳176-4 ヴェルドミール102	204,000	0		204,000	304,117	月1回	子ども無料 大人300円	特定メンバー	無し	わにわに食堂は子ども一人でもはいる食堂です。みんなで一緒においしいご飯を食べる食堂です。そして毎回「おにぎり屋さん」をして、子どもたちが自分でおいしいおにぎりを作れるようになるという企画も思っています。保育園の卒園児がそのほかの小学生に声をかけて参加者が広がり、毎回70人を超える参加者があります。月1回17:00~開催。
76	大和市	さくらの森・親子サポートネットとW.Coわにわにの共催	みんなのスペース わにわに 親子のひろば	子育て支援	親子	大和市桜森3-4-1桜森スクエアⅢ(自前)	0	0	1,756,425	1,756,425	1,756,425	週3回	有料 年間登録300円 利用料200円/1回	特定メンバー	800円/h	未就学の子どもの、お母さんお父さんなど保護者の方の広場です。子どもを連れてゆっくり、まったり、のんびりできる場所。みんなで子どもを育て合う場所を作っていきたいなと思います。開所日:月・水・金(祝日・お盆・年末年始はお休み) 10:00~15:00
77	海老名市	居場所を考える会(W.Coポケット)	居場所を考える会「みんなでごはん」	食事会	子ども・高齢者・誰でも	海老名市 自前の会場 貸会場(ビナレッジ)			63,458	63,458	63458円 チラシ・食材料費、会場費等	年数回	有料 大人300円、小学生100円、幼児50円	特定メンバーその他	無し	特定の場所は今のところないので、公共施設を借りてチラシを巻き、昼食が夕食を提供して個食の子どものや高齢者を対象に食事を開いている。2018年度はキリン福祉財団から助成金を受けることが出来た為、今年度の開催をする予定。今後は、小規模の場所を確保して、固定の場所で継続的な食事会をして、さまざまな人の居場所をめざす。

行政区	運営主体	名称	活動目的	対象	実施場所	事業高/年	事業高/年	事業高/年	合計事業高/年	年間経費	開催頻度	参加費	スタッフの体制・かかわり方	参加スタッフのワーク代	企画内容	
						(助成)	(委託事業)	(自主事業)								
78	座間市	NPO法人 ワーカーズ・コレクティブ ぐむのき サロン・はなもも運営委員会(共催:立野台地区社協)	サロン はなもも日曜サロン	交流	誰でも	座間市立野台1-8-37 デイサービス カナンの家	0	0	120,000	120,000	132,652	年10回	有料 500円	特定メンバー	無し	開催時間は、11時から14時。昼食をはきんで手工芸、健康麻雀、談話に参加されている。
79	相模原市	W.Coベル	茶話会	会食	誰でも	相模原市南区東林間5-6-6 ベル事務所			2,000	2,000	12,000	年6回	有料 1回300円	特定メンバー	無し	手芸・トランプ・企画もの(お菓子作り・寄せ植え)
80	綾瀬市	W.Co カフェ・ソレー	"みんなのたまり場" W.Coカフェ・ソレー	交流・認知症サポート その他	高齢者 誰でも	綾瀬市上土南1-8-19 (目前)	0	0	0	0	0	年数回	無料・有料(企画により参加費をいただく)	その他(企画により関わるメンバーを決める)	無し	不定期であるが企画を実施(内容により有料)。壁面を障がい者団体や絵画サークルの発表の場(無料)。カフェ(有料)を中心とした居場所であるため、高齢者や地域のサークルの人のたまり場となっている。
81	横須賀市	W.Coキッズポケット	ぼっかぼかひろば	子育て支援	親子	横須賀市久比里1-19-10	0	0	41,200	41,200	85500(人件費のみ)	週1回	有料 1家族100円	特定メンバー他団体への委託と元メンバーのボラ参加	通常ワーク代委託者・ボラは交通費	保育室の玩具で遊ぶ。みんなで昼食。絵本の読み聞かせ。お帰り。1家族100円
82	横須賀市	W.Coキッズポケット	おもちゃのひろば	子育て支援	親子	横須賀市久比里1-19-10	0	0	1,000	1,000	1000(人件費のみ)	年数回	有料 1家族100円	特定メンバー	通常ワーク代	東京おもちゃ美術館を運営する(NPO)芸術と遊び創造協会推薦のおもちゃで遊ぶ。おもちゃコンサルタントのメンバーが担当している。1家族100円
83	横須賀市	W.Coキッズポケット	愛らんど久里浜	子育て支援	親子	横須賀市久里浜6-14-2			6,300,000	6,300,000	6,300,000	週4日以上	無料	全員が交代(常勤者1名含む)	有	9時から16時の開所時間内に自由に来て遊ぶ。相談にも対応。年1回講座実施。
84	横須賀市	W.Coキッズポケット	愛らんど追浜	子育て支援	親子	横須賀市追浜本町1-28(役所裏追浜店内)	0	0	9,600,000	9,600,000	9,600,000	年間355日	無料	全員が交代(常勤者1名含む)	有	10時から17時半の開所時間内に自由に来て遊ぶ。相談にも対応。週1回お話し会、月1回講座を実施。
85	逗子市	W.Coこだま	ご近所サロン こだま	交流	高齢者	貸会場(小坪大谷戸会館)	未定	0	0	未定	未定	月2~3回	有料(200~700円)	特定メンバー	無し	参加費300円~700円
86	逗子葉山	逗子連絡協議会	カフェ・メロディ	交流	誰でも	メロディ館			50,000	50,000	50,000	月1回	無料	リーダー層+α	無し	試食や健康チェック等
87	葉山町	W.Coのぞみ	ほのぼの倶楽部	交流	誰でも	葉山町長柄1275-1 生活リハビリクラブ 葉山	0	0	50,000	50,000	50,000	月1回	有料	全員が交代	1,500円	5月:押し花のしおりづくり 6月:ちぎり絵のうらわづくり 7月:ハンギングづくり 9月:新聞紙のコサージュづくり 10月:みんなで歌おう 11月:クリスマス飾りづくり 12月:クリスマス会 1月:百人一首 2月:お雑煮づくり 3月:押し花を使っ
88	鎌倉市	鎌倉地域協議会	みんなの市	交流	誰でも	コア北鎌倉			57,000	57,000	57,000	月1回	有料(100円)	リーダー層+α	無し	バザー、地場野菜販売、キッチン惣菜販売、美針の相談販売等
89	鎌倉市	鎌倉地域協議会	ゆうゆうカフェ	交流	誰でも	スペースゆう						毎週木曜日午後	無料	リーダー層+α	無し	居場所づくり
90	鎌倉市	W.Coどんぐり	どんぐりひろば	子育て支援	子ども(親子)	どんぐり保育室						月1回	無料(企画により材料実費)	リーダー層+α	無し	親子ひろば
91	鎌倉市	W.Coひだまり	陽だまりクラブ	交流	誰でも	コア大町						月1回	無料	リーダー層+α	無し	麻雀サロン、または外部講師等呼んだ企画
92	鎌倉市	W.Coピアノ	ピアノサロン	交流	高齢者	鎌倉市5-2-3 鎌倉センター	0	0	1,772,040	1,772,040	1,772,040	月10回程度以上	無料	全員が交代	720円	組合員対象、高齢世代の生き甲斐・活躍の場とした目的、企画内容により利用金額は異なる。
93	藤沢市	W.Co宙	サロンd e 宙	交流	高齢者	藤沢市善行6-19-51 藤沢センター	0	0	759,740	759,740	759,740	月10回程度以上	有料	全員が交代	720円	※屋外は、ボードウォッチングや散策等、詳しい方を講師に企画として開催している。
94	藤沢市	W.Coほっと舎アルク	交流スペース ほっと舎	すべて	地域住民	藤沢市大庭5348-16 高橋ビル202	0	0	530,000	530,000	1,400,000	1か月24日	有料	特定メンバー	無し	こども支援と地域交流祭りは月2~3回 大人500円、子ども無料 健康体操・音楽・カラオケ等
95	藤沢市	(社福) いきいき福祉会	藤沢市 地域ささえあいセンター かるがも	交流	誰でも	藤沢市城南4-9-8ラポール 城南1F	2,600,000	4,350,000	3,480,000	10,430,000	4,800,000	火~金(9:30~17:00) 週4日以上	有料	その他(スタッフは橋渡し役が多く基本的には利用者間の交流を主としている)		立ち寄り無料。オープンサークル100円/時。貸館200円/時。講座等は別途設定。地域住民同士のつながりや絆を大切にしながら人の和を広げ、お互いの暮らしを協力して支え合う仕組み。各種サークルの自主運営、講座の開催、イベントの開催などを地域住民が主体となって実施できるためのコーディネートを行う。またそのような活動を行っている方々が、地域の担い手として活動していけるようコーディネートしていく。かるがも食堂は、藤沢市地域ささえあいセンターかるがもをご利用の方々が、健康的に美味しい食事を摂りながら、ゆつくりとコミュニケーションを図れることを目的に運営している。
96	藤沢市	W.Coはまゆう	地域の録側事業(特定型)	交流	高齢者	藤沢センター会議室	35,000	0	0	35,000	35,000	月1回第3木曜日	無料	リーダー層+α	無し	高齢独居等の方に対しての地域の居場所づくり。藤沢市の高齢者保健福祉施策。(10月から半年分の助成金)

行政区	運営主体	名称	活動目的	対象	実施場所	事業高/年 (助成)	事業高/年 (委託事業)	事業高/年 (自主事業)	合計事業高/ 年	年間経費	開催頻度	参加費	スタッフの体制・ かかわり方	参加スタッフのワー ク代	企画内容
97	藤沢市	W. Co あかい実	オープンデイ	交流	誰でも	D a y いちいの木					月1回第3日曜日	無料	リーダー層+α	無し	地域の居場所拠点やデイサービスの紹介を通しての地域交流
98	藤沢市	W. Co ほっとすべ ーす	おやこひろば	子育て支援	子ども(親子)	ひろば館沼					月1回第3土曜日	無料(企画により 材料実費)	リーダー層+α	無し	子育て世代のたまり場企画。小さいお子さんを持つ世代の交流 機会
99	藤沢市	W. Co オプティ茜	福祉相談会	その他(相談会)	その他(家族)	ひろば館沼					月1回	無料(企画により 材料実費)	リーダー層+α	無し	ケアマネ(オプティ茜)による家族の介護等に関する相談会
100	藤沢市	藤沢地域協議会	オープンカフェ	子育て支援	子ども(親子)	コミュニティスペース (施設開設準備室)		31,500	31,500	31,500	月1、2回	無料	リーダー層+α	無し	消費材の試食やハンドマッサージによる小さいお子さん世代向 けの交流企画
101	藤沢市	藤沢地域協議会	福祉相談会	その他(相談会)	その他(家族)	コミュニティスペース (施設開設準備室)					月1回	無料	リーダー層+α	無し	ケアマネ(オプティ茜)による家族の介護等に関する相談会
102	藤沢市	藤沢地域協議会	昼食会	食事会	不明	コミュニティスペース (施設開設準備室)					月1回第4月曜日	無料	リーダー層+α	無し	食事サービスがつくる昼食を食べる交流会
103	茅ヶ崎市	W. Co 心	カフェサロン心	交流	地域住民	茅ヶ崎市十間坂(らば れつと 近所の貸家 有料 600円/月)		0	0	10,000	月1回	有料(100~150円)	その他 役割ふり	無し	ゲーム、体操、歌など
104	茅ヶ崎市	ぼかぼか運営会議 (生活リハビリ クラブ茅ヶ崎)	ぼかぼかサロ ン	交流	高齢者	茅ヶ崎たすけあい ひろば	0	0	0	6,000	週1回	有料 200円	特定メンバー	活動手当て (理事以外の メンバー) 1000円	高齢者サロン: 体操や小物作り、歌など。お茶と手作りの和菓 子付き ・参加費200円
105	茅ヶ崎市	生活リハビリクラブ 茅ヶ崎として	茅ヶ崎市転倒予防 教室	介護予防	高齢者	生活リハ"リハ"茅ヶ崎 フロア	0	440,000	0	440,000	月1回	有料200円	全員が交代	活動手当て (理事以外の メンバー) 1000円	転倒予防教室(茅ヶ崎市からの委託事業)
106	茅ヶ崎市	ぼかぼか運営会議	ぼかぼかかふえ	交流	高齢者	茅ヶ崎たすけあい ひろば	0	0			年数回	有料(昼食あり500 円、なし200円)	全員が交代で	あり	健康マージャンとコグニサイズ体操 参加費500円(昼食有)、200円(昼食無し) 運営会議メンバー以外にW. Coから順に1名手伝い
107	茅ヶ崎市	W. Co たんぼぼ ひろば	たんぼぼはうす	交流	誰でも	茅ヶ崎市香川3-4-5		0			週2回	有料	特定メンバー	ボラ交通費、 ワー代	昼食代、お茶代実費 地域のフリースペース (月・木11時~14時)
108	茅ヶ崎市	W. Co たんぼぼ ひろば	たんぼぼはうす	子育て支援	小・中学生	茅ヶ崎市香川3-4-5	70,000	0	138,810	208,810	夏休みのみ	有料	特定メンバー	ボラ交通費、 ワー代	夏休み小中学生のフリースペース (夏休み水曜10:30~15: 00)
109	茅ヶ崎市	W. Co たんぼぼ ひろば	たんぼぼカフェ	食事会	誰でも	茅ヶ崎市香川3-4-5		0			月1回	有料	特定メンバー	ボラ交通費、 ワー代	不登校児等テーマに沿ったお茶会月1回、お茶代実費
110	平塚市	W. Co TOMO	TOMO日曜 サロン	交流	誰でも	平塚市山下374-2 (自前)	0	0	0	10,000	月1回 (第4日曜午 後)	無料	特定メンバー	担当手当として年 間2000円/一人	平成28年6月より開始。毎月1回の開催を 継続しています。 デイサービスの休日に開催し、体操、音楽(楽器演奏、歌)、 ゲーム、紙芝居など地域の皆さんの特技や趣味を活かし交流を 図っています。

2018年度 コミ・オブ福祉の相互連携等に関する調査のまとめ

2019/8月

	自治体名	事業部門	W.Co名	連携の有無	連携の種類	連携団体	具体的活動内容	提案活	共に行う団体	提案内容
	1 横浜市 金沢区	デイサービス	オリーブ	有	会議連携 活動連携 業務委託	金沢コモンズ WE21ジャパンかなざわ ら・らムーブ金沢 W.Coれもん W.Coりぼん W.Coコンパス	・2か月に1回、上記運動グループが参加する「金沢まちづくり協議会」を開催し、情報共有や、地域でのイベント等への参加を呼びかけ等を行っている。 ・金沢区内で運動グループが活動できる居場所づくりに向け「居場所PJ」を立ち上げ、地域の空家・空き部屋などの居場所探しを行っている。(W.Coオリーブ、W.Coコンパス、金沢コモンズが参加) ・2018年度は、年5回日曜日に開催している地域の元気な高齢者向けの「日曜サロン」の食事づくりを、W.Coコンパスに委託した。 ・毎年10月に行っている「NOAHまつり」のパザーへの参加をW.Coコンパスに依頼し、クッキーの販売を行った。	なし		
	2 横浜市 緑区	家事介護	くまさん	有	ボランティアとの連携			なし		
	3 横浜市 緑区	デイサービス	ひまわり	有	会議連携 活動連携	緑区社協NPO等分科会	緑区社協のNPO等分科会ほぼ隔月開催。情報の共有、活動紹介を共催。	なし		
	4 横浜市 都築区	住まい型生活 支援	円	有	ボランティアとの連携 活動連携	(株)生活科学運営 都築相談窓口各団体	・有料老人ホーム「ライフ&シニアハウス港北」での行事やイベント時にコーディネートとボランティアの受け入れを行っている。 ・麻雀や個人でのボランティアについては、面談・受け入れから、活動時の支援を行う。 ・円が行う「リフレッシュユル」でボランティアを受け入れている。	有	つづきユニット 都築相談窓口	・都築相談窓口の中で「つづきユニット」として、市へ予算要望などを行っている。
53	5 横浜市 中区		ワーカーズ・コレク ティブ協会	有	会議連携 活動連携	横浜みなみ生活クラブ 福祉クラブ コミュニティオプティマム 福祉ユニットかながわ あみける広場よこはま 横浜プランナーズネット ワーク	2018年度はWAMの助成金を受けられたので、実行委員会に連携団体にも入ってもらった。他にはユニットかながわの祭りに参加させてもらい、反町カフェをアピールした。 2019年度からは反町カフェほらん運営委員会にオブザーバーメンバーとして横浜みなみ生活クラブ理事、福祉クラブ理事に参加をしていただいている。 コミオブ事業に関しては、まだ具体的にはずすめていないが、今後は地域のニーズから配食サービスを検討している。	有	横浜エリア連携協議会	市民政策提案 ○子育て ・産前産後ケアの継続と充実に向けた取り組みの推進 ・一時保育の拡充 ・放課後児童クラブの一人親世帯、非課税世帯の利用料の減免 ○環境 ・リデュースの推進、・分別収集の検討と実施、・プラスチックごみの減量 推進 ・紙ストローの使用及び実施企業の可視化、・ゴミ出しについての高齢者支援制度の周知 ○学校給食 ・昼食時間の延長、・ハマ弁の支援を業者にも広げ、選択制を支援枠にも取り入れる ・安心、安産な食材での給食、ハマ弁の提供、・食器洗浄への石けん使用 ○就労支援 ・相談先の周知徹底、・各機関の連携、情報共有、・横浜市型就労準備支援事業の継続 ○高齢者福祉
	6 横浜市 瀬谷区	家事介護	たすけあいせや	なし				なし		
	7 横浜市 戸塚区	家事介護	たすけあい戸塚	有	ボランティアとの連携		「ふれあい広場よつば」で開催しているイベントの講師をお願いしている。			
	8 横浜市 戸塚区	デイサービス	まいそる	有	その他	地域包括支援センター 居宅介護支援事業所	* 包括支援センターに来られた、一人暮らしの方の相談の中で、病院付添いや生活支援など私たちにできる範囲の事は受けている。 * 支援1の方で介護保険のサービスを定期的に利用する事に同意出来ない方の、不定期で困ったときに使いたいとの依頼を受け生活支援をした。 * ケアマネジャーより、介護保険対象外のインフォーマルサービスの相談・依頼があり、可能な範囲で受けている。	なし		
	9 横浜市 鶴見区	家事介護	たすけあいつるみ	有	ボランティアとの連携 活動連携	生活クラブ(東寺尾デ ポ-) WE21ジャパンつるみ	デイサロンミントへのボランティア受け入れ たすけあいつるみのパザ-に出店してもら う デポ-祭りにたすけあいつるみから参加	なし		

	自治体名	事業部門	W.Co名	連携の有無	連携の種類	連携団体	具体的活動内容	兼提案活	共に行う団体	提案内容
10	横浜市 栄区	家事介護	たすけあい栄	有	会議連携	ボランティア市民活動団体分科会	定期会議に出席し、地域のボランティアの活動についての情報の共有と連携を深める。 栄区主催の「区民祭り」にボランティア団体のブースとして参加。区民にボランティア活動のPRをしている。	なし		
11	横浜市 磯子区	保育	ハッピーママプロジェクト親と子のひろばだっこ	なし				なし		
12	川崎市	家事介護	たすけあいまりん	有	会議連携	川崎コモンズ 川崎市こども未来局 川崎区地域包括支援センター	川崎区内9つの地域包括支援センターより、介護保険外の高齢者支援の依頼が独自事業にある	有	W.Co 川崎市 生活クラブ	
13	川崎市	デイサービス	こもれび	有	会議連携 活動連携 ボランティアとの連携 政策提案	川崎市内のW.Co	合同説明会等している。	有	市民福祉事業センター かわさき かわさき北ユニット	・居場所 ・空き家 ・総合事業 ・生活支援型食事サービス ・高齢者引きこもり防止 ・障害者の担い手と活動に対する補助金 ・地域の子ども、子育て支援の充実他
14	川崎市	デイサービス	メロディー	有	会議連携 活動連携 ボランティアとの連携 政策提案	かわさき生活クラブ 南部ユニット メロディーココ運営協議会 地域活動連携協議会 市民福祉事業センター かわさき	○生活クラブとは幸運会議を設置し、お祭りやイベントを組合員と企画・実践している。ボランティアの受け入れ。 ○川崎南部ユニット、市民福祉事業センター・かわさきで運動グループと連携し、地域福祉の拡がりや政策提案活動を行っている。 ○地域活動連携協議会で、KAWASAKIまつりや政策提案活動をすすめている。 ○4月に開設した「次世代の居場所メロディーココ」を地域と連携し、ボランティアで運営している	有	生活クラブ 川崎エリアのW.Co W.Co連合会	○介護保険事業 ○川崎市単独事業 ○居場所 その他・・・
15	川崎市	家事介護	くるみ	有	会議連携 活動連携 政策提案活動	多摩区訪問介護事業所 連絡会 チームたま ケアマネ連絡会 多摩区交流センター全体会 北ユニット協議会 市民福祉事業センター かわさき	事業連絡会では、情報共有の他に、ヘルパー向け、サービス提供責任者向け研修や医療事業主向け研修会等を行なう。 交流センター全体会では、居場所などの情報共有を行う。 ユニットや市民福祉事業センター・かわさきでは、情報共有や政策提案活動を行っている。	有	市民福祉事業センター かわさき	・家事介護、食事サービス、移動サービス、デイサービス、子育て支援、障害者総合支援サービス（地域生活支援の報酬）などの充実
16	川崎市	保育	キャンディ	有	会議連携 活動連携 ボランティアとの連携 政策提案活動	かわさき生活クラブ 神奈川ネットワーク運動 宮前	・かわさき生活クラブ生協と「ふれあい広場推進会議」をもち、月2回（平日）の親と子のふれあい広場（参加費200円）、年3回（土曜）の交流の場（人形劇・流しそうめん・もちつき）を生活クラブ高津センターで開催した。 ・こども食堂の夕方実施の時に、皿を洗うボランティアを行う人がいた ・学童保育の見守りに地域の方が定期的にボランティアで入ってくれていた（昔遊び） ・地域に住む学生ボランティアをうけいれた（学童保育）	有	ユニット会議 市民福祉事業センター かわさき	・ユニット会議 高齢者、障がい者、子ども ・市民福祉事業センター（ぼち）川崎 <福祉局へ> 居場所・空き家対策、介護予防日常生活総合支援事業 食事サービス、移動サービス、障害者総合支援サービス <こども未来局へ> 子育て支援策の充実、一時保育、認定保育園の施策について他
17	川崎市	保育	びすけっと	有	活動連携	高津まちづくりフォーラム （高津区内の団体・個人の参加）	高津区内の様々な活動団体や地域のリーダーとして活動している個人が集まって、活動連携と合力によるまちづくりをしようと、2018年10月に「高津まちづくりフォーラム」がスタートしました。当面は「多世代の居場所づくり」をテーマとし、2019年1月から多世代がたまり場に集まれる「いちごカフェ」を開催しています。今のところは、当W.Coの代表・副代表が個人的にカフェの世話人として参加していますが、今後、W.Coびすけっとも保育室をカフェの開催場所として提供する用意があり、組織的に合意もとっています。	有	高津・宮前ユニット会議	川崎市の3つのユニットで、政策提案活動として、川崎市に「市民福祉政策提言書」を毎年提出している。

	自治体名	事業部門	W.Co名	連携の有無	連携の種類	連携団体	具体的活動内容	策提案活	共に行う団体	提案内容
18	川崎市	保育	ゆいゆい	有	会議連携 活動連携 政策提案活動	川崎南部ユニット	戸手生活館で運営している会議に参加し、情報共有している。運営会議が主催する「戸手まつり」に参加し協力を行う。「はびふるひろば」開催のチラシ配布 南部ユニット会議に参加。「みんなDEごはん」等の参加協力。	有	川崎南部ユニット	
19	川崎市	食事サービス	あいあい	有	会議連携 活動連携 業務委託 政策提案活動	市民福祉事業センター・かわさき W.Co 川崎市ボランティアセンター他	毎月運営委員会の開催、情報交換他	有	市民福祉事業センター・かわさき	食事サービスの有効性とその充実
20	厚木市	移動	キャリージョイ	有	会議連携 活動連携	ヒューマンサポートネットワーク厚木	隔月で会議をし情報交換。デイサービス2カ所でのお祭りに模擬店やボランティアで参加。講演会や研修を企画し共育活動。政策提言は活動方針には掲げているものの実施してはいない。法人としてはおでかけ企画のボランティアを個人的にお願いして、組織化はしていないが、ほぼデイサービスのOBの方が多く連携はできている。	なし		
21	厚木市	保育	くれよん	なし				なし		
22	相模原市	家事介護	はっぴー	なし				なし		
23	相模原市	デイサービス	むずびって	有	会議連携 活動連携 政策提案活動	相模原ユニット	・その年によっては、映画の上映会を合同で行う等している。 ・生活リハビリクラブ茅ヶ崎の移動サービスの視察に出かけた。	なし	相模原ユニット	2019年度は提案する内容の検討を始めている。
24	大和市	移動	ケアびーくる	有	会議連携 活動連携 業務委託 政策提案活動	コミュニティ・オブティマム 福祉地域協議会大和 W.Coもこもこ さくらの森保育園	・毎月1回開催の定例会での情報共有 ・年1回、市長への福祉政策提案(コミ・オブ大和として) ・市民まつりへの参加を通して、団体の交流を図る ・年1～2回程度、学習会、交流会の開催 ・コミ・オブ大和としての連携の他、単体W.Co同士の連携も実施(保育園への給食材の配達を個人へ委託)	有	W.Co想 企業組合たぶの木 W.Coもこもこさくらの森保育園 大和 commons 大和市民会議他	・日常生活支援総合事業について ・大和市移動支援事業の規則の変更について ・水を守るために石けん使用拡大と啓発活動 大和市内の農用地・緑地を守る活動と単独調理校の必要性について ・安全、安心な学校給食の提供の継続を ・子どもたちが遊ぶ環境に汚染土の使用をしないでください ・子どもの一時預かり事業について ・(0歳児や障害児の受け入れに対して市単独補助を)
25	海老名市	移動	どり〜む	なし				なし		
27	横須賀市	保育	キッズポケット	有	会議連携 ボランティアとの連携 業務委託 政策提案活動	ゆ・にっと横須賀 よこすか市民活動サポートセンター NPO法人ほっかほか荘	・ゆ・にっと横須賀運営会議に参加して情報共有している。 ・「夏の市民活動・ボランティア体験2018」に参加し、おもちゃの広場のボランティアを募った。 ・NPO法人ほっかほか荘に親子のひろば(ほっかほかひろば)を委託して実施している。 ・ゆ・にっと横須賀で市民提案を行った。	有	NPO法人サポート横須賀 WE21ジャパンよこすか W.Co風っこmam W.Coゴジママ よこすか commons 横須賀マイベースの会 神奈川ネットワーク運動	・公共施設の使い勝手について ・子育て支援について ・防災無線、防災対策について ・高齢、障がい福祉について ・施設配置の適正化について ・県道、市道の危険箇所について
28	横須賀市	保育	ゴジママ	有	政策提案活動	ゆ・にっと	「ユニット」のメンバーとして、他の運動グループや commons と一緒に市民政策提案の提出を行っている。	有	ゆ・にっと横須賀	
26	逗子市	移動	くるまやさん	なし				なし		
29	逗子市	家事介護	こだま	有	活動連携	W.Coくるまやさん 小坪大谷戸会館運営協議会	・利用者交流会での送迎 ・小坪大谷戸会館の運営	なし		
30	葉山町	デイサービス	のぞみ	有	会議連携 活動連携	W.Coくるまやさん ケアフレンズ葉山 葉山高齢社会をよくする会 コミュニティ・ケアさくらんぼ 長柄町内会 長柄下町内会 民生委員 葉山町社協 他施設	地域の様子の共有。 地域アセスメントの企画・立案・実施に向けた協議など	なし		

	自治体名	事業部門	W.Co名	連携の有無	連携の種類	連携団体	具体的活動内容	提案活	共に行う団体	提案内容
31	平塚市	デイサービス	TOMO	なし				なし		
32	平塚市	家事介護	笑顔	有	政策提案活動	まちづくりユニット平塚	・月1回の定例会に参加。 ・ひらつか市民活動センターまつりに参加し、「まちづくりユニット平塚」の活動をアピールした。	有	まちづくりユニット平塚	予算要望を行った。 ・福祉用具の展示コーナーの定期的設置 ・ひらつか地域介護システム会議の福祉用具・住宅改修連絡会との協議 ・ヘルプマークの周知 ・精神障がい者の運賃割引制度適用 ・全戸への配布物の配布方法
33	茅ヶ崎市	保育	たんぽぽひろば	有	ボランティアとの連携	茅ヶ崎市市民活動センターユースボランティア	夏休み中、中・高校生のボランティアを受け入れている。小学生イベントで宿題を見てもらう、昼食づくりの手伝い、子どもたちの遊び相手等してもらう。フリースペースでは、小さい子の遊び相手等。	有	茅ヶ崎ユニット	共同して、市に予算要望を提出している。
34	横浜市 川崎市 鎌倉市 藤沢市		福祉クラブ生協	有	会議連携 活動連携 ボランティアとの連携 業務連携	ふれあいDAYばんじい 生活介護わんびい カフェぼらん ラポール藤沢 組合員及び市民	ふくしまつりを含むイベント等の活動連携。 ボランティア(組合員)としてコミ・オブサポーターに登録してもらい、食関係では食器洗浄・調理補助・配膳補助等。移動では、リフレッシュツアーの同行。子育てでは保育時間に使用する道具作り。デイではレクレーション補助等。地域・他団体の人も、ほぼ同様の活動をしている。 カフェぼらんへの食材配達や運動グループ関係施設への移動や配食サービス提供は法人間提携として行っている。	有	自組織のみ	2018年介護保険制度・介護報酬改定への提言 ・適切なサービス提供に向けた地域ケア会議の開催について ・生活援助中心型新研修の導入 ・老計10号における「身体介護」と「生活援助」の取り扱い明確化について ・生活援助中心型サービスの報酬見直しについて ・リハビリ専門職との連携強化について ・同一建物当居住者にサービス提供する場合の報酬について

2018年度福祉事業実績集約表

団体CD	事業分類C	事業分類D	事業分類	施設名(事業所名)	拠点名	設立年	行政区名	行政区CD	〒	住所	TEL	FAX	定員(特養、ショート、通所)	開所日数(通所系事業)	利用者登録人数(3月末)	年間利用者延人数	年間活動日数(訪問系)	配長(独自・行政委託)の人数	その他(デイ・施設)の人数	総食数(食事系)	福祉有償運送件数	事業高(公費補助)	事業高(公費補助外・自主事業など)	合計事業高	運営主体メンバー数(重複含む)3月末時点	その内の常勤者数(3月末時点)	備考(居場所・たまり場等の情報は記載)	
1	3112		一時預かり	保育室ほかほか	茅ヶ崎子育て協同センター		茅ヶ崎市	31	253-00	茅ヶ崎	0467-555-2032	0467-555-2032			0	29												保育で計上
1	3111		保育・子育て支援	ほかほか保育園	茅ヶ崎子育て協同センター		茅ヶ崎市	31	253-0041	茅ヶ崎市茅ヶ崎	0467-555-0432	0467-555-0432	30	295	30	6559						65,871,000		65,871,000	26	5		
1	2112		通所介護	生活リハビリクラブ 鴨居	生活リハビリクラブ 鴨居		横浜市緑区	12	226-0004	横浜市緑区	0432-932-929	0432-932-929	15	309	33	3722							41,106,000		41,106,000	44	1	
1	2112		通所介護	生活リハビリクラブ 麻生	生活リハビリクラブ 麻生		川崎市麻生区	25	215-0012	川崎市麻生区	0442-954-8422	0442-954-8422	25	309	85	6852							67,163,000		67,163,000	38	2	食事はNPOW.C
1	2112		通所介護	生活リハビリクラブ 幸	生活リハビリクラブ 幸		川崎市幸区	20	212-0005	川崎市幸区	0442-556-4220	0442-556-4220	15	309	38	4152							50,285,000		50,285,000	31	1	
1	2112		通所介護	生活リハビリクラブ 葉山	生活リハビリクラブ 葉山		葉山町	43	240-0111	三浦郡葉山町	046-876-0236	046-876-0314	22	309	56	5170							42,261,000		42,261,000	30	2	
1	2112		通所介護	生活リハビリクラブ 茅ヶ崎	生活リハビリクラブ 茅ヶ崎		茅ヶ崎市	31	253-0041	茅ヶ崎市茅ヶ崎	0467-555-1716	0467-555-1772	30	309	80	7902							69,412,000		69,412,000	22	2	食事はNPOW.Cおほつべ
1	2112		通所介護	生活リハビリクラブ 橋本	生活リハビリクラブ 橋本		相模原市	33	251-0132	相模原市緑区	042-703-1951	042-703-1952	18	309	21	2132							21,549,000		21,549,000	23	1	
1	2131		居宅介護支援	生活リハビリクラブ 鴨居	生活リハビリクラブ 鴨居		横浜市緑区	12	226-0004	横浜市緑区	045-932-929	045-932-929			68	680							6,369,000		6,369,000	2	1	
1	2131		居宅介護支援	生活リハビリクラブ 麻生	生活リハビリクラブ 麻生		川崎市麻生区	25	215-0012	川崎市麻生区	044-953-953	044-953-953			45	710							7,329,000		7,329,000	2	1	
1	2131		居宅介護支援	生活リハビリクラブ 幸	生活リハビリクラブ 幸		川崎市幸区	20	212-0005	川崎市幸区南	044-556-1153	044-556-1121			113	1556							18,406,000		18,406,000	4	2	
1	2131		居宅介護支援	生活リハビリクラブ 葉山	生活リハビリクラブ 葉山		葉山町	43	240-0111	三浦郡葉山町	046-876-0236	046-876-0314			79	853							10,256,000		10,256,000	3	1	
1	2131		居宅介護支援	生活リハビリクラブ 茅ヶ崎	生活リハビリクラブ 茅ヶ崎		茅ヶ崎市	31	253-0041	茅ヶ崎市茅ヶ崎	0467-54-0442	0467-55-0442			87	1032							10,625,000		10,625,000	2	1	
1	2311		障害居宅介護	生活リハビリクラブ 麻生	生活リハビリクラブ 麻生		川崎市麻生区	25	215-0012	川崎市麻生区	044-953-0442	044-953-0442			0													訪問介護で計上
1	2311		障害居宅介護	生活リハビリクラブ 幸	生活リハビリクラブ 幸		川崎市幸区	20	212-0005	川崎市幸区南	044-556-1121	044-556-1121			2													訪問介護で計上
1	2311		障害居宅介護	生活リハビリクラブ 葉山	生活リハビリクラブ 葉山		葉山町	43	240-0111	三浦郡葉山町	046-876-0236	046-876-0314			3													訪問介護で計上
1	2145		小規模多機能	生活リハビリクラブ 葉山	生活リハビリクラブ 葉山		葉山町	43	240-0111	葉山町			29		6	88							22,417,000		22,417,000	34	1	
1	2151		地域包括支援センター	百合丘地域包括支援センター	百合丘地域包括支援センター		川崎市麻生区	25	215-0012	川崎市麻生区	044-959-6522	044-953-8485		309	235	2667							38,913,000		38,913,000	6	4	
1	2111		訪問介護	生活リハビリクラブ 麻生	生活リハビリクラブ 麻生		川崎市麻生区	25	215-0012	川崎市麻生区東高	044-959-6492	044-953-8485			71		2548						16,231,000		16,231,000	16	1	
1	2111		訪問介護	生活リハビリクラブ 幸	生活リハビリクラブ 幸		川崎市幸区	20	212-0005	川崎市幸区南幸町	044-556-1153	044-556-1121			46		3666.7						18,470,000		18,470,000	11	2	
1	2111		訪問介護	生活リハビリクラブ 葉山	生活リハビリクラブ 葉山		葉山町	43	240-0111	三浦郡葉山町二色	046-876-0234	046-876-0314			61		4422.4						20,311,000		20,311,000	23	2	
1	2111		訪問介護	生活リハビリクラブ 茅ヶ崎	生活リハビリクラブ 茅ヶ崎		茅ヶ崎市	31	253-0041	茅ヶ崎市茅ヶ崎	0467-54-0411	0467-55-1772			55		3588						20,616,000		20,616,000	13	1	

2018年度総合事業に関する調査票

送付先: W.Co連合会 事務局

送付締切: 6月21日(金)

E-mail: hukusi2@wco-kanagawa.gr.jp / kurashi@wco-kanagawa.gr.jp

2019年3月時点の、総合事業に関する調査にご協力下さい。

- 1) 自治体の実施の有無には、実施無し(×)の他、「検討中」などわかっていることもお書き下さい。
- 2) 自組織の実施状況については、現時点での「実施有」(○)、申請中、「実施しない」(×)、「検討中」などお書き下さい。
- 3) 運営方法については、介護保険同様等とお書き下さい。また、地域のボランティア参加等があればお書き下さい。
また、その他事業や一般介護予防事業では、実施している内容もご記入下さい。
- 4) 総合事業の実施に当っては、訪問型及び通所型サービスそれぞれに課題をお書き下さい。
- 5) 総合事業の施策に関する意見や地域情報は、他事業所の状況や自治体の情報、総合事業に対するご意見をお書きください。

組織名

記入者

連絡先(☎)

自治体名	自治体実施の有無等	自組織の実施状況	登録利用者 ／月	運営方法
訪問型サービス	訪問介護 (現行相当)			
	サービスA (緩和型)			
	サービスB (住民主体型)			
	サービスD (移動支援)			
通所型サービス	通所介護 (現行相当)			
	サービスA (緩和型)			
	サービスB (住民主体型)			
その他生活支援サービス	栄養改善			
	住民ボランティア 等が行う見守り			
	自立支援に資する 生活支援			
一般介護予防で取組 んでいること(*1)				
総合事業の実施に 当っての課題	<訪問型サービス>			
	<通所型サービス>			
総合事業の施策に関 する意見や地域情報				

*1 一般介護予防の取組みは、自治体によって個別の名称がついている場合があります。各自治体の名称でご記入下さい。
尚、通いの場事業は、一般介護予防事業の一つ(地域介護予防活動支援事業)です。

2018年度居場所・サロン調査票

送付先: W.Co連合会 事務局 送付締切: 6月21日(金)
 E-mail: hukusi2@wco-kanagawa.gr.jp
 kurashi@wco-kanagawa.gr.jp

2019年3月末時点の状況をご記入ください。

- ・「居場所・サロン」という名称にこだわらず、実施されている会食会や子育て関連の親子の集い等についてもお書き下さい。
- ・「居場所・サロン」等を全く実施していない場合は、実施無しに○印、団体名、記入者名、連絡先のみ記入し、送付下さい。
- ・居場所・サロンを何カ所、何企画実施しているか、()の中に数をお入れください。
- ・活動目的、対象者、連携の有無、実施場所の状況、参加スタッフのワーク代、開催頻度、参加費、スタッフの体制・関わり方の欄は、○をつけて下さい。
- ・事業情報については、以下のようにお書きください。(2018年度の実績をお書きください。)
 - 補助金・助成金: 例えば親子の集いのひろば事業は補助金です。どこ(自治体・団体)からいくらの補助があるのか、金額と補助元の団体名(自治体名等)をお書き下さい。
 - 事業と、名称がついている場合は、お手数ですがお書き下さい。
 - 委託事業: 委託元と委託費をお書きください。「事業名」がある場合はお書き下さい。
 - 自主事業: 補助金や助成金を受けず、参加費等だけで行っている場合の主な収入項目と概算金額。
 - 年間経費: 家賃、光熱費、人件費含む支出概算金額
- ・実施企画が複数の場合は、企画毎に回答して下さい。

実施の有無 実施無し・実施有 ()ヶ所、()企画

団体名 () 記入者名 () 連絡先: TEL

基本情報	運営主体		
	名称		
	活動目的	1 子育て支援(親子) 2 会食(子ども食堂、会食会) 3 学習支援(教育) 4 交流 5 認知症サポート 6 その他 (具体的:)	1 子育て支援(親子) 2 会食(子ども食堂、会食会) 3 学習支援(教育) 4 交流 5 認知症サポート 6 その他 (具体的:)
	対象者	1 子ども(親子) 2 小中高生 3 高齢者 4 生活困窮者 5 誰でも 6 その他 (具体的:)	1 子ども(親子) 2 小中高生 3 高齢者 4 生活困窮者 5 誰でも 6 その他 (具体的:)
	連携の有無と連携先	有・無 ()	有・無 ()
	実施場所(住所)		
	実施場所の状況	1 自前の会場(事務所等) 2 貸し会場(有料) (具体的:) 3 その他 (具体的:)	1 自前の会場(事務所等) 2 貸し会場(有料) (具体的:) 3 その他 (具体的:)
事業情報	①補助金・助成金(円)		
	補助・助成元		
	②委託事業(円)		
	委託元		
	③自主事業(円)		
	主な収入項目(ハザー・イベント・企画収入等)		
①～③合計(円)			
年間経費(概算:円)			
運営情報	開催頻度	1 年数回 2 月1回 3 月2～3回 4 週1回 5 週2～3回 6 週4日以上	1 年数回 2 月1回 3 月2～3回 4 週1回 5 週2～3回 6 週4日以上

運営情報	参加費	1 無料 2 有料 (具体的に:)	1 無料 2 有料 (具体的に:)
	スタッフの体制・ 関わり方	1 全員が交代で 2 特定のメンバー 3 リーダー層 4 その他 (具体的に:)	1 全員が交代で 2 特定のメンバー 3 リーダー層 4 その他 (具体的に:)
	参加スタッフの ワーク代	1 あり 具体的: 2. なし	1 あり 具体的: 2. なし
	企画内容		

2018年度コミ・オブ福祉の地域連携に関する調査票

送付先: 参加型福祉研究センター 送付締め切り: 7月 末日
 E-mail: sankafukushi@systemken.org
 FAX: 045-222-8721

コミ・福祉の地域連携に関して、2018年度の地域連携の状況や政策提案活動についてお聞かせ下さい。

- 1) コミ・オブ福祉を拡げていくためには、地域内での生活クラブ運動グループをはじめ、他の団体や人々との連携が必要になると考えます。その実態を教えてください。
- 2) コミ・オブ福祉を推進するために検討(地域連携を含む)していることや解決したいと考えている課題について、教えてください。日々の事業から課題が見えて、検討していることがあればご記入下さい。

自治体名	組織名	記入者	連絡先(☎)
①地域の運動グループをはじめ、ボランティア等との連携の有無についてお答え下さい。		有 ・ 無し	
連携の種類	会議での情報共有等 ・ イベント等の活動連携 ・ ボランティアの受け入れと運営参加 ・ 業務委託 政策提案活動を共に行う ・ その他()		
連携している団体名	上記で「有」の場合、どのようなことをしているのか具体的にお書き下さい。		
②日常の事業を通じて、行政や議会等に他W.Co等と共同で行う(政策提案活動)について、2018年度の実施の有無をお答えください。		有 ・ 無し	
政策提案活動を共に行う団体名	2018年度政策提案活動の主な内容や項目を教えてください。(別紙添付可)		



参加型福祉研究センター

特定非営利活動法人 参加型システム研究所内

〒231-0006 横浜市中区南仲通 4-39 石橋ビル 4F

TEL : 045-472-8720/FAX : 045-222-8721

E-mail : sanka-fukushi@systemken.org

URL : <http://www.sanka-fukushi.org>

発行 2019年12月 <400部>